滋賀県立大学A3 · A4棟空調設備改修工事

図面リスト

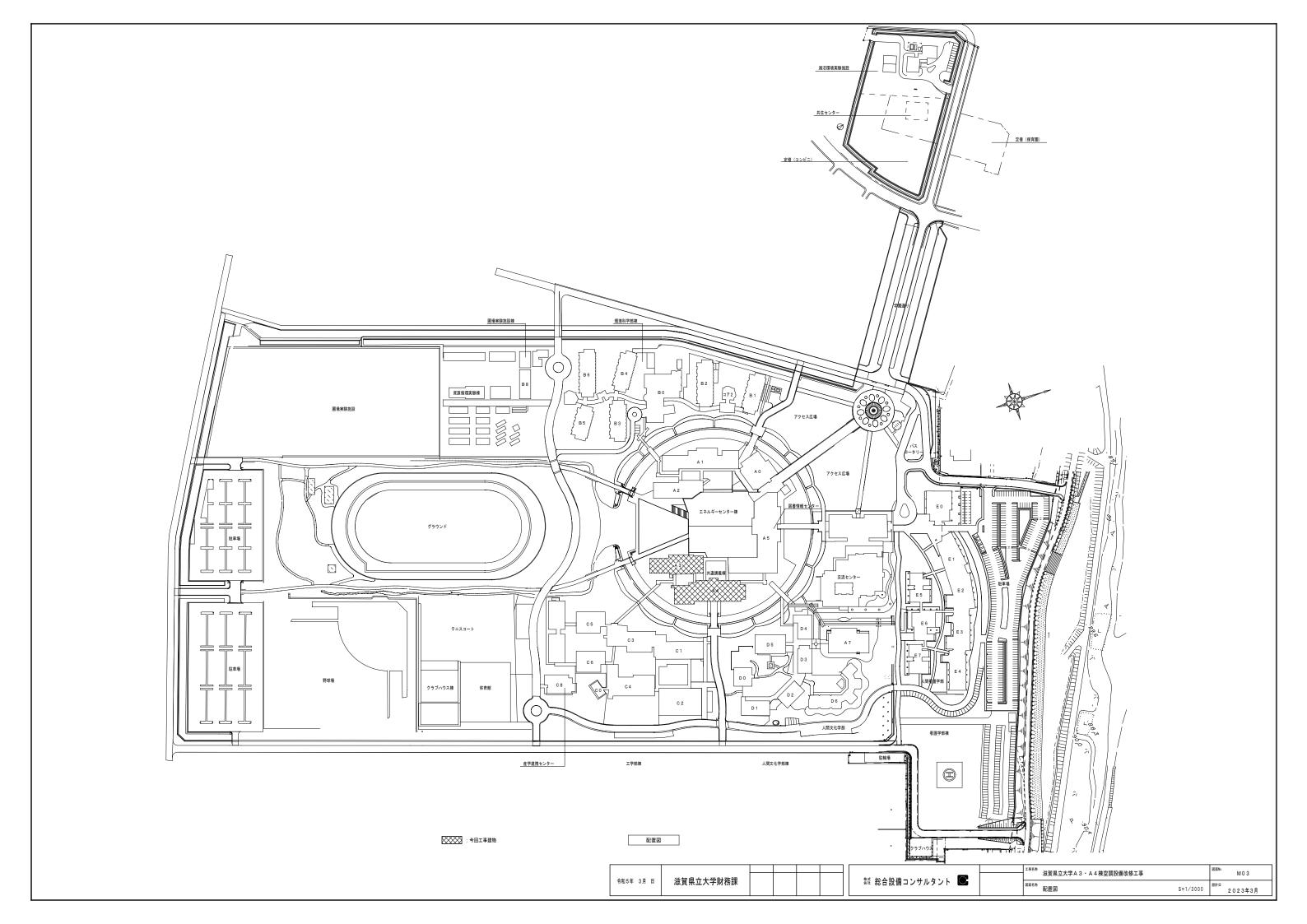
図番	図 面 名 称	縮 尺	図番	図 面 名 称	縮 尺	図番	図 面 名 称	縮 尺
0 0	表紙・図面リスト	-	E 0 1	電気設備工事特記仕様書 1	-	A 0 1	建築工事特配仕様書(1)	-
M 0 1	機械設備工事特記仕様書 (1)	-	E 0 2	電気設備工事特記仕様書2	-	A 0 2	建築工事特記仕様書(2)	-
M 0 2	機械設備工事特記仕様書 (2)	-	E 0 3	配置図	1/1500	A 0 3	配置図	1/1500
M 0 3	配置図	1/3000	E 0 4	エネルギーセンター棟特高電気室 受変電設備改修図	-	A 0 4	共通講義棟A3棟 1 階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M 0 4	センター棟 建物立面図 (1)	1/600	E 0 5	空調変圧器盤・開閉器盤姿図 開閉器所平面詳細図	1/20	A 0 5	共通講義棟A3棟 2階平面図 (天井改修範囲図)	1/200
M 0 5	センター棟 建物立面図 (2)	1/600	E06	動力・幹線設備 動力制御盤リスト (1)	-	A 0 6	共通講義棟A 3 棟 3 階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M 0 6	センター棟 1階全体平面図	1/600	E 0 7	動力・幹線設備 動力制御盤リスト (2)	-	A 0 7	共通講義棟A3棟 1階平面図(室外機基礎)	1/100
M 0 7	センター棟 2階全体平面図	1/600	E 0 8	動力・幹線設備 A棟 1 階平面図	1/200	A 0 8	共通講義棟A3棟 室外機基礎 詳細図	1/100
M 0 8	センター棟 3階全体平面図	1/600	E 0 9	動力設備 共通講義棟A3棟1階平面図(改修)	1/100	A 0 9	共通講義棟A4棟 1階平面図(西) (天井改修範囲図)	1/200
M 0 9	センター棟 全体屋根伏図	1/600	E 1 0	動力設備 共通講義棟A 3 棟 2 階平面図(改修)	1/100	A 1 0	共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(天井改修範囲図)	1/200
M 1 0	空調設備 共通講義棟A 3 棟 機器表 (新設) (再利用)	-	E11	動力設備 共通講義棟A3棟3階平面図(改修)	1/100	A 1 1	共通講義棟A4棟 2階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M 1 1	空調設備 共通講義棟A 3棟 系統図(改修)	-	E 1 2	動力設備 共通講義棟A 4 棟 1 階 (西) 平面図 (改修)	1/100	A 1 2	共通講義棟A4棟 3階平面図(天井改修範囲図)	1/200
M 1 2	空調設備 共通講義棟A 3棟 1階平面図(改修)	1/200	E 1 3	動力設備 共通講義棟A 4 棟 1 階 (東) 平面図 (改修)	1/100	A 1 3	共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(室外機基礎)	1/100
M 1 3	空調設備 共通講義棟A3棟 2階平面図(改修)	1/200	E 1 4	動力設備 共通講義棟A4棟2階平面図(改修)	1/100	A 1 4	共通講義棟A4棟 1階平面図(東) (室外機基礎)	1/100
M 1 4	空調設備 共通講義棟A3棟 3階平面図(改修)	1/200	E 1 5	動力設備 共通講義棟A4棟3階平面図(改修)	1/100	A 1 5	共通講義棟A4棟 室外機基礎 詳細図	1/100
M 1 5	自動制御設備 共通講義棟A 3棟 1階平面図(改修)	1/200	E 1 6	動力設備 共通講義棟A 4 棟 1 階平面図(撤去)	1/100			
M 1 6	自動制御設備 共通講義棟A3棟 2階平面図(改修)	1/200	E17	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟1階平面図	1/100			
M 1 7	自動制御設備 共通講義棟A3棟 3階平面図(改修)	1/200	E 18	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟2階平面図	1/100			
M 1 8	屋外配管図(撤去・新設)	1/200	E 1 9	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A3棟3階平面図	1/100			
M 1 9	空調設備 共通講義棟A3棟 1・2階平面断面詳細図	1/100	E 2 0	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟1階 (西) 平面図	1/100			
M 2 0	空調設備 共通講義棟A3棟 3階平面断面詳細図	1/100	E 2 1	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟1階(東)平面図	1/100			
M 2 1	空調設備 共通講義棟A 4 棟 機器表 1 (新設)	-	E 2 2	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟2階平面図	1/100			
M 2 2	空調設備 共通講義棟A4棟 機器表2(新設) (撤去) (再利用)	-	E 2 3	電灯・弱電・自火報設備 共通講義棟A4棟3階平面図	1/100			
M 2 3	空調設備 共通講義棟A4棟 系統図(西)(改修)	-	E 2 4	中央監視制御設備 A棟1階平面図(1)	1/200			
M 2 4	空調設備 共通講義棟A4棟 系統図(東) (改修)	-	E 2 5	中央監視制御設備 A棟1階平面図(2)	1/200			
M 2 5	空調設備 共通講義棟A4棟 1階平面図 (西) (改修)	1/200	E 2 6	中央監視制御設備 システム構成図	-			
M 2 6	空調設備 共通講義棟A 4棟 1階平面図(東)(改修)	1/200	E 2 7	中央監視制御設備 入出力回路図	-			
M 2 7	空調設備 共通講義棟A4棟 2階平面図(改修)	1/200	E 2 8	中央監視制御設備 既存中央管理点入出力一覧表	-			
M 2 8	空調設備 共通講義棟A4棟 3階平面図(改修)	1/200	E 2 9	中央監視制御股備 新規中央管理点入出力一覧表	-			
M 2 9	空調設備 共通講義棟A 4 棟 1 階平面図(撤去)	1/200						
M 3 0	自動制御設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(改修)	1/200						
M 3 1	自動制御設備 共通講義棟A4棟 1階平面図(東)(改修)	1/200						
M 3 2	自動制御設備 共通講義棟A4棟 2階平面図(改修)	1/200						
M 3 3	自動制御設備 共通講義棟A4棟 3階平面図(改修)	1/200						
M 3 4	空調設備 共通講義棟A4棟 3階平面断面詳細図	1/100						
M 3 5	防雪ネット参考図	1/12						
M 3 6	保温施工標準図N o. 1	-						
M 3 7	保温施工標準図No. 2	-						

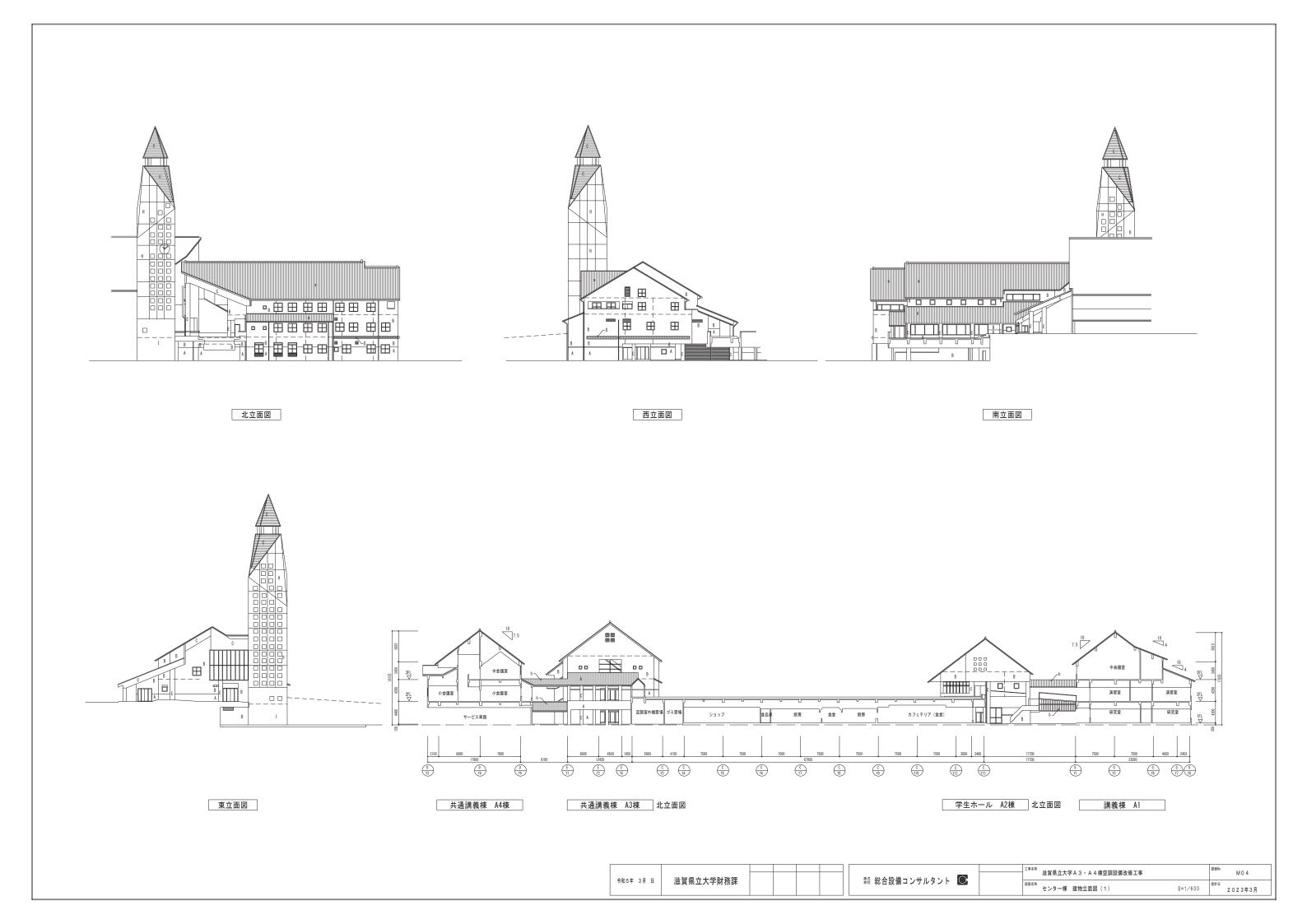
滋賀県立大学財務課 株式会社 総合設備コンサルタント

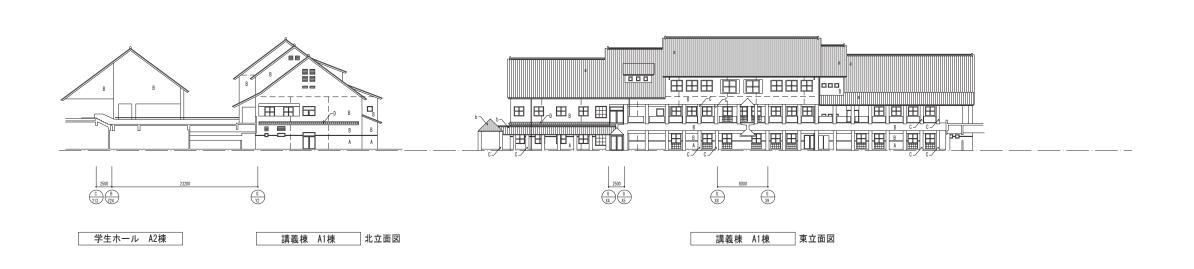
					工 ^{事名称} 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面No.
令和5年 3月	滋賀県立大学財務課			□ 禁 総合設備コンサルタント □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	0.0
	MASCAL TY 1 7/1/3/201				表紙・図面リスト	2023年3月

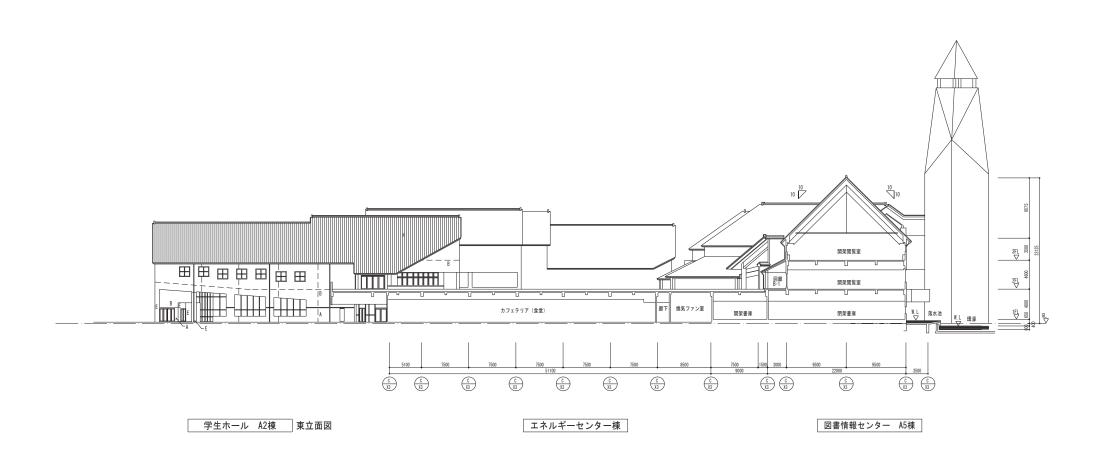
機	械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 1		項目	特 記 事 項		項目	 特 記		項目	特 記 事 項
工事名称	滋賀県立大学A3棟空調設備改修工事		※ 11 検査合格書	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を		本工事は、競争参加資格の確認申請時に技術			1.配置技術者の	建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した
工事場所工事期間・	彦根市八板2500		等 12 建築工事と	提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。 コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開	\	受け付け、価格以外の評価項目と価格を総合 価方式に関する事項は、以下のとおりとする		合評価方式の工事である。総合評 /	低増員	場合において、監理(主任)技術者とは別に、入札公告に定める監理(主任)技術者の要件と同一の 要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置しなければならない。
工事概要説明	明 ・既設全体空調設備(冷温水発生機、AHU、FCU等)は残置させ、個別空調設備を新設する。 尚、一部AHUは換気設備として再利用する。		の取合い ※ 13 既存設備関	口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。 施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、		1. 競争参加資格 受注者は、競争参加 の確認申請時 ならない。	資格の確認申請時に提出した技術	提案書に基づき、工事を履行しなければ	7 1	なお、当該技術者は、監理(主任)技術者を補助し、監理(主任)技術者と同様の職務を行うもの
ı	同、一部A T U は仮式改論として再列用する。 ・管理棟(A - 0)防災センターの既設 A 棟系統集中コントローラーに集中幹線を接続する。又、A、C、D 棟系統既設		係	その機能を低下せしめてはならない。		の技術提案内		/	価	また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を監理 (主任)
_	集中コントローラーに運用管理機能を追加設定する。		※ 14 公害対策 15 産業廃棄物	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。 受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書		容の担保 2. 技術提案内容 施工計画書の取り打	及いは標仕のとおりであるが、受2	L者は技術提案書の内容を満足する施工計	格 2. 施工体制台帳	技術者と同様の方法により届け出ること。
			の処理	を提出して承諾を受けること。 ①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係		の施工計画書 画書を監督職員に提出		計画書において、技術提案書の内容を一	調および施工計	建設工事等人札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準12億たない価格で落札した 場合において、受法者は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその内容の
	※該当工事には適用欄に〇印を附す。			る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)を遵守し、分別解体及び再資源化等を		総 (特別簡易型につ 確認時期について、!		具体的な実施方法、履行の確認方法および D内容をあわせて施工計画書に記載すること。	査内容の説明	説明を求められたときは、応じなければならない。
適用 No	工事種目 工 種 備 考			実施すること。また、着工前の同法第11条の「通知」は受注者が提出のこと。 ②「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱		いては非適用) 3.配置技術者等 受注者は、技術提	案書に記載した配置予定技術者等	を当該工事の主任技術者または監理技術者	度 3.材料、下請負	建設工事等人札執行要領第17条第1項上がと書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した
± 1	受水設備			を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し		あるいは現場代理人	として配置しなければならない。		代金等の支払	場合において、毎月の下請負金額の支払し状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出すること。
P 0 2	給水設備 O 排水通気設備	般		速やかに報告のこと。 ③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法12条の3によるマニフェ			者に記載した技能者が終ヨする戦 間、現場に常駐させなければなら	種(作業) で中心となって作業を行うため、 / ない。	い状況等の説 基 明	また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費(以下「経費等」という。) の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料
	衛生器具設備 ガス設備	-	10 80 44 4 50 50	ストシステムにより的確に実施すること。		評 5. 履行の確認力 (1)技術提案の履行確	「豚のとりまとめについては (別	紙)「技術提案の履行確認書(以下、	_ ゔ	ならびに今後必要とする程費等とこれにかかる資金の調達方法の資料を提示するとともに、それらの 内容について説謝を求められた場合は、応じなければならない。
6	消火設備		理	引渡を要するもの:		法 「履行確認という。	,) 」によるものとする。		く 4. 工事コスト調査	受注者は、建設工事等人札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づ、基準に満たない価格で
7 8	給湯設備 し尿浄化槽設備		17 保険等 18 監督職員事	受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 ・設けない				必要事項を記入し、監督職員の確認を何 の上決定する。さらに、特別簡易型以外の	一 への協力	夢礼した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。 (概要は集ホーム゚ージ:http://www.pref.shiga.jp/h/d-kanri/kensetsu_low/index.htmlを参照のこと)
概 10	換気設備排煙設備	→ #	務所	備品 机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、受注者加入電話の子機、 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。			8書の原案として施工計画書と併せ は、技術提案書においてあらかじめ	:て提出するするものとする。なお√履行確 ○示した方法によるものとする。	- /	・元請者は、下請者の協力を得て、間接工事費等諸経費動向調査票(建築工事においては共通費実態調査
- 11	暖房設備		※ 19 安全対策	工事車輌の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置す		(3) 受注者は完了時に	「履行確認の概要」、「各【対策	】の履行状況」、「技術提案履行率」、		票)の作成を行い、完了届提出後1週間以内に発注者に提出するものとする。なお、調査票等については、別途、監督職員から指示するものとする。
O 13	冷房設備 空気調和設備 ○			ると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講 ずること。また、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。		「減点係数」およ 提出するものとす		「滅点数」を計算したうえ、監督職員へ		 ・受注者は、間接工事費等議経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に 応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもヒアリングに参加させるものとする。
	(自動制御設備) O (中央監視設備)	通		労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者には、(建築工事 電気設備工事			は、受発注者の両者で確認を行う	こととする。 、監督職員はその理由を受注者に通知し		かしものがとする。この場合において、ため情報によってくりにからにをかれてとものがとする。
	(撤去工事)		管理義務者	機械設備工事) の受注者を指名する。		て、工事目的物を	を最小限度破壊して確認することだ	ができる。この場合の確認または復旧に要す		
	電気設備 O 別紙図面による。 建築工事 O 別紙図面による。	_	21 創意工夫等 実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域 サースの元辞セレスで展示さる項目に関する東海について、工事会で終まった。提出することがで			主者の負担とする。 「認により技術提案事項が履行でき	ていないことが明らかになったときは、	-	
		=	大記仏ル	社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができる。		直ちに再度施工または	手直しの計画書を監督職員に提出	しなければならない。ただし、発注者が、		
	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	+		ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献(以下「創意工夫 等」という)に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に受注者から自主		受注者は、前項の計		はない。 諸が得られたならば直ちに実施し、再度		
				的に創意工夫等にかかる資料が監督員職員あて提出され、それらの項目が創意工夫等に該当する		関 監督職の確認を受けな	ければならない。	を 撃を算出し、 対実施分に応じ下表の減点係		
100 148 200 · · · ·	・工事区分表による。			と判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または 資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。		る措置 数を乗じる。履行	崔認の対象とするのは、着目点に対	する技術提案(ただし、特別簡易型の場	1. 定義	V E提案とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下さ
	び仕株書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書、 事標準仕様書および同設備工事標準図の最新版機械設備工事編(以下、「標仕」という)による。	項	22 別途工事と の連絡協議	受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を 図ること。また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に応じ協議を行い連絡を			評価対象とした現場代理人の従事 有無、現場見学会の開催の有無お	期間、資格を持つ技能者の従事の有無、県 3よび県産村の使用の有無とする。		せることなく誘負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者(以下 「乙」という。)が発注者(以下「甲」という。)に行う提案のことをいう。
	○ ○印の付いたものを適用する。		※ 23 シンナー等	密にすること。			履行率	減点係数 (α) 1. 0	2. 提案の範囲	(1) 乙がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係
No	名 称 構造 階数 延面積 (m2) 検数 備 考		の保管管理	に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。		8	50% 上 75% 未満	0. 6		る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。 (2)以下の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。
建	講義棟A3 RC 3F 2、369.81 1	_	※ 24 フロンの回 収等	冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収 し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、			75%以上 90%未満 90%以上 100%未満	0.3	製	①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。 ②契約書第18条にもとづき条件変更が確認された後の提案。
物				工法を用いないこと。		特 (1)実績を評価対象	とした現場代理人の従事期間にお	力る減点係数は、以下のとおりとする。	3. VE提案書の	(1) 乙はV E提案を行う場合は、次に掲げる事項をV E提案書(様式 1 ~ 4) に記載し、甲に提出しなけ
概			※ 25 工事カルテ の作成・登	受注者は、工事請負代金 500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた後、財団法人日本情報総合			対象となった現場代理人の従事>/ E書に記載した現場代理人が、ヹ゙゙゙゙゙゙゙゙ヹ゚	内で途中交代した場合、全体工期に対して	後	ればならない。 ①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比および提案理由。
			録	センター(JACIC)に登録するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員		記. 従事してい	た期間により履行率を求め、減点	係数(α)を設定し減点する。	V	② V E 接来の実施方法に関する事項。(当該提案に係る施工条件等を含む) ③ V E 提案 X 採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠
要				に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。 (1) 受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。			面の対象とならなかった現場 代 理人 対象としない。	O/IC#/	E	④甲が別途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。
TE	日 柱 包 市 佰			(2) 竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。(2,500万円未満は不要) (3) 受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行う			能者の従事における減点保数は、↓ の対象となった技能者の従事>	以下のとおりとする。	方	⑤工業所有権等の徐他的権利を含む∨E提案である場合、その助板いに関する事項。⑥その他∨E提案が採用された場合に留意すべき事項。
適用項目	特 記 事 項 一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、	_	26 工作用版本	こと。(2,500万円未満は不要)		技術提到	医書に記載した技能者が、該当する	職種の技能者が、該当する職種の作業を行	15	(2) 甲は、提出されたVE提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることができる。
	他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。		両の電波法	受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員に			いるときに現場に常財UCいない均 Bの対象とならなかった技能者の資	陽合、減点係数(α) を「1.0」とし減点する。 [格>	関	(3) 乙は、V E提案を契約の締結ロより、当該 V E提案に係る部分の施工に着手する 3 5 日前までに提出 できるものとする。
※ 1 施工	基準 イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面19業及び標準仕様書 により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。		遵守 27 過積載の防	その旨報告する。 受注者は過積載等の進法運行防止を図るため、道路交通法を順守する旨を記載した施工計画書			対象としない。 対活用における滅点係数は、以下の	ル お 川 レ オ ス	す 4. V E提案の審	(4) V E提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。 V E提案の審査は、施工の確実性、安全は、設計図書と比較した経済性等を評価する。
	ロ 必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。		止措置	を提出し徹底を図ること。		〈加算点評価	面の対象となった県内企業の★請え	5H>	る査	
	ハ 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、 その指示に従い施工する。		28 技術検査 ※ 29 施工上の留	工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。 イ 液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。				たが、施工体制台帳や建設工事下請人報告 場合、および、現場での施工体制点検を通じ	特 5. V E提案の採 否等	(1)甲は、VE提案の保否について、УE提案の受領後、4日以内に書面により通知するものとする。 ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
※ 2 監理	こ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。 国土交通省大臣官房官庁営補部監修機械設備工事監理指針(最新版)に準ずる	_	意事項等	ロ 液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備工であること。 ハ 液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること(記録紙お		て申請した		Cいないことを確認した場合、減点係数(α)	\$	(2) 提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。 (3) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は契約書第19条の2の規定に基づくものとする。
※ 3 施工9	監理 施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工監理チェックリスト(滋賀県土木交通部建			よび検査写真を提出すること)。		<加算点評值	≣の対象とならなかった県内企業の	7 間活用>	項	(4)甲は、V E提案によん設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
※ 4 完成				二 給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする(継手指定品を除く)。 ホ 地中埋設の鋼管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープ		I I	†象と√ない。 p開催における減点係数は、以下の	とおくとする。		(5)前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5
	(縮小版A4サイズ)部を提出するものとする。 なお、標仕1.7.2(1)図面の種類に本特配仕様書を加えたものとする。			を巻きモルタル埋めする。 へ 建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は標準仕様書の屋内配管の支持			iの対象とならなっか現場見学会の 医療で現場目学会の関係を由語した	開催> こが、受注者の責任において、加点対象とな		に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。 (6) VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合において、甲がVE提案
5 保全(る資料	に関す 保全に関する資料は標仕により作成し、監督員に指示された必要部数の原本、複写図および			要領に準ずる。		る条件の	∮ものづくりの見える化」に配慮し	た、施工設階や工事プロセスをわかりやす		に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。
	関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。			ト 暖房給湯設備における試運転用油量は、オイルストレージタンクの1/3以上とする。 チ 空気調和設備における仕切弁については、100A以上はパタフライ弁(JIS10K)とする。			きる資料を用いた現地見学会の開作 し減点する。	差ができなかった場合、減点係数(α)を		(7) ∨ E提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、∨ E管理費については 原則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由(不可抗力や、
般 ※ 6 工事3	写真 区 分 分類・規格 撮影枚数 部数(ネガ1枚に付) 備 考 着工前 カラー・サービス 3 (5) 7 1 状況によりつなぎ写真	_		リ 排水桝、汚水桝、浄化槽と硬質塩化ビニル管の接続部は砂付き加工の工場製品を使用し、 漏水防止を図る。			iの対象とならなかった現場見学会 対象としない。	:の開催>		予測することが不可能な事由等)により、工事の続行が不可能、または著しく工事低減額が減少した 場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。
	エ事中 カラ・・サービス 1 必要に応じ			ヌ 機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。		(5) 県産材の使用	lにおける履行率および減点係数に	ついては、以下のとおりとする。	6. V 戸提案の保	V E提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事におい
	完成時 カラー・サービス 6・(10) 20 1 定期提出 カラー・サービス 3・(5) 7 1 月末報告用			ル 機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。 ヲ 風量調整ダンバー、防排煙ダンバー類は、全て工場製作品とし、(財)日本建築センターの			『の対象となった資材> D仕様数量に占める県産材使用量か		100	て無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの 限りではない。
	完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。 写真撮影は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方-建築設債編-」に準ずる。			防災認定マークを貼付されたものとする。 ワ 配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工必要箇所には自動空気抜き弁を		/e [1.0]		った県産材使用量以上の利用があった場合	7. 責任の所在	発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者 の責任が否定されるものではない。
共 ※ 7 現場	代理人 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。	\dashv		取付ける。		<加算点評価	の対象とならなかった資材>			
	契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における 現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する			カ 保温工事については、極力滋賀県保温保冷事業協同組合員等県内業者とする。 ヨ 当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回			対象としない。 Ξ対しては、以下の点数を工事成績	(評定(法令遵守等) において滅点する。		
	運用基準 (滋賀県土木交通部)」による。 ①現場代理人の常駐を要しない期間			等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また撤去工事は特に既設配管の行先を確認 の上、安全に処理する。		1 /	D不履行による減点数) = α × β >	\		
	- ・講負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理			タ 環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。		β : -	者の各着目点の加算点数(ただし、	特別簡易型以外の場合、技術機楽におい		
通	人の工事現場への常駐は要しない。			(1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品 (2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料		//	算点評価されなかった内容について 評定における減点数)=(各着目点	\		
	仮設工事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。			(3) 滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品 (参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf)		※「各着目点」	は発注者が設定する着目点をいう	i。また、「現場代理人の従事期間」 活用」、「現場見学会の開催」、「県産材の		
	なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。		30 電子納品	(多名ML INLU-//www.pref. Smiga.jp/g/main.toutsu/gomi.zero/nz/12/zeriet.pu/) 竣工時、工事の概要および機器台帳を建築課所定の様式により電子媒体で提出すること。		使用」につ	ついては評価項目単位とする。			
	②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が 行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。		※ 31 暴力団員等 による不当				っては、以下のとおり。 F確認のとりまとめについては、(S	引紙)「技術提案の履行確認書」の提出		
事 8 技術的	現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。	\dashv	たよる不当 介入の排除	1 受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注工事等に対して		/ による。		\		
0 1X(0)	① 技術者の専任を要しない期間			不当介入をしようとするすべての者をいう。) による不当介入 (不当な要求または業務の 妨害) を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で		1 / 1		欄に必要事項を記入し、監督職員の確認 員と協議の上決定し、原案として施工計画		
	・請負契約の締結翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技 術者の工事現場への専任は更しない。			速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。		書とともに提(3) 受注者は完了8		対策】の履行状況」、「技術提案履行率」、		
	 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は 仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場へ 			2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書 (別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。		「減点係数」	および「技術提案加算点」を記入	し、「滅点数」を計算し、監督職員へ提出		
項	の専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員			また、受注者は、以上のことについて、下請負人 (再委託の協力者を含む) に対して、 十分に指導を行うものとする。		することとす (4) 計算結果につい	る。 ては、受発注者の両者で確認を行	ð. \		
	との打合せにおいて定める。 ② 滋養果建設工事請負契約約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を			3 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた		1		資料については、発注者が確認するが、		
	完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場へ			場合は、監督職員と協議するものとする。		り扱い 請負代金額の変更I (特別簡易型につ (2)不可抗力(地震・II		数量に変更があった場合は、発注者と		
	の専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該 検査の結果を通知した日(契約約款第31条第5項に該当するものを含む)とする。		32 環境配慮 指針	公共事業に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出すること。		いては非適用) 受注者が協議のう	え、発注者が認めたものについて	変更の対象とする。		
	なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期完了後の監理技 術者等の工事現場への専任を要しない。					の変更が生じた場合		5等)によって、新たな対策や施工体制 iえ、発注者が認めたものについて変更の		
9 技能:	± 適用工事種別 ・配管施工:1級 ・熱絶縁施工:1級	\dashv			/	対象とする。			<u>\</u>	
※ 10 下請	・冷凍・空気調和機能工: 1級 ・ 遠築板金能工 業者機 各種下請業者、機器材料等県内で供給できるものについては、極力県内業者、県産品を選定す	\dashv				W to IR A 1 W SI SE		性 かん A = B は		^{に本名称} 滋賀県立大学A 3 ・A 4 棟空調設備改修工事 M 0 1
材等(D選定 ることとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場				令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課				^{関連名称} 機械設備工事特記仕様書(1) 数計日 2023年3月
1	合は、監督職員の承諾を受ける。	-								2023年3月

	機械設備	工事特記仕様書 2	種目 適用 項 目	特 記 事 項	種目	適用 項 目	特記	事項	種目適	用項目	特記	事 項	
種目 適用	項目	特 記 事 項	□ 工事範囲及び説明	新設する。既設個別空調設備は更新する。									
1 受水設備	工事範囲及び説明 負担金等 重水器 受水タンク 高面タンク 摘水ポンプ 総水ポンプ 配管材料 保温工事	要、不要 貸与、本工事 () 製、容置(有効) m3、耐震 (0.61.01.52.0) G () 製、容置(有効) m3、耐震 (1.01.52.0) G 口径() mm タ×() mH×() kW 回移() mm タ×() mH×() kW 屋外配管: 硬質塩化ビニル管 HIVP・VP、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管: ビニルライニング鋼管 VA 施工は構度図による。	IE	画だき吸収式冷温水発生機(単効用二重効用)、 水冷チリングユニット、空冷式ヒートポンプチラーユニット (ターポスクリュー連心吸収)冷凍機 鋳鉄製ポイラー、鋼製ポイラー 立型ユニット型空間機、模型ユニット型空間機 ファンコイルユニット、ファンコンベクタ、、コンベクタ、ベースボードヒータ 床置型、(天井吊型)(天吊白在型) 天井埋込型、(健掛型) 亜鉛鉄複製(共松工法)									
	工事範囲及び説明	超上は物学図による。 基礎打設に伴う配管の切り回しを行う。	備 ○ 配管材料	冷温水管:水道用亜鉛めっき鋼管、耐熱性ビニルライニング鋼管 冷却水管:ビニルライニング鋼管 NA、ポリ粉体ライニング鋼管 PA 冷煤配管:脱酸鋼管L (断熱材被運鋼管 (液側・ガス側共に断熱厚さ 10 mm)									
2 給水設備		直圧式、(加圧式) 重力式 屋外配管 : 硬質塩化ビニル管 HIVP、ビニルライニング鋼管 VD (ポリ 別株 ライニング関管 PD) 屋内埋設配管: ビニルライニング関管 PD 屋内埋設配管: ビニルライニング関管 PD 屋内配管: ビニルライニング調管 VA ポリプテン管、水道用ポリプテン管、架橋ポリエチレン管	(3) 空気調和和設備	排水配管 (総需防止無行保質ボリ塩化ビニル管 V P) (無外は保質ボリ塩化ビニル管 V P) 油配管 : SUS304溶接調管、圧力配管用皮素瞬間管 (黒) 総水管 : ビニルライニング調管 V A 施工は保温施工標準図による。 本工事では次の制御を行なう。 パッケージ形空英調和機									
	保温工事 水圧試験 継手、弁等 水質試験	施工は積率図による。 水圧は鞍を行い漏水のないようにする。 ライニング飼管には管域防食艇手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管域防食型弁、 ライニング弁を使用する。 飲適試験(9項目・残留塩素)を行う(1箇所)。	〇 中央監視	個別空調設機新設及び更新等にともなう中央監視盤のソフトウェア変更。									
3 排水通気設備	工事範囲及び説明 排水方式 配管材料 保温工事	単独式、合流式、屋内分流屋外合流式 屋外配管:硬質塩化ビニル管 VP・VU、卵形管 EGP 硬質塩化ビニルリサイクルニ開管 EF-VP 下水道用リサイクルニ開管質塩化ビニル管RS-VU (埋設部) 屋内配管:硬質塩化ビニル管 VP、排水用鉛管 LP 排水用鉄度管 GIP、硬質塩化ビニルリサイクル管 RF-VP 排水用ビニルライニング鋼管 DVLP、耐火二層管 施工は標準図による。	(4)建築工事特記等項	別紙図面による。									
4 衛生器具設備	その他 工事範囲及び説明 衛生器具	曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。 器具リストによる。											
5 ガス設備	工事範囲及び説明 負担金等 ガス計量器 配管材料 試験 ガスの種別 その他	要、不要 貸与、本工事 屋外配管 :配管用炭素銅鋼管(白)(露出部)、ポリエチレン被覆鋼管(埋設部)、 ポリエチレン管(埋設部) 屋内理設配管:ボリエチレン機電響管、ビール被運鋼管 屋内配管 :配管用炭素銅鋼管(白)、フレキ管(SUS) 気密試接後、点対試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。 都市ガス(13A)、プロパンガス 埋設で合成樹脂液覆鋼管の接続は、合成樹脂液覆メカ縄手、サービスコックは合成							本工事! 課所定の: 適用	機材製造者指定 - 使用する機器材料は、下記に指定する製造者 様式により承諾を得で使用のこと。 機材名	製造業者	する場合には、建築	
6 消火設備	工事範囲及び説明 消火水槽 消火光水槽 消火光水槽 消火性 配管材料 保温	樹脂酸電ボールパルブとする。 () 製、容量(有効) m3、(専用受水槽来用) () 製、容量(有効) m3 口径() mm 0 × () mH × () kW 浦火蛤培寿割による。 屋外配管 : ビニル被覆網管 SGP - VS 配管用放業銅網管(白) 屋内配管 : 配管用放業銅鋼管(白) 屋外露出配管は、保温すること。							7ルギッ: 排水: マン: グリ:	ウ プ 器	品製造者		
7 給湯設備	工事範囲及び説明 給湯ポイラ 熱源 配管材料 保温工事	鋳鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ 電気温水器、給温器 A 重油、灯油、L P ガス、都市ガス (13A)、電気 脱酸銅管机、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管 保温付き被覆鋼管 (保温厚14mm以上)、ボリプテン管 施工は標準図による。								5 議決器 選 機器 条合装置 コック類 青 青			
8 し尿浄化槽設備	工事範囲及び説明 構造 処理方式 容量 処理水質 その他	地上式地下式半地下式 ()製 接触場気式美時間場気式 式 JIS ()人槽、()m3/day BOD (ppm)、SS (ppm)、N (ppm)、P (ppm) 別紙特配住標準による。							換気 全熱: 排煙/ 防火· 冷凍 冷温 冷却!	日 政決器 最 助陸・排煙ダンバー 最 水外生機 著 を が発生機 を を が発生機			
9 換気設備	工事範囲及び説明 送風機 ダクト 保温 施工 機器	・3階機械室設置の排気ファン(給湯室系統・便所系統・更衣室系統)の更新及びそれに伴う ダクト設備工事 シロッコファン 亜鉛板板製(共板工法) 空調熱気扇の外気側給排気ダクトは、保温すること。 送機機所については、防害、防振に注意して施工のこと。 機器リストによる。							吹出 製缶 自動 中央	シコイルユニット コ吸込口	オーケー器材 ネグロス電工		
10 排煙設備	工事範囲及び説明 排煙機 排煙方式	A 方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機 B 方式=煙感加器 → 中観器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機								** ※工事國記号(凡例)は	別國()による。	I	'
					令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課		葦 総合設備コンサルタント		工事名称 滋賀県立大学A 図面名称 機械設備工事特	3 · A 4 棟空調設備改修工事 配仕様書(2)	20 i	M 0 2 ^{††} 2 0 2 3 年 3 月

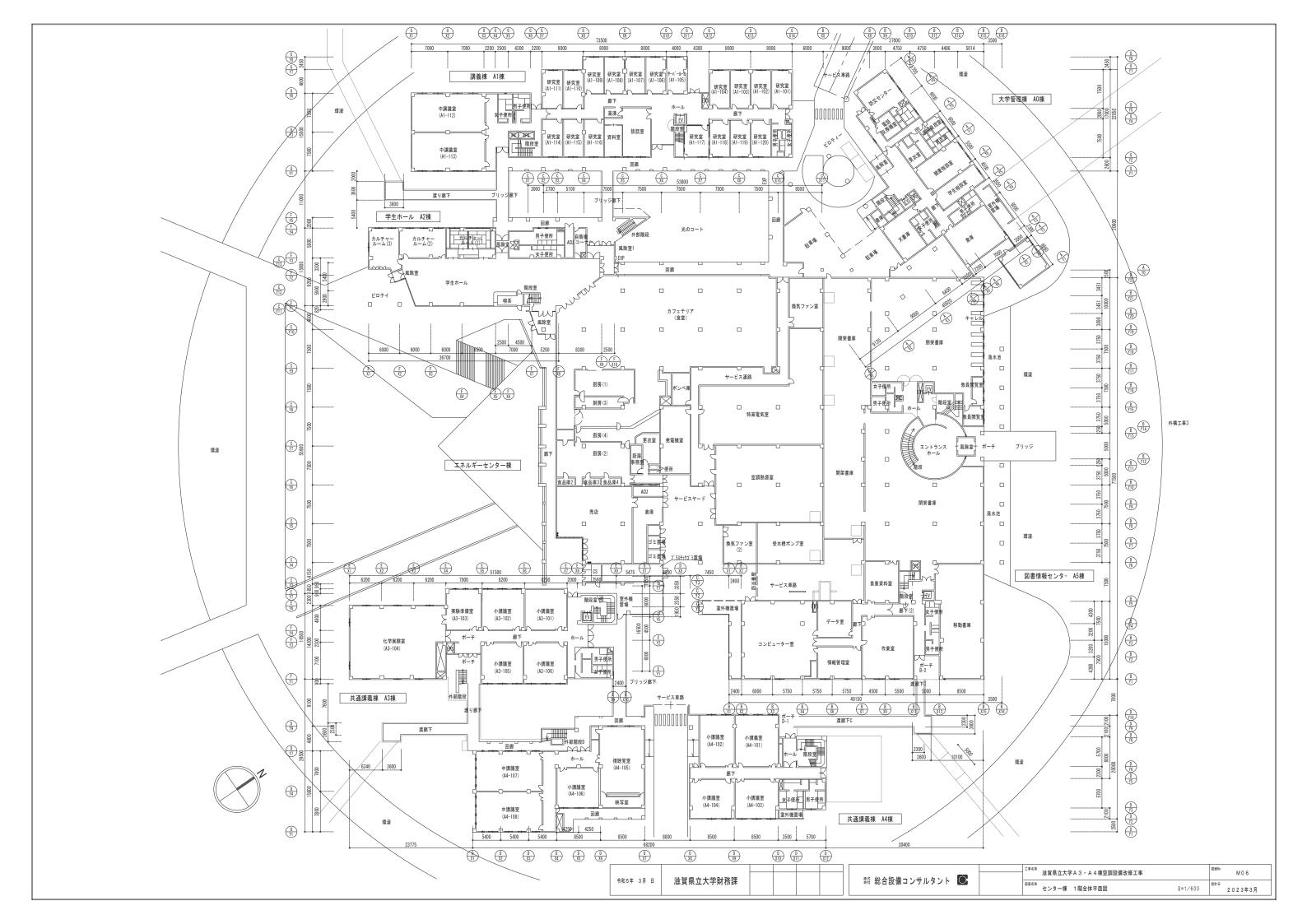


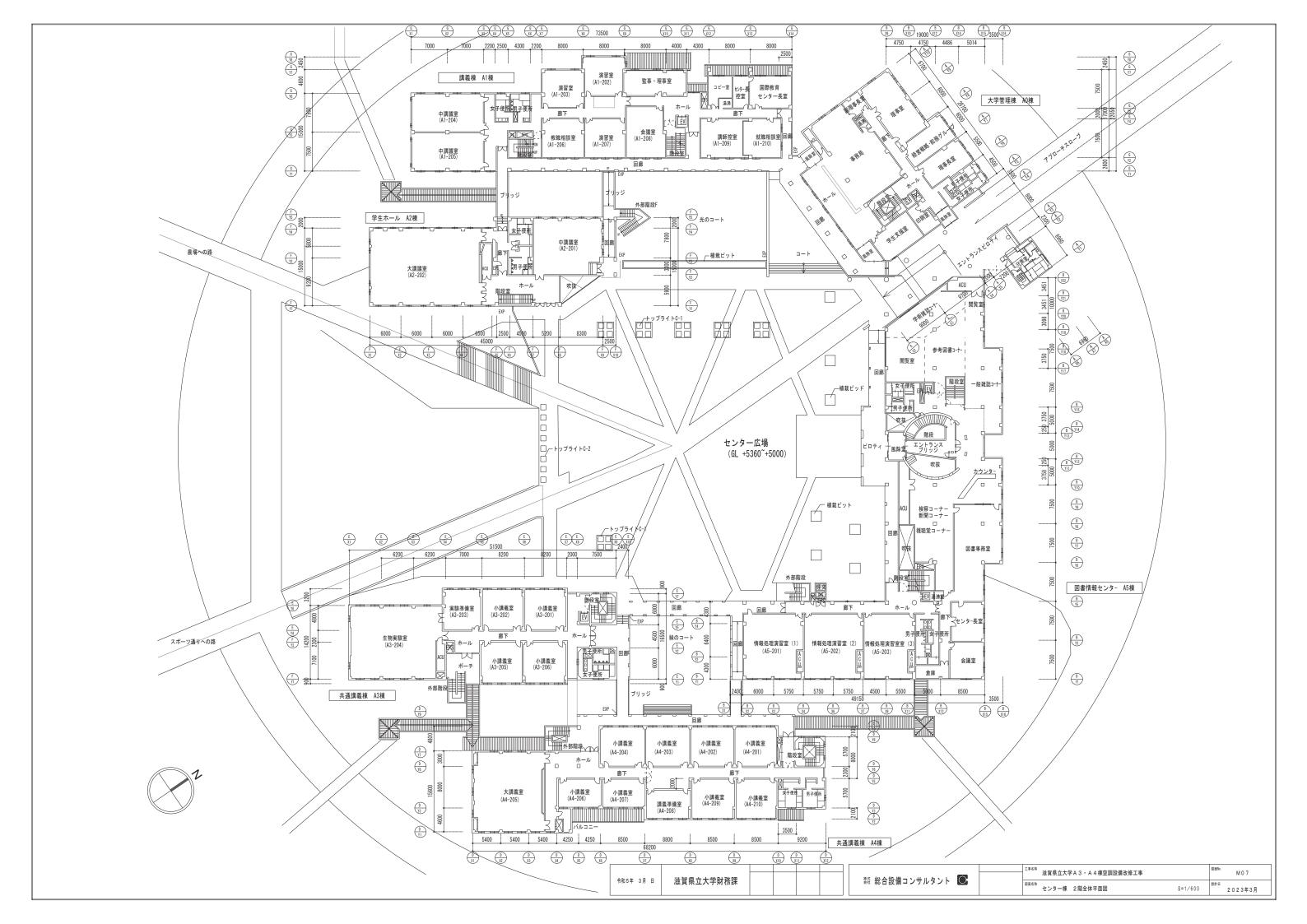


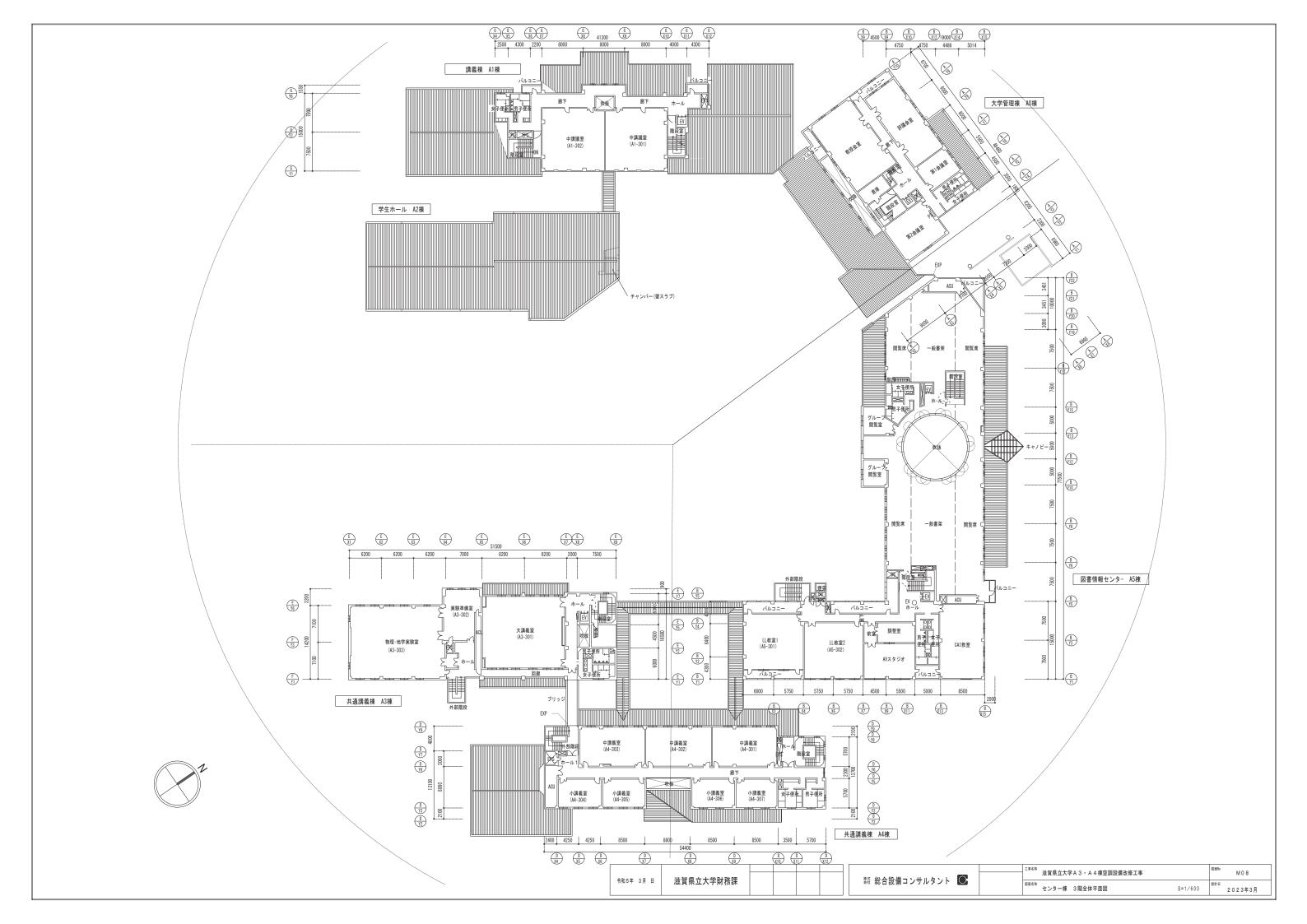


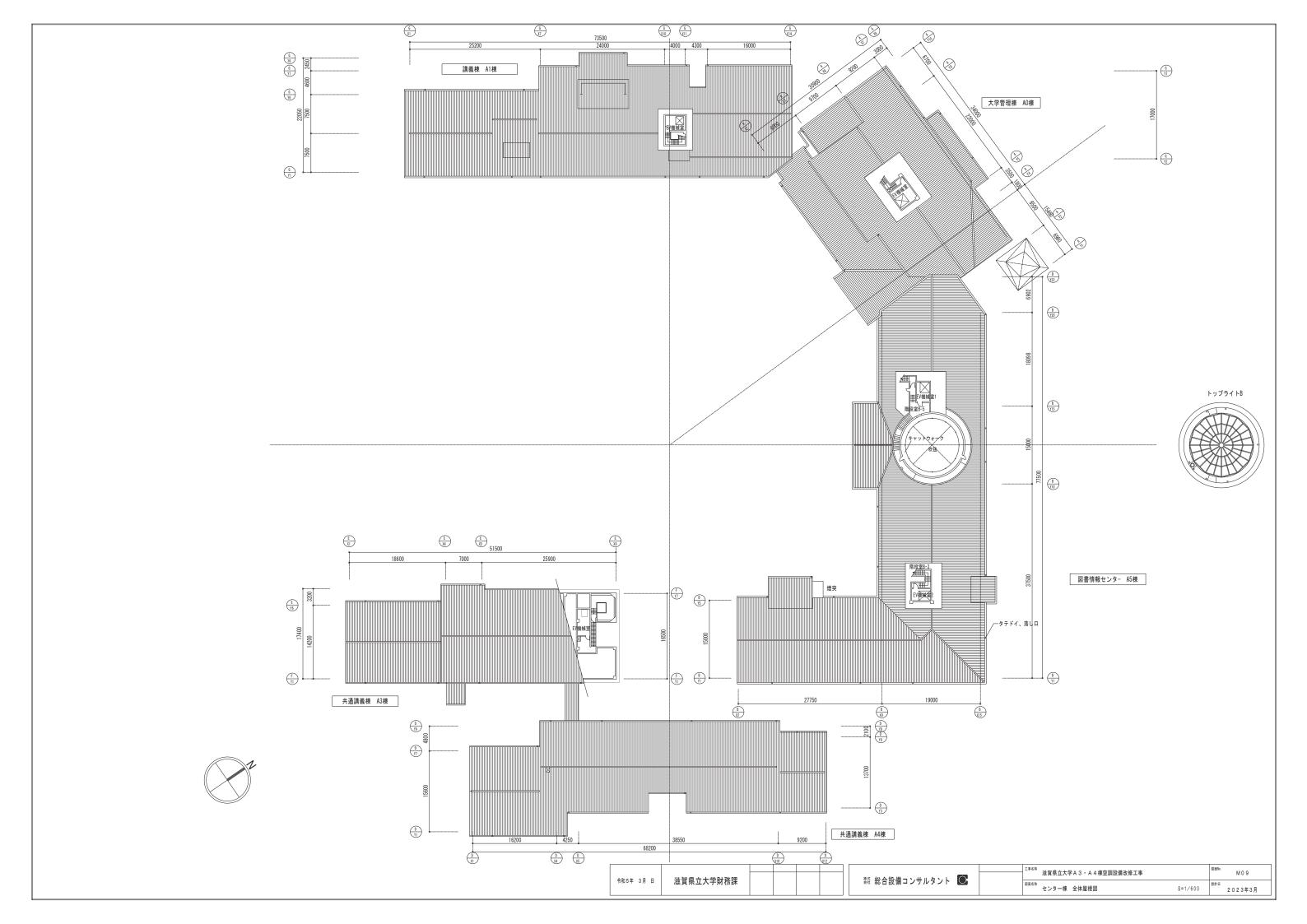


						工事名称 光初唱 士士学 4.0 4.4 体空积弧体 工事	図面No.	мо -
	Amer on n	光加用去十类肚及钿			株式 纵 △ 訊 供 → ゝ . ↓ 』 ゟゝ . ↓	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事		M 0 5
	令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			な 総合設備コンサルタント ■	図画名称 センター棟 建物立面図(2) S=1/600	設計日	2023年3月
L								2020+071









								art = 0+ 1			電源	容量					付属品 〇 印				
機器番号	機器名称	型 式	設置階	室 N O.	設置室名	台 数	冷房能力	暖房能力	電源	消費電	力(kW)	送風機出力	圧縮機出力	B / b	E#	101 > 7 - 7 14	味点和人 ()等所推出)	置台	防雪ネット	保護網	備考
							k W	k W	相一V	定格冷房	定格暖房	kW	kW	ワイヤードリモコン	標準フィルター	ドレンアップメカ	防振架台 (減震機構付)	H=300	(吹出側)	(吸込側3面)	
A C P - A 3 - 1	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	77. 5	90.0	3-200	22.0	22.8	0. 67x2+0. 27x2	10.6+8.39				0	0	0	0	
A C P - A 3 - 1 - 1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	1階	101	小講義室	2	16.0	18.0	1-200	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 1 - 2	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	1階	102	小講義室	2	16.0	18.0	1-200	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 2	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	61.5	69.0	3-200	18.5	17.4	0. 27 x 2 x 2	7. 95+6. 87				0	0	0	0	
A C P - A 3 - 2 - 1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	1階	103	実験準備室	2	9. 0	10.0	1-200	0. 219	0. 219	0.150	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 2 - 2	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	2階	203	実験準備室	2	9. 0	10.0	1 - 2 0 0	0. 219	0. 219	0.150	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 2 - 3	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	3階	3 0 2	実験準備室	2	9. 0	10.0	1 - 2 0 0	0. 219	0. 219	0.150	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 3	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	77. 5	90.0	3-200	22.0	22.8	0. 67x2+0. 27x2	10.6+8.39				0	0	0	0	
ACP-A3-3-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊自在形	1階	104	化学実験室	6	11. 2	12.5	1-200	0. 200	0. 179	0.106	-	1個/6台	0	0					
A C P - A 3 - 4	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	77. 5	90.0	3-200	22.0	22.8	0. 67x2+0. 27x2	10.6+8.39				0	0	0	0	
ACP-A3-4-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	1階	105	小講義室	2	16.0	18.0	1 - 2 0 0	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
ACP-A3-4-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	1階	106	小講義室	2	16.0	18.0	1-200	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 5	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	77. 5	90.0	3 - 2 0 0	22.0	22.8	0. 67x2+0. 27x2	10.6+8.39				0	0	0	0	
ACP-A3-5-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	2階	2 0 1	小講義室	2	16.0	18.0	1 - 2 0 0	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 5 - 2	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	2階	202	小講義室	2	16.0	18.0	1 - 2 0 0	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
A C P - A 3 - 6	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	85.0	95.0	3-200	22.8	22.5	0. 67x2+0. 37x2	10.1+9.16				0	0	0	0	
ACP-A3-6-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊自在形	2階	2 0 4	生物実験室	6	11. 2	12.5	1-200	0. 200	0.179	0.106	-	1個/6台	0	0					
ACP-A3-7	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	77. 5	90.0	3-200	22.0	22.8	0. 67x2+0. 27x2	10.6+8.39				0	0	0	0	
ACP-A3-7-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	2階	205	小講義室	2	16.0	18.0	1-200	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
ACP-A3-7-2	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	2階	206	小講義室	2	16.0	18.0	1 - 2 0 0	0. 242	0.287	0.300	-	1個/2台	0	0					
ACP-A3-8	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	67.0	77. 5	3-200	20.0	20.6	0. 27 x 2 x 2	8. 47 x 2				0	0	0	0	
ACP-A3-8-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	3階	3 0 1	大講義室	4	14.0	16.0	1-200	0.127	0.182	0.300	-	1個/4台	0	0					
A C P - A 3 - 9	ビル用マルチエアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	67.0	77. 5		20.0	20.6	0. 27 x 2 x 2	8. 47 x 2				0	0	0	0	
ACP-A3-9-1	ビル用マルチエアコン 室内機	天吊形	3階	3 0 1	大講義室	4	14.0	16.0	1-200	0.127	0.182	0.300	-	1個/4台	0	0					
																1	1				
PAC-A3-1~3	店舗・事務所用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			3	20.0	22.4	3-200		7. 77		4. 61		_			(防振フレーム付)	0	0	
PAC-A3-1-1, 2	1	壁掛形	3階		物理・地学実験室	2	10.0	11. 2	1-200		-	0.063	-	1個/2台	0	0					
	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	3 0 3	物理・地学実験室	2	10.0	11. 2	1-200		-	0.063	-	1個/2台	0	0	1				
PAC-A3-3-1, 2	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	303	物理・地学実験室	2	10.0	11. 2	1-200	-	-	0.063	-	1個/2台	0	0					
■特記事項																					

■特記事項

1) 冷房・暖房能力は標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。

5) インバーター制御機器は、高調波対応を行うこと。

8)防災センター(A0棟)のA棟用既設集中コントローラーに接続する。(別途電気設備工事)

9) ビル用マルチエアコンには、室内機1台ごとに1個(22.4kw以下用)増設バルブキット付属とする。

2) 電源周波数は60Hzとする。

冷房能力22.4 k w 以上の屋外機にアクティブフィルター設置。

3) グリーン購入法適合品とする。 4)機器は新冷媒対応品とする。

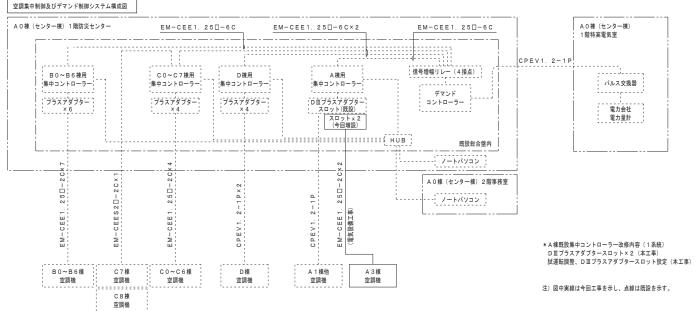
6) 室外機間の電源渡りは、電気工事とする。 7)室外機はハイグレードモデルとする。

空調設備機器表	(再利用)

*下記空気調和機は換気機器として再利用とする。 *中央監視ポイントの削除を行うこと。(別途電気設備工事)

		電源	電気容量	一 台 数	設置場所	備考
(系 統 名)	位 様	电源	Kw	一 台 剱	設直場所	領有
ユニット形空気調和機	形 式 : コンパクト形	3 \$\phi 2 0 0 V	2. 2	1	A 3 棟 1 F空調機械室	
(A3棟1F化学実験室系統)	送 風 量 : 5,000m3/h		(SAファン)			
	外 気 量 : 2,100m3/h		2. 2			
	フィルター : プレ+中性能NBS65%		(RAファン)			
	加 湿 器 : 気化式 3.8 kg/h					
ユニット形空気調和機	形 式 : コンパクト形	3 Ø 2 0 0 V	2. 2	1	A 3 棟 2 F空調機械室	
(A3棟2F生物実験室系統)	送 風 量 : 5,300m3/h		(SAファン)			
	外 気 量 : 2,100m3/h		2. 2			
	フィルター : プレ+中性能NBS65%		(RAファン)			
	加 湿 器 : 気化式 3.8 kg/h					
ユニット形空気調和機	形 式 : コンパクト形	3 Ø 2 0 0 V	2. 2	1	A3棟3F空調機械室	
(A3棟3F物理・地学実験室系統)	送 風 量 : 6,200m3/h		(SAファン)			
	外 気 量 : 2,100m3/h		3. 7			
	フィルター : プレ+中性能NBS65%		(RAファン)			
	加 湿 器 : 気化式 3.8 kg/h					
ユニット形空気調和機	形 式 : コンパクト形	3 Ø 2 0 0 V	3. 7	1	A 3 棟 3 F空調機械室	
(A3棟3F大講義室系統)	送 風 量 : 6,000m3/h		(SAファン)			
	外 気 量 : 6,000m3/h		2. 2			
	フィルター : プレ+中性能NBS65%		(RAファン)			
	加 湿 器 : 気化式 10.1kg/h					
	ユニット形空気調和機 (A3棟1F化学実験室系統) ユニット形空気調和機 (A3棟2F生物実験室系統) ユニット形空気調和機 (A3棟3F物理・地学実験室系統)	ユニット形空気調和機(A3棟1F化学実験室系統) 形式:コンパクト形 労気量:2,100m3/h 分気量:2,100m3/h ウイルター:ブレ中性能NBS65% 加湿器:気化式3.8kg/h ユニット形空気調和機(A3棟2F生物実験室系統) 形式:コンパクト形 送風量:5,300m3/h 分気量:2,100m3/h ウイルター:ブレ中性能NBS65% 加湿器:気化式3.8kg/h コニット形空気調和機(A3棟3F物理・地学実験室系統) 形式:コンパクト形 グライルター:ブレ・中性能NBS65% 加湿器: 気化式3.8kg/h ボス・コンパクト形 透風量: 6,200m3/h ケスルター:ブレ・中性能NBS65% 加湿器:気化式3.8kg/h エニット形空気調和機(A3棟3F大講義室系統) 形式:コンパクト形 (A3棟3F大講義室系統) 透風量:6,000m3/h ケスルター:ブレ・中性能NBS65% ブレ・中性能NBS65% カイルター:ブレ・中性能NBS65% ブレ・中性能NBS65% ブイルター:ブレ・中性能NBS65% ブレ・中性能NBS65%	ユニット形空気調和機 (A 3 棟 1 F 化学実験室系統) 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V 焼 気 量 : 5,000m3/h 分 気 量 : 2,100m3/h フィルター : ブレ+中性能NBS 6 5% 加湿器 : 気化式 3.8 k g/h 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V (A 3 棟 2 F 生物実験童系統) 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V ガイルター : ブレ・中性能NBS 6 5% 加湿器 : 気化式 3.8 k g/h コニット形空気調和機 (A 3 棟 3 F 物理・地学実験童系統) 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V (A 3 棟 3 F 物理・地学実験童系統) 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V ガイルター : ブレ・中性能NBS 6 5% カル 湿器 : 気化式 3.8 k g/h コニット形空気調和機 (A 3 棟 3 F 大講義童系統) 形 式 : コンパクト形 3 Φ 2 0 0 V ・ カンパクト形 3 0 0 0 0 m3/h 4 5 2 2 3 2 3 2 3 2 3 3 4 2 3 3 4 2 3 3 4 2 3 3 4 2 3 3 4 3 4	ユニット形空気膜和機 (A 3 棟 1 F 化学実験室系検) 形式:コンパクト形	ユニット形空気調和機 (A3棟1F化学実験室系統) 形 式 : コンパクト形	ユニット形空気膜和機 (A 3 棟 1 F 化学実験室系統) 形 式 : コンパクト形

空調集中制御及びデマンド制御システム構成図

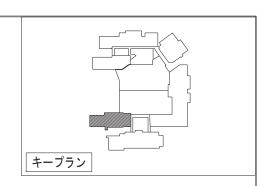


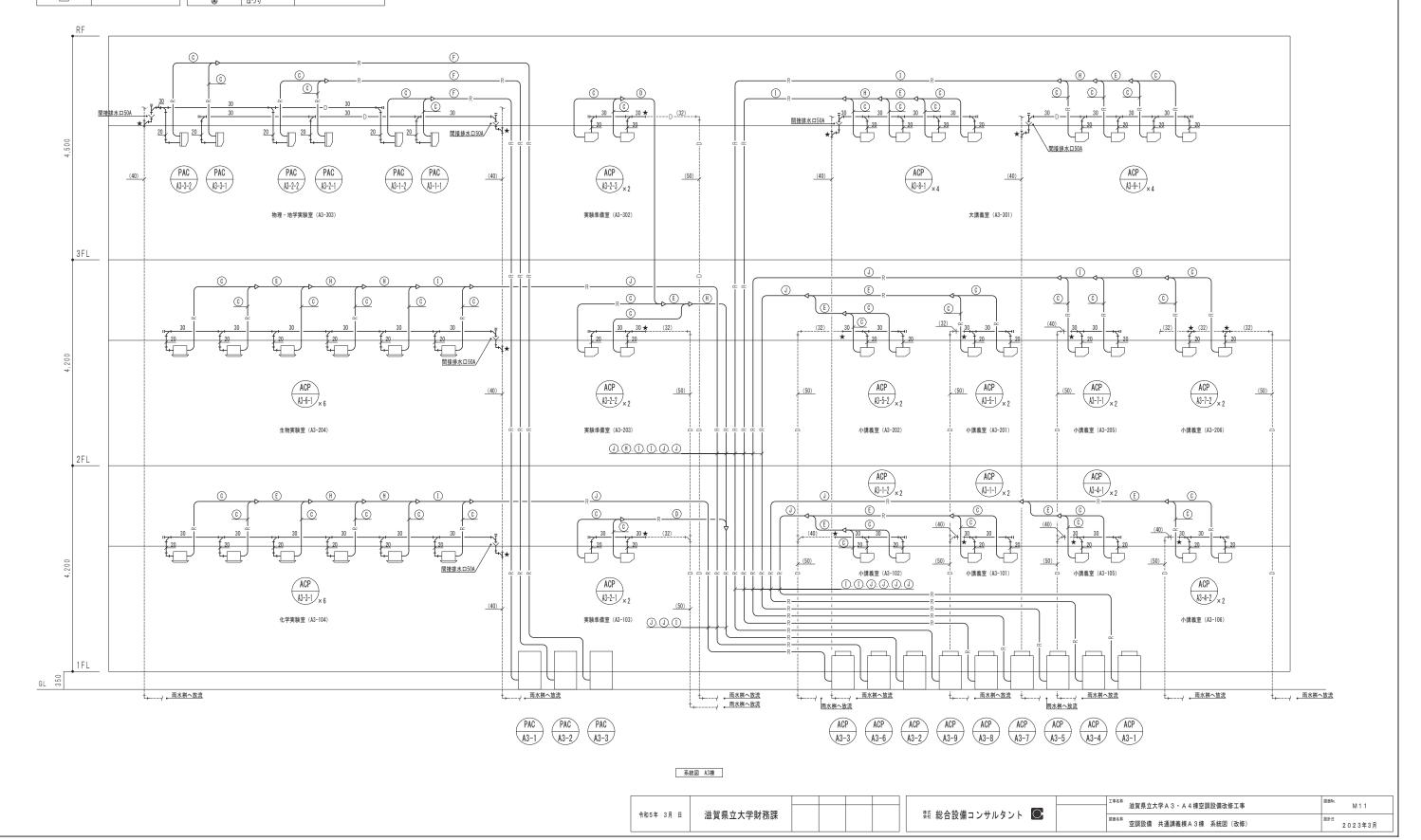
				工事名称 光初日十十份 4 0 4 4 体中部队件 7 体	図面No.
Africa of t	光加用力十类肚及 那		株式	滋賀県立大学A3・A4棟空間設備改修工事	M 1 0
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課		雛 総合設備コンサルタント □	図面名称 空調設備 共通講義棟A3棟 機器表(新設) (再利用)	設計日
				王調以哺 六世語技体NS休 仮备衣 (利政) (円利用)	2023年3月

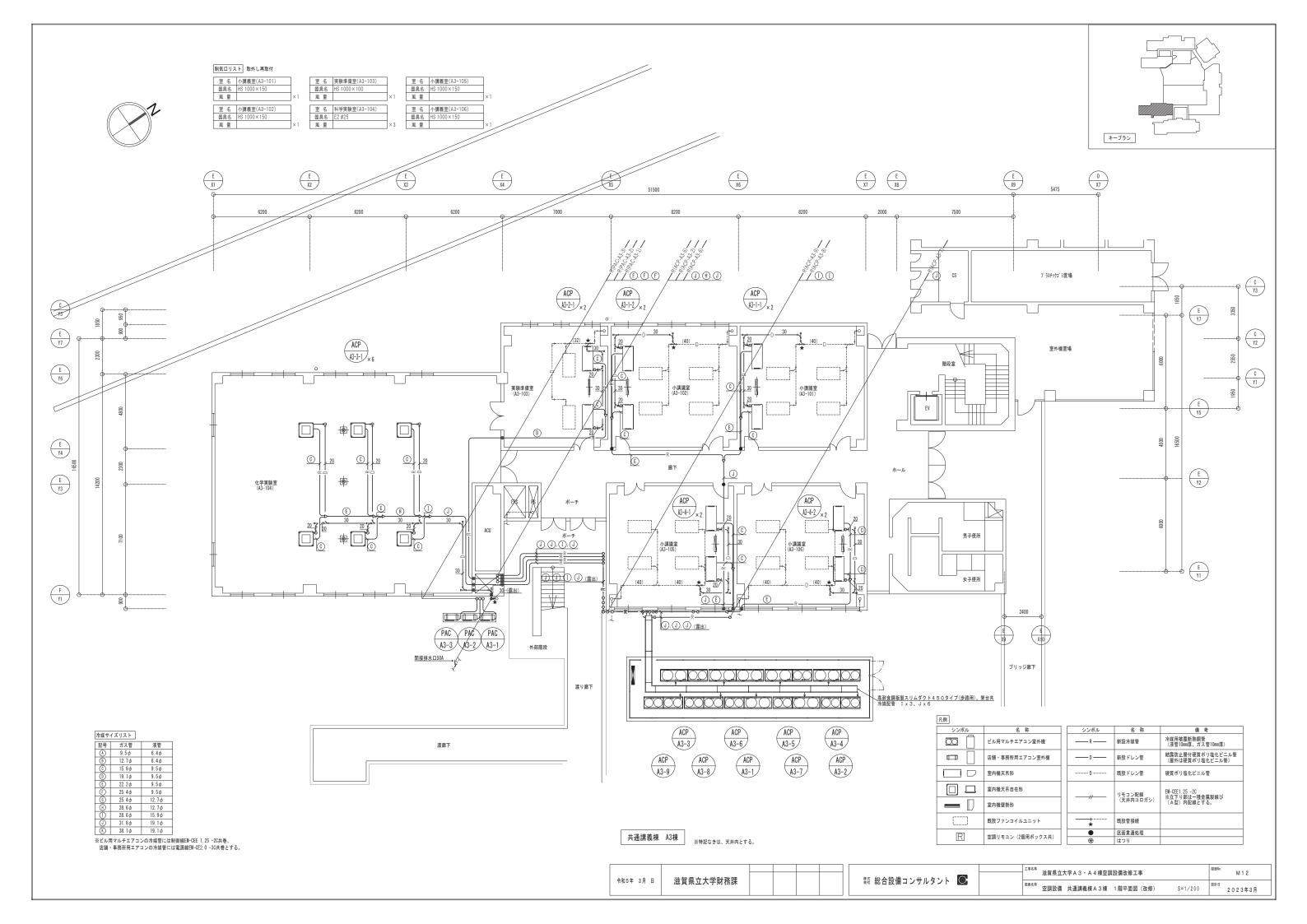
凡例				
シンボル	名 称	シンボル	名 称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機	R	新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機	D	新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天吊形	D	既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天吊自在形		リモコン配線	EM-CEE1.25 ⁰ -2C ※立下り部は一種金属製線び
	室内機壁掛形		(天井内コロガシ)	(A型)内配線とする。
	既設ファンコイルユニット	*	既設管接続	
R	空調リモコン (2個用ボックス共)	•	区画貫通処理	

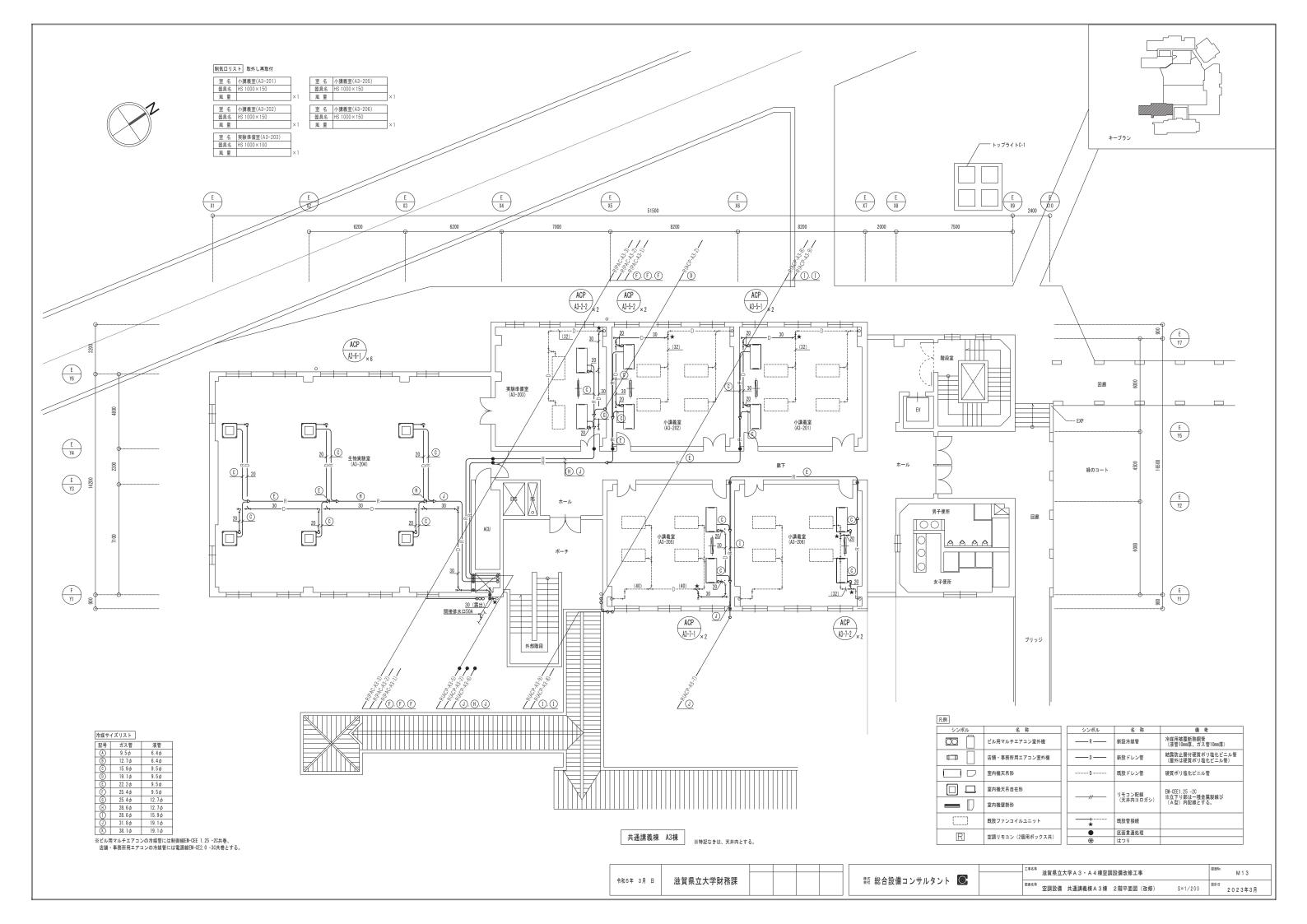
	イズリスト	冷媒サ
液管	ガス管	記号
6.4φ	9.5¢	(9)
6.4φ	12.7φ	B
9.5φ	15. 9 φ	0
9.5φ	19.1φ	0
9.5φ	22. 2 φ	E
9.5φ	25. 4 φ	<u>a</u>
12.7φ	25. 4 φ	(
12.7φ	28. 6 φ	⊕
15.9 φ	28.6φ	Θ
19.1φ	31.8φ	0
19.1φ	38.1φ	(K)

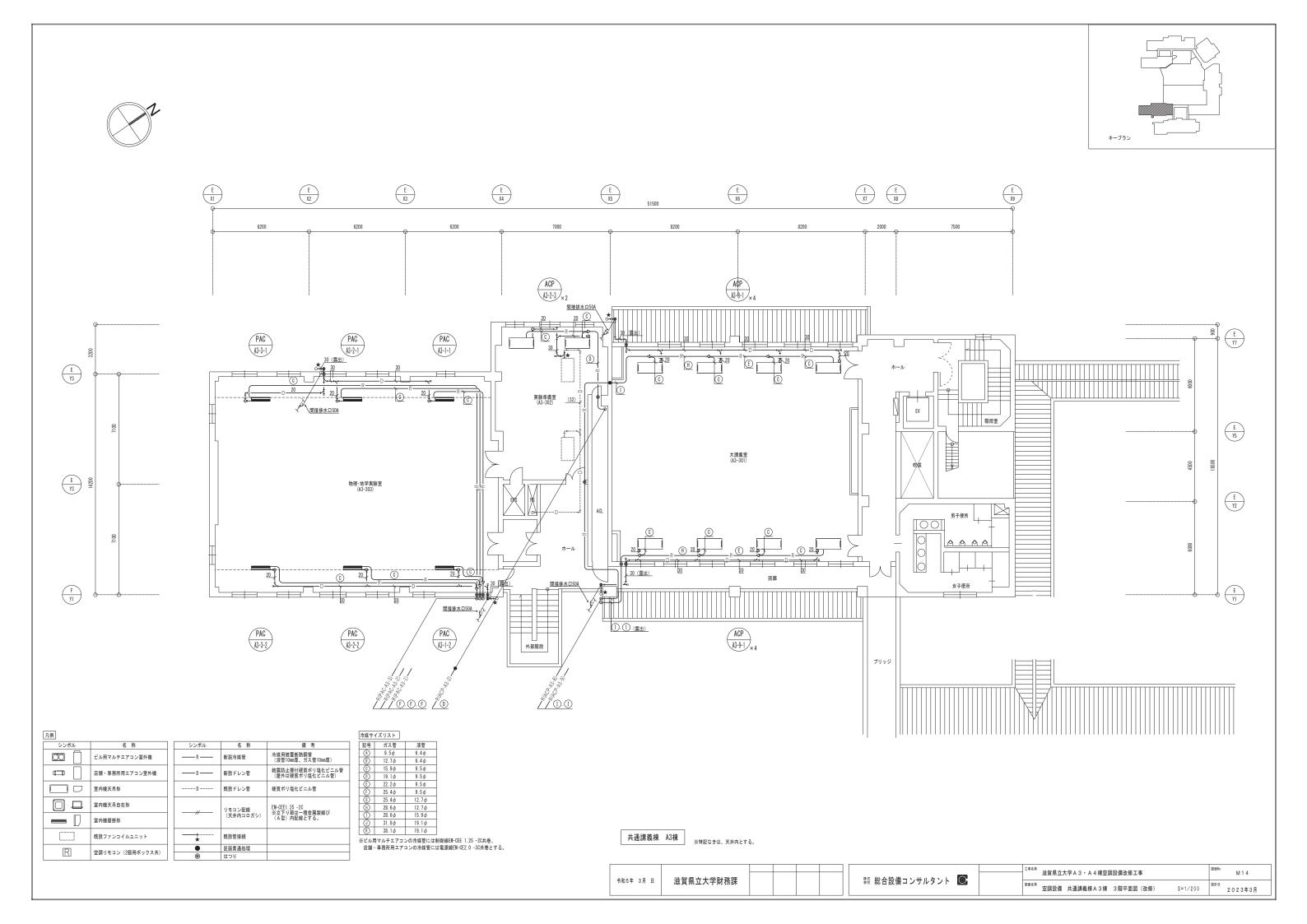
※ビル用マルチェアコンの冷媒管には制御線EM-CEE 1.25⁰-20共巻、 店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0⁰-30共巻とする。

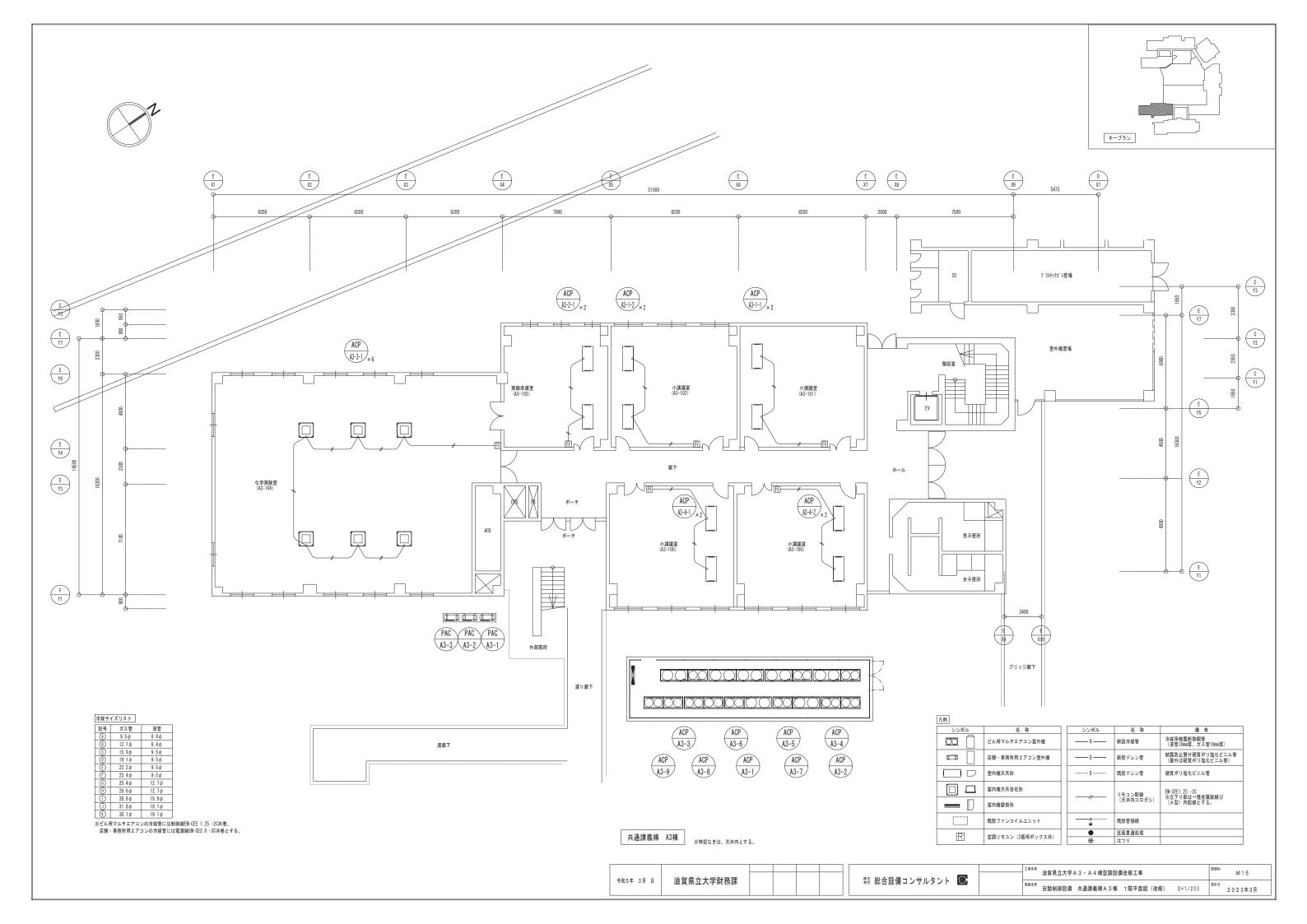


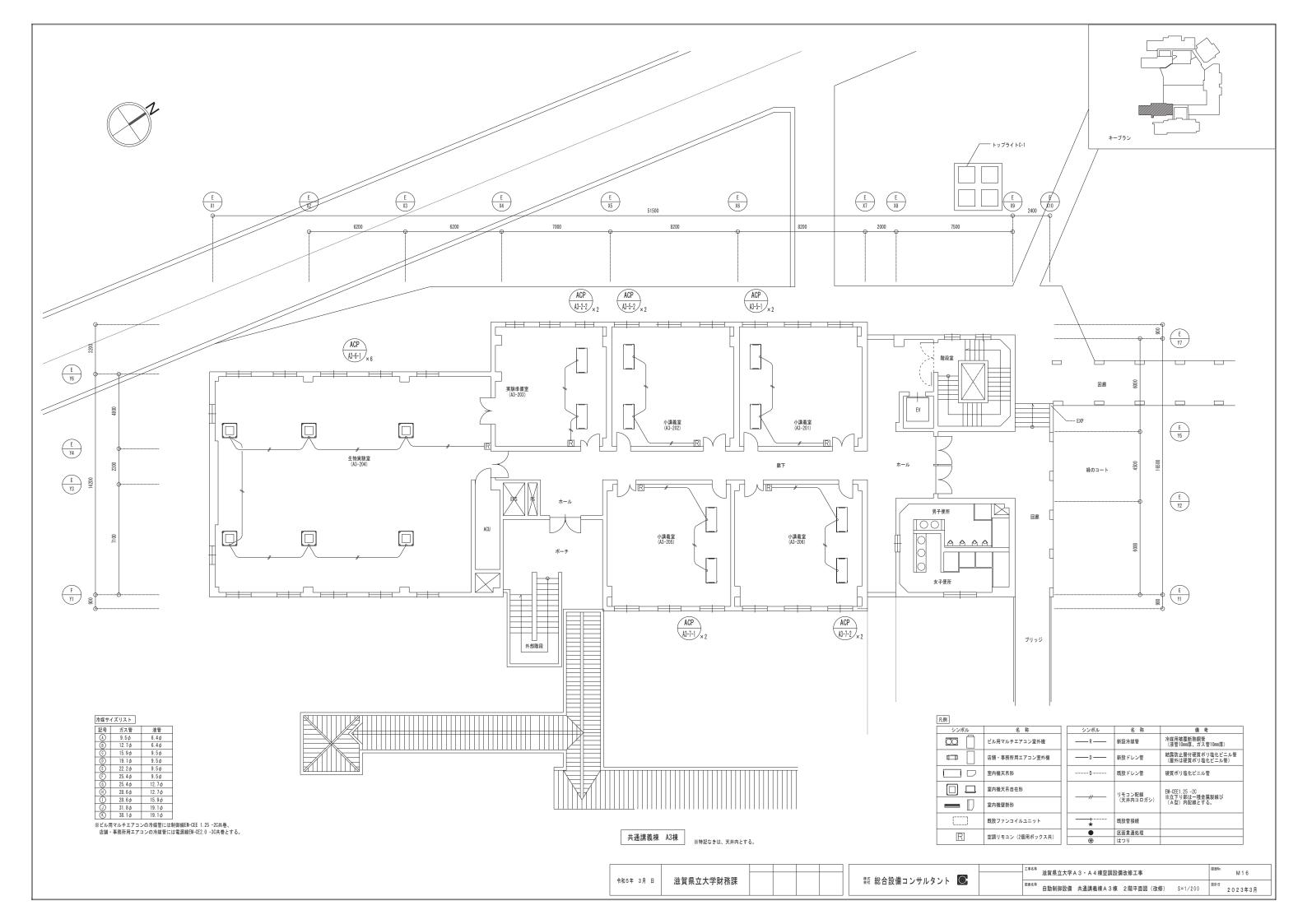


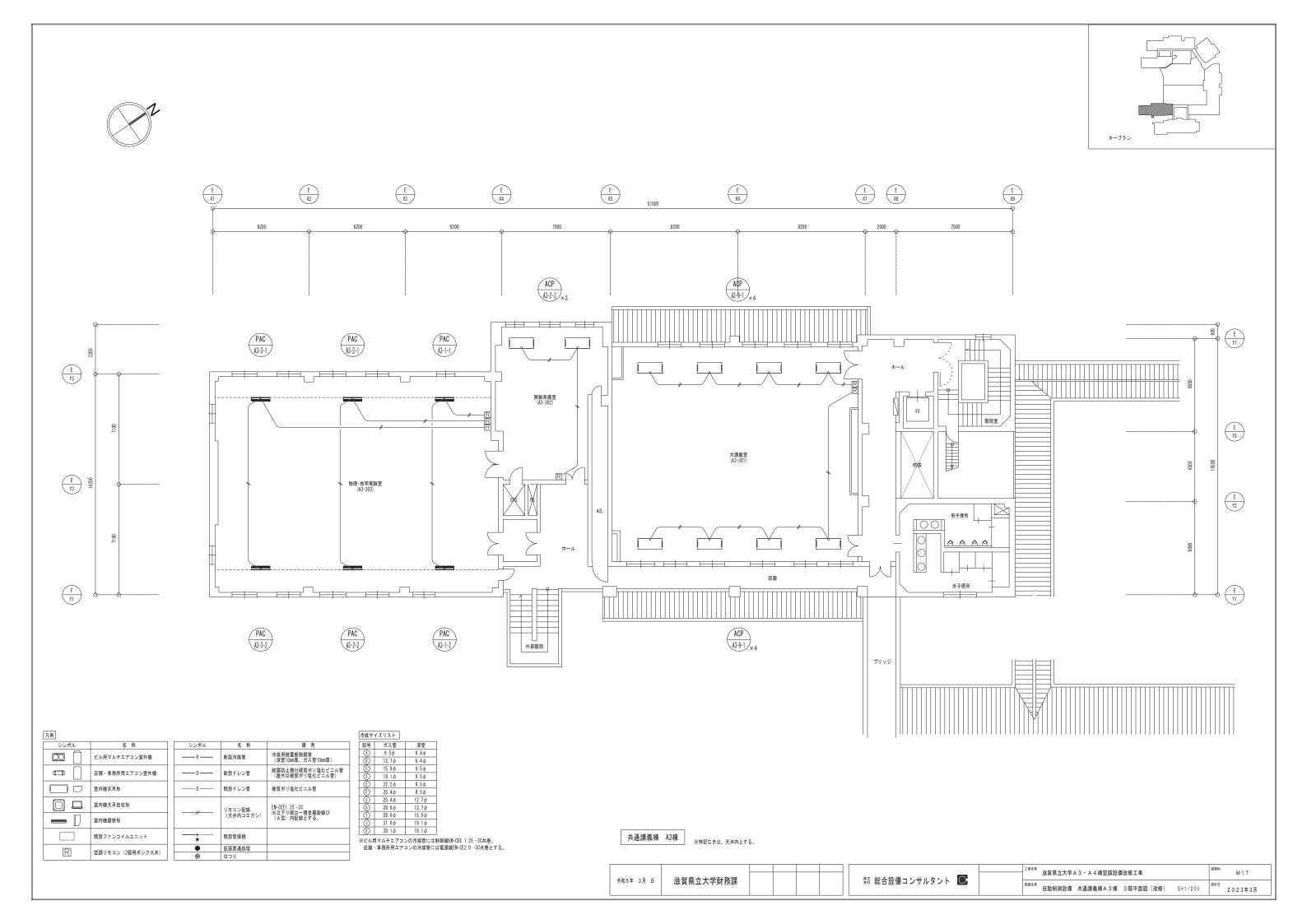


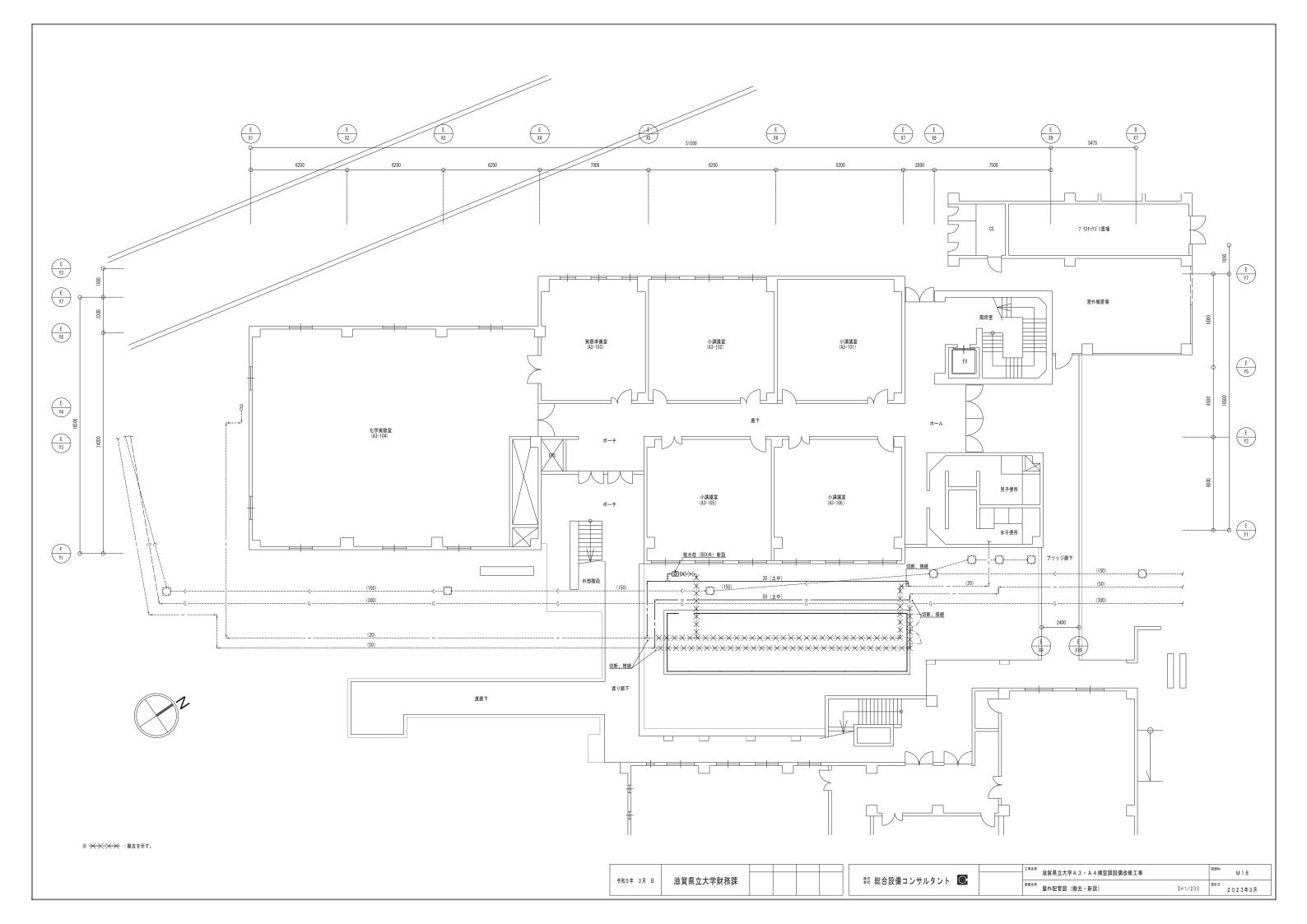


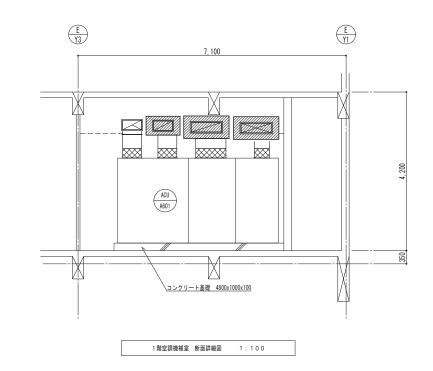


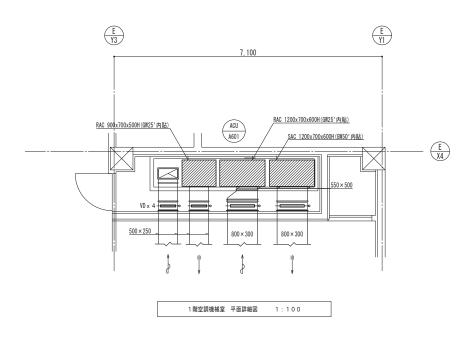


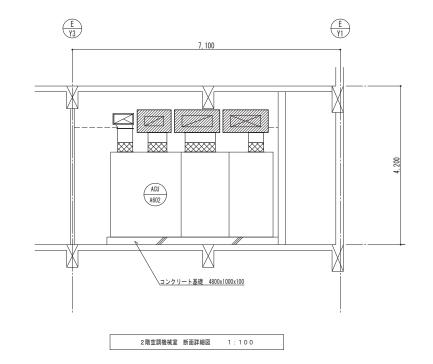


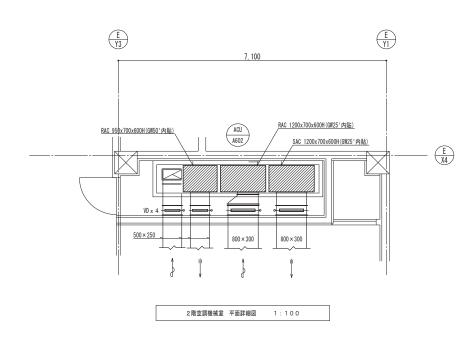




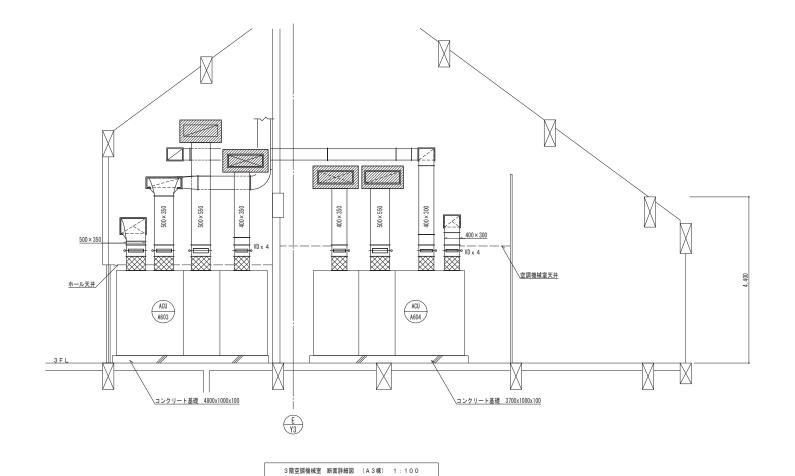


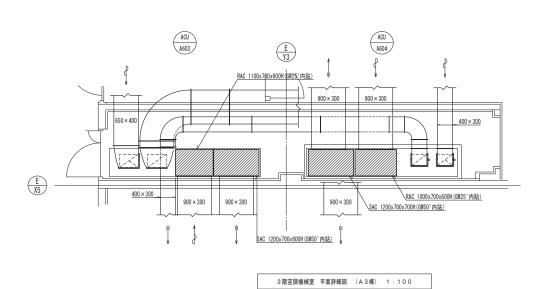






						工事名称 光加思士士学 4.0 4.4 体内部引出 体工市	図面No.	
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課				饕 総合設備コンサルタント ○	滋賀県立大学A3・A4模空調設備改修工事 図両名称 空調設備 共通講義棟A3棟 1・2階平面断面詳細図 S=1/100	M 1 9 設計日 2 0 2 3 年 3 月	$\frac{1}{2}$
				J L		工匠以前 人名斯森林人名林 一 三四十四四四十四四	2023438	┚║





					工事名称	図面No. M 2 O	
A10-5- A11 II	光加度工工光叶龙哥			株式の人乳供して出り与いし	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	MZU	
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			饕 総合設備コンサルタント ○	図面名称 空調設備 共通講義棟A3棟 3階平面断面詳細図 S=1/100	2023年3月	

空調設備機器表1 (新設) 付属品 〇 印 冷房能力 暖房能力 機器番号 機器名称 設置階 室 N O. 設置室名 台 数 電源 消費電力(kW) 送風機出力 圧縮機出力 置台 防雪ネット 備考 kW k W ワイヤードリモコン 標準フィルター ドレンアップメカ 防振架台 (減震機構付) 定格冷房 定格暖房 相一V kW H=300 (吹出側) (吸込側3面) A C P - A 4 - 1 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 77. 5 90.0 3-200 22.0 22.8 0. 67x2+0. 27x2 0.6+8.39 0 0 0 ACP-A4-1-1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 1階 101 小講義室 1 - 2 0 0 0. 242 0. 287 1個/2台 0 0 ACP-A4-1-2 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 1階 102 小講義室 2 16.0 18.0 1-200 0. 242 0. 287 0.300 1個/2台 \circ 0 A C P - A 4 - 2 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 77.5 3-200 22.0 0. 67x2+0. 27x2 0.6+8.39 0 \circ 0 0 1階 90.0 22.8 A C P - A 4 - 2 - 1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 1階 103 小講義室 16.0 18.0 -200 0. 242 0. 287 0.300 1個/2台 0 ビル用マルチエアコン 室内機 A C P - A 4 - 2 - 2 天吊形 1階 104 小講義室 . 242 1個/2台 \circ \circ 0 0 \circ \bigcirc ACP-A4-3 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 45.0 50.0 3-200 12.5 11.9 0.67x2 10.1 ACP-A4-3-1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 1階 105 視聴覚室 3 14.0 16.0 0. 127 | 0. 182 0.300 0 0 1-200 1個/3台 ACP-A4-4 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 100.0 112.0 29.8 28.7 0. 27 x 2 x 3 7.87x3 0 0 0 0 天吊形 ACP-A4-4-1 ビル用マルチエアコン 室内機 1階 106 小講義室 2 16.0 18.0 1-200 0. 242 0. 287 0.300 1個/2台 0 0 天吊自在形 ACP-A4-4-2 ビル用マルチエアコン 室内機 1階 107 中講義室 12.5 0. 200 | 0. 179 0.106 1個/5台 0 5 11. 2 1-200 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 0 0 0 0 3 - 20018.5 ACP-A4-5-ビル用マルチエアコン 室内機 天吊自在形 1階 108 中講義室 11. 2 12.5 1-200 0. 200 | 0. 179 1個/5台 0 ACP-A4-6 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 77. 5 22. 0 22. 8 0. 67x2+0. 27x2 0.6+8.39 0 0 0 0 90.0 3-200 ACP-A4-6-1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2階 201 小講義室 16.0 0. 242 0. 287 1個/2台 ACP-A4-6-2 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2階 202 小講義室 2 16.0 0. 242 0. 287 1個/2台 0 \circ 1-200 ACP-A4-7 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 0. 67x2+0. 27x2 \circ 0 \circ 0 1階 77.5 90.0 3-200 22. 0 22. 8 10.6+8.39 天吊形 2階 0 ACP-A4-7-1 ビル用マルチエアコン 室内機 16.0 0. 242 | 0. 287 0.300 \circ 203 小講義室 18.0 1-200 1個/2台 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2階 204 16.0 -200 0. 242 0. 287 1個/2台 0 0 18.0 0 0 0 ACP-A4-8 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 3 2 . 6 3 1 . 9 0 . 67x2+0 . 37x2+0 . 27x2 9 . 98+9 . 10+7 . 86 0 1階 118.0 132.0 3-200 ACP-A4-8-1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 205 大講義室 8 14.0 16.0 0. 127 | 0. 182 0 0 2階 1-200 0.300 1個/8台 A C P - A 4 - 9 ビル用マルチエアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 50.0 56.0 13.8 13.2 0. 27 x 2 x 2 5.72+4.56 \circ 0 \circ 0 ACP-A4-9-1 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2階 206 小講義室 2 11. 2 12.5 1-200 0. 238 0. 238 0.150 1個/2台 0 0 天吊形 ACP-A4-9-2 ビル用マルチエアコン 室内機 2階 207 小講義室 2 11.2 12.5 1-200 0. 238 0. 238 0.150 1個/2台 0 \circ 冷暖房切替型 0 0 A C P - A 4 - 1 0 ビル用マルチエアコン 室外機 1階 112.0 125.0 3-200 32.5 0 \circ 31.2 ビル用マルチエアコン 室内機 ACP-A4-10-1 天吊形 2階 208 講義準備室 1-200 0. 127 1個/2台 0 ACP-A4-10-2 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2 0. 242 0. 287 0 2階 209 小講義室 16.0 18.0 1-200 0.300 1個/2台 0 ACP-A4-10-3 ビル用マルチエアコン 室内機 天吊形 2階 2 1 0 小講義室 2 16.0 18.0 1-200 0. 242 | 0. 287 0.300 1個/2台 0 PAC-A4-1 店舗・事務所用エアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 10.0 2. 98 3. 49 0.186 ○ (防振フレーム付) 0 0 PAC-A4-1-1 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 301 中講義室 10.0 11.2 1-200 0.063 1個/1台 \circ \circ 店舗・事務所用エアコン 室外機 冷暖房切替型 PAC-A4-2, 3 1階 20.0 22.4 3-200 8. 11 7.77 0. 227x2 4.61 (防振フレーム付) \circ \circ PAC-A4-2-1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 0.063 0 301 中講義室 10.0 11.2 -200 1個/2台 PAC-A4-3-1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 3 0 1 中講義室 1個/2台 \circ \circ 0 (防振フレーム付) \bigcirc 0.186 PAC-A4-4 店舗・事務所用エアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 10.0 11.2 3-200 2. 98 3. 49 1. 95 PAC-A4-4-1 店舗・事務所用エアコン 室内機 3階 302 中講義室 10.0 11.2 0.063 1個/1台 0 0 壁掛形 1-200 PAC-A4-5, 6 店舗・事務所用エアコン 室外機 冷暖房切替型 1階 20.0 3-200 8. 11 7. 77 0. 227x2 4.61 ○ (防振フレーム付) 0 0 PAC−A4−5−1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 302 中講義室 2 10.0 11.2 1-200 0.063 1個/2台 0 0 PAC-A4-6-1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 302 中講義室 0.063 1個/2台 0 0 2 10.0 11. 2 1-200 店舗・事務所用エアコン 室外機 冷暖房切替型 ○ (防振フレーム付) 0 0 PAC-A4-7-1 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 303 中講義室 10.0 11 2 1-200 0.063 1個/1台 0 0 店舗・事務所用エアコン 室外機 8. 11 7. 77 ○ (防振フレーム付) 0 0 PAC-A4-8, 9 冷暖房切替型 20.0 22.4 3-200 0. 227x2 4. 61 PAC−A4−8−1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 303 中講義室 10.0 1個/2台 PAC-A4-9-1,2 店舗・事務所用エアコン 室内機 壁掛形 3階 303 中講義室 2 10.0 11.2 1-200 0.063 1個/2台 0 \circ ■特記事項 1) 冷房・暖房能力は標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。 5) インバーター制御機器は、高調波対応を行うこと。 8) 防災センター (A O 棟) の既設集中コントローラーに接続する。(別途電気設備工事) 2) 電源周波数は60Hzとする。 冷房能力22.4kw以上の屋外機にアクティブフィルター設置。 9) ビル用マルチエアコンには、室内機1台ごとに1個(22.4 kw以下用) 増設バルブキット付属とする。 3) グリーン購入法適合品とする。 6) 室外機間の電源渡りは、電気工事とする。 7) 室外機はハイグレードモデルとする。 4)機器は新冷媒対応品とする。

☆和5年 3月 日 滋賀県立大学財務課						^{工事名称} 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面No.
	Amer 00 0	光加月七十半叶双 钿			株式	滋貝宗立人子A3・A4棵空脚設備以修工事	M 2 1
工詞以順 六起鸽技体 饭盒衣 \ 初款/ 2023	THISH SH I	XX具宗业入子别伤床			et 応日設備コンリルダント	^{図面名称} 空調設備 共通購義棟A4棟 機器表1(新設)	^{設計日} 2023年3月

- 1			
П	空調毁	備機器表2	(新設)

								art = 65.1			電源	量容量				付属品 〇 印				
機器番号	機器名称	型式	設置階	室 NO.	設 置 室 名	台 数	冷房能力	暖房能力	電源	消費電	力(kW)	送風機出力	圧縮機出力	D / N 1011 E - N	15:10 m	1911、一、一、一、1111、 1842年11八八字高级进口)	置台	防雪ネット	保護網	備考
							k W	k W	相一V	定格冷房	定格暖房	kW	kW	ワイヤードリモコン	標準フィルター	ドレンアップメカ 防振架台 (減震機構付)	H=300	(吹出側)	(吸込側3面)	
PAC-A4-10	店舗・事務所用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4. 92	4. 78	0.186	3. 08				(防振フレーム付)	0	0	
PAC-A4-10-1, 2	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	3 0 4	小講義室	2	7. 1	8. 0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	0	0				
PAC-A4-11	店舗・事務所用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4. 92	4. 78	0.186	3. 08				(防振フレーム付)	0	0	
PAC-A4-11-1, 2	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	3 0 5	小講義室	2	7. 1	8. 0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	0	0				
																	0.71.5			
PAC-A4-12	店舗・事務所用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0			4. 78	0.186	3. 08				(防振フレーム付)	0	0	
PAC-A4-12-1,2	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	3 0 6	小講義室	2	7. 1	8. 0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	0	0				
PAC-A4-13	店舗・事務所用エアコン 室外機	冷暖房切替型	1階			1	14.0	16.0	3-200	4. 92	4. 78	0. 186	3. 08				○ (防振フレーム付)	0	0	
PAC-A4-13-1, 2	店舗・事務所用エアコン 室内機	壁掛形	3階	307	小講義室	2	7. 1	8. 0	1-200	-	-	0.048	-	1個/2台	0	0				
				+																

■特記事項

1) 冷房・暖房能力は標準条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。

5) インバーター制御機器は、高調波対応を行うこと。

8) 防災センター (A0棟) の既設集中コントローラーに接続する。 (別途電気設備工事)

9) ビル用マルチエアコンには、室内機1台ごとに1個(22.4 kw以下用) 増設バルブキット付属とする。

電源周波数は60Hzとする。
 グリーン購入法適合品とする。

冷房能力 2 2. 4 k w 以上の屋外機にアクティブフィルター設置。

6) 室外機間の電源渡りは、電気工事とする。

4)機器は新冷媒対応品とする。

7)室外機はハイグレードモデルとする。

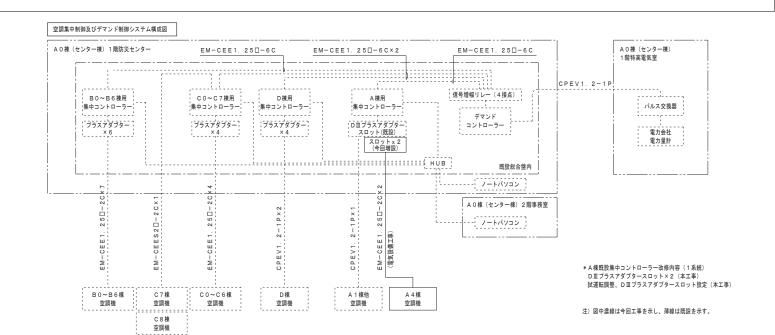
空調設備機器表(撤去)

an B	名 称	// 44	電源	電気容量	/5 #4	80. MR 48 25	H+ +r
記号	(系 統 名)	—	電源	Kw	一 台 数	設置場所	備考
A C P -	パッケージ形空調機	形 式 : 室外機 14.0Kw	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	2. 29	2	地上	RZPP140CA (ダイキン)
4702	室外機	冷房能力 : 12.5 Kw		(室外機圧縮機)			コンクリート基礎 撤去
	(A4棟)	暖 房 能 力 : 14.0 Kw		0.094			既設冷媒管 撤去
		附属品 : 防振ゴム		(室外機送風機)			
A C P -	パッケージ形空調機	形 式 : 室内機 14.0Kw	3 Ø 2 0 0 V		2	1 F 視聴覚室	既設冷媒管 撤去
A 7 0 2	室内機	冷房能力 : 12.5 Kw					
	(A4棟)	暖 房 能 力 : 14.0 Kw					
		附属品: ワイヤードリモコン (1個/1台)					
ACP-	マルチパッケージ形空調機	形 式 : マルチ室外機 6 H P	3 \$\phi 2 0 0 V	3. 9	2	1 F室外機置場	RSXY6H (ダイキン)
A 7 0 2	室外機	冷房能力 : 14,000KcaL/h		(室外機圧縮機)			既設冷媒管 撤去・残置
	(A4棟)	暖 房 能 力 : 15,700KcaL/h		0. 2			
		附属品: 防振ゴム		(室外機送風機)			

空調設備機器表(再利用)

*下記空気調和機は換気機器として再利用とする。 *中央監視ポイントの削除を行うこと。(別途電気設備工事)

記号	名 称	仕 様	電源	電気容量	台 数	設置場所	備考
at 75	(系 統 名)	11. 作	电源	Kw	u X	故且場別	1用 行
ACU-	ユニット形空気調和機	形 式 : コンパクト形	3 Ø 2 0 0 V	3. 7	1	A 4 棟 3 F 空調機械室	
A 7 0 1	(A4棟3F大講義室系統)	送 風 量 : 6,000m3/h		(SAファン)			
		外 気 量 : 6,000m3/h		2. 2			
		フィルター : プレ+中性能NBS65%		(RAファン)			
		加 湿 器 : 気化式 10.1kg/h					



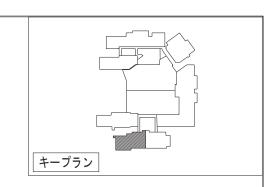
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			

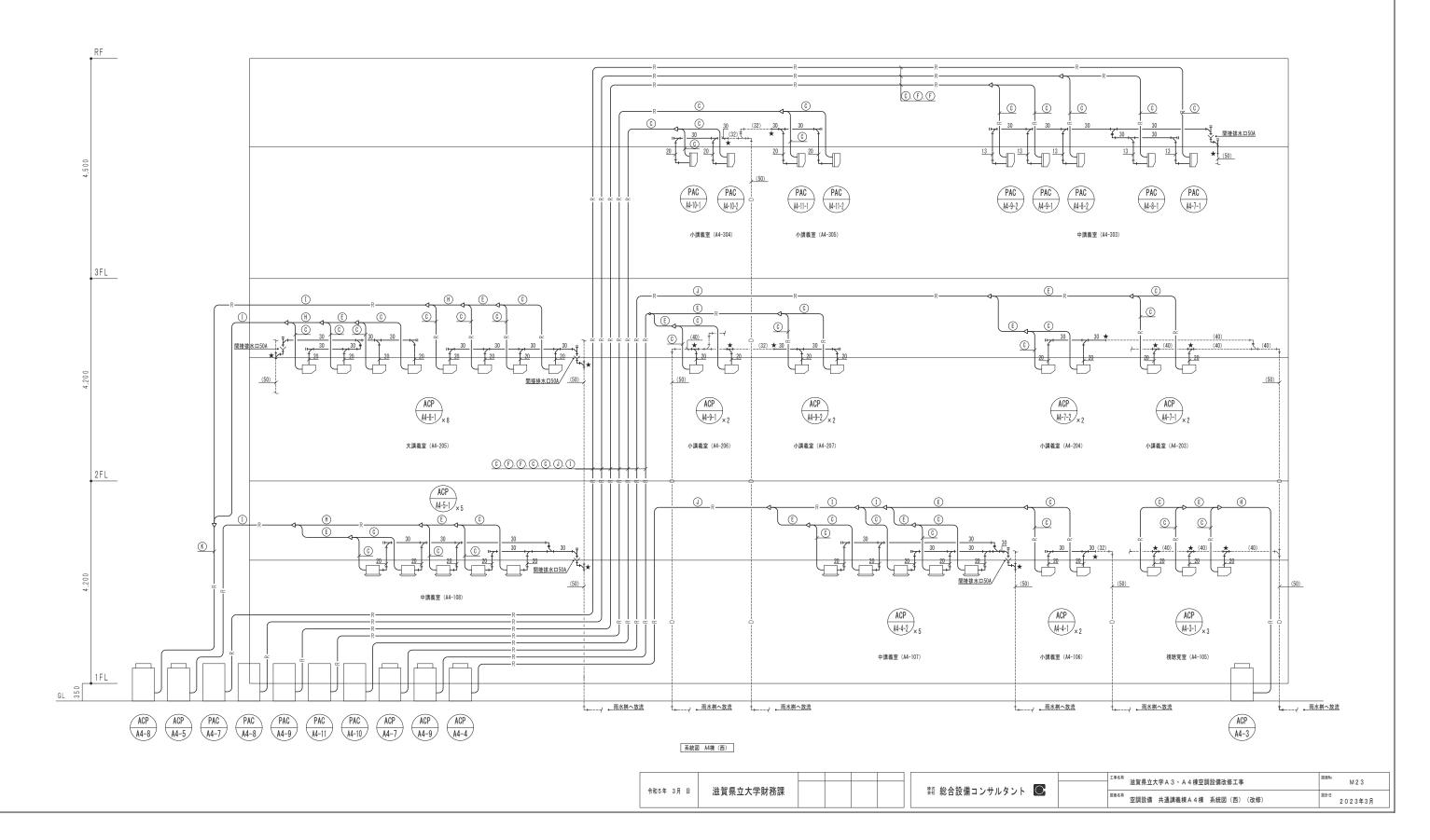
禁 総合設備コンサルタント		工事名称	滋賀県立た	大学A3・A4棟空間	調設備改修工事			図面No.	M 2 2
羅 総合設備コンサルタント	\bigcirc	図面名称	空調設備	共通講義棟A4棟	機器表2(新計	(撤去)	(再利用)	設計日	2023年3月

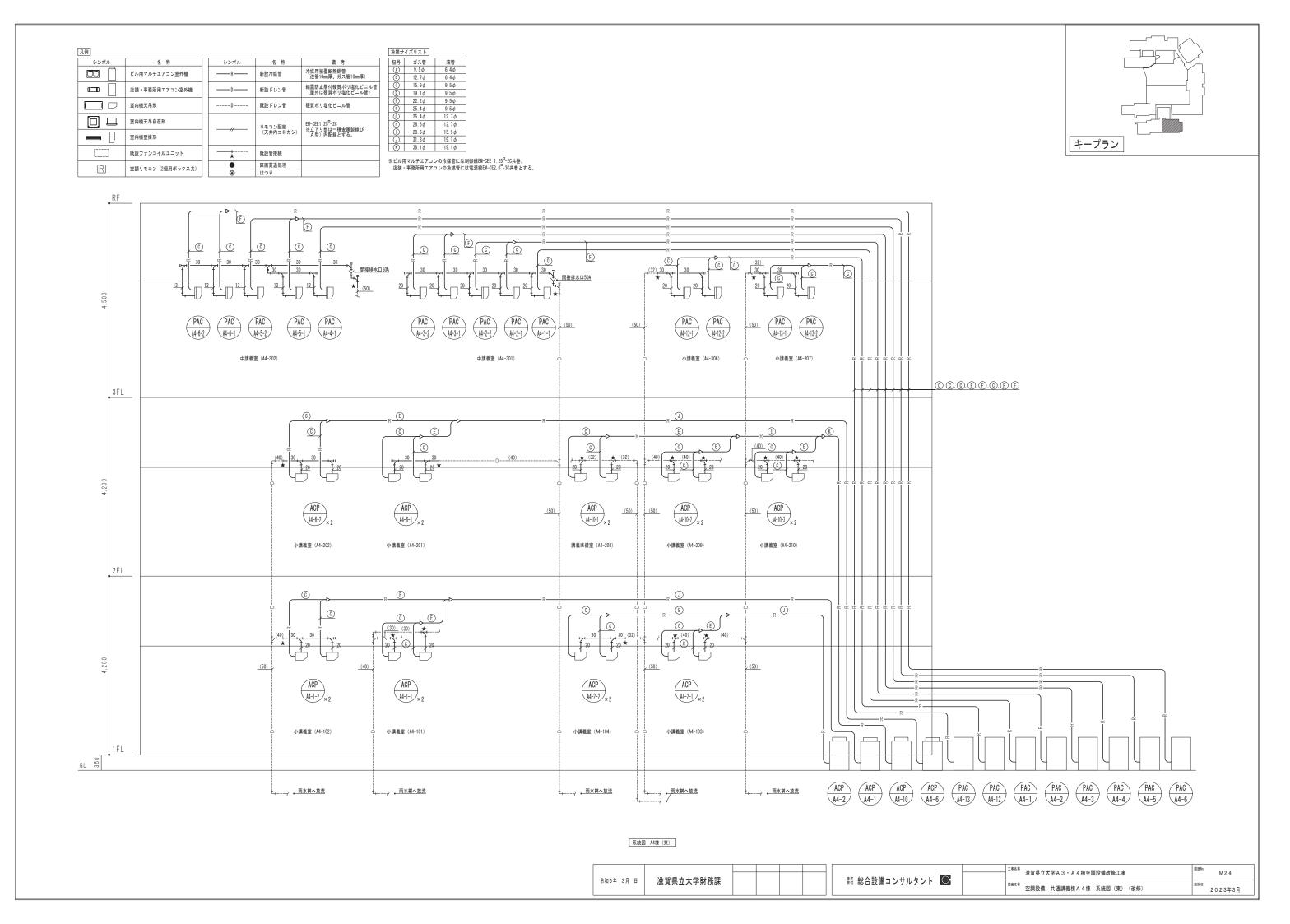
凡例					
シンボル	名 称		シンボル	名 称	備考
	ビル用マルチエアコン室外機		R	新設冷媒管	冷媒用被覆断熱銅管 (液管10mm厚、ガス管10mm厚)
	店舗・事務所用エアコン室外機		D	新設ドレン管	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 (屋外は硬質ポリ塩化ビニル管)
	室内機天吊形		D	既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管
	室内機天吊自在形			リモコン配線	EM-CEE1. 25 ⁰ -2C ※立て日朝は一種全屋制稿で
	室内機壁掛形			(天井内コロガシ)	※立下り部は一種金属製線び (A型)内配線とする。
	既設ファンコイルユニット		*	既設管接続	
R	空調リモコン (2個用ボックス共)		•	区画貫通処理	
[1.8]	王明ソレコン (4個用作ツソ人共)	1	∞.	I+つ II	

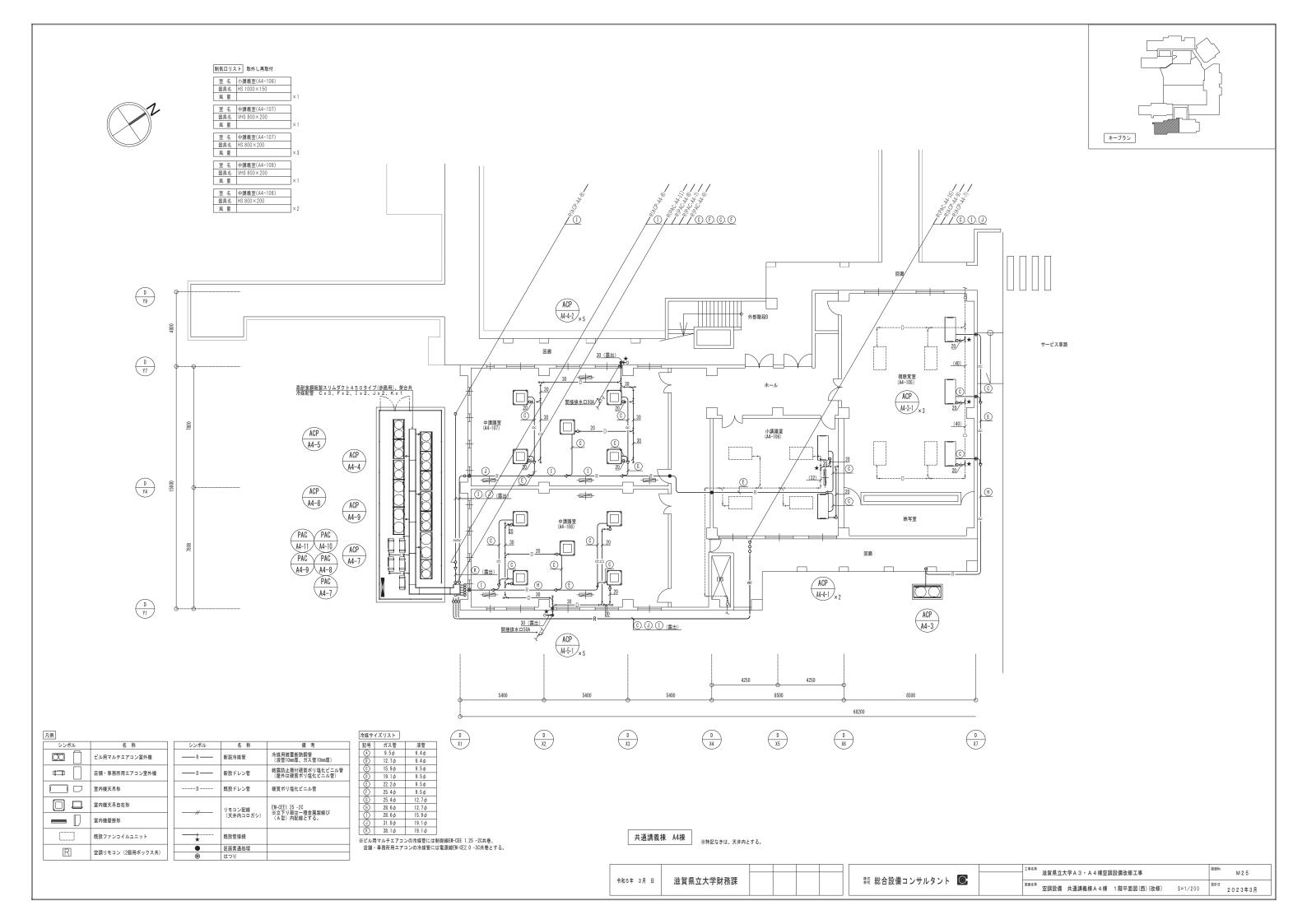
記号	ガス管	液管
(A)	9.5φ	6.4φ
B	12.7φ	6.4φ
0	15.9φ	9.5 φ
0	19.1φ	9.5 φ
(E)	22. 2 φ	9.5 φ
Ð	25.4φ	9.5 φ
(25.4φ	12.7φ
\oplus	28. 6φ	12.7¢
1	28.6φ	15.9φ
0	31.8φ	19.1φ
(K)	38.1φ	19.1¢

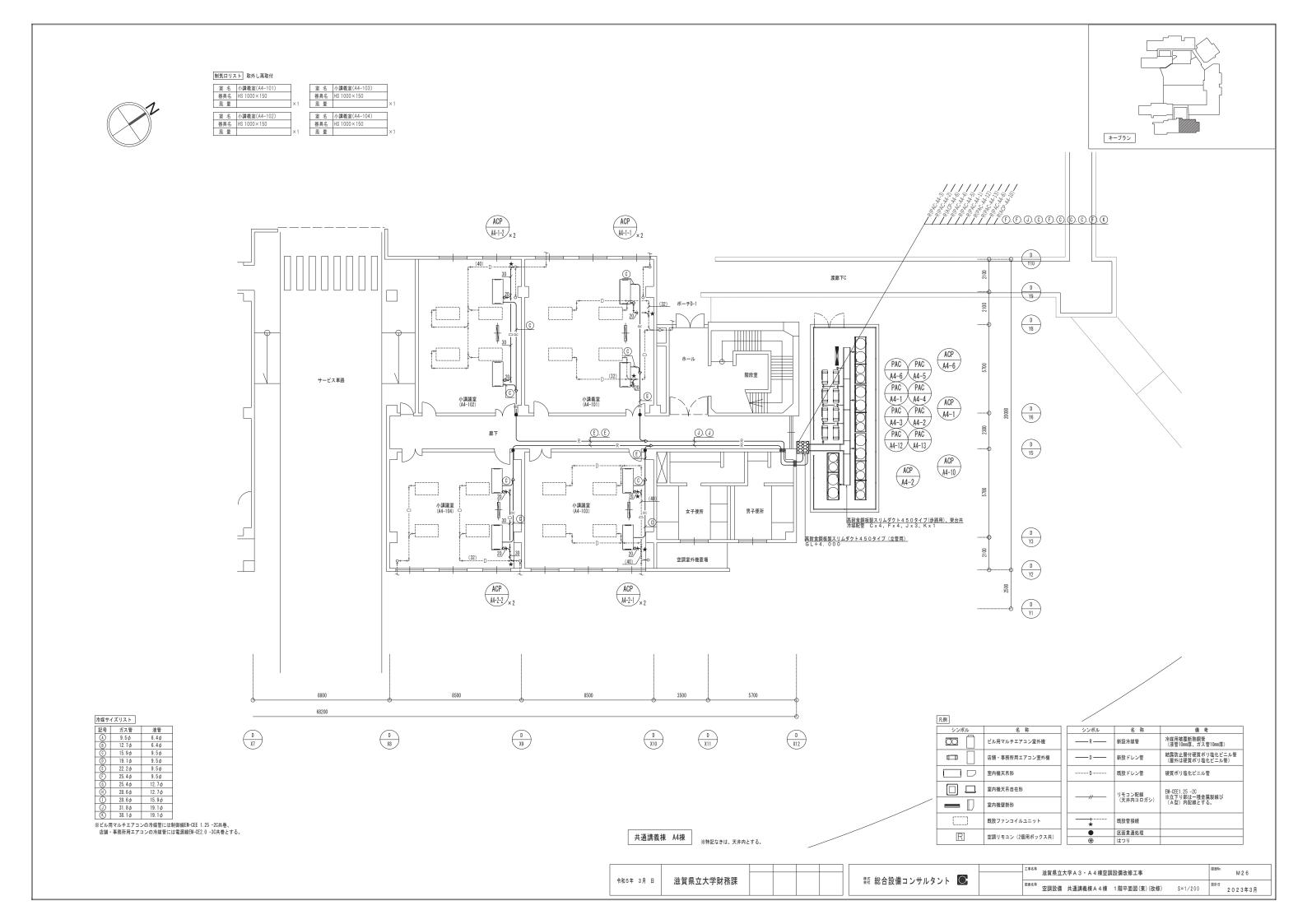
※ビル用マルチエアコンの冷媒管には制御線EM-CEE 1.25⁻-20共巻、 店舗・事務所用エアコンの冷媒管には電源線EM-CE2.0⁻-3C共巻とする。

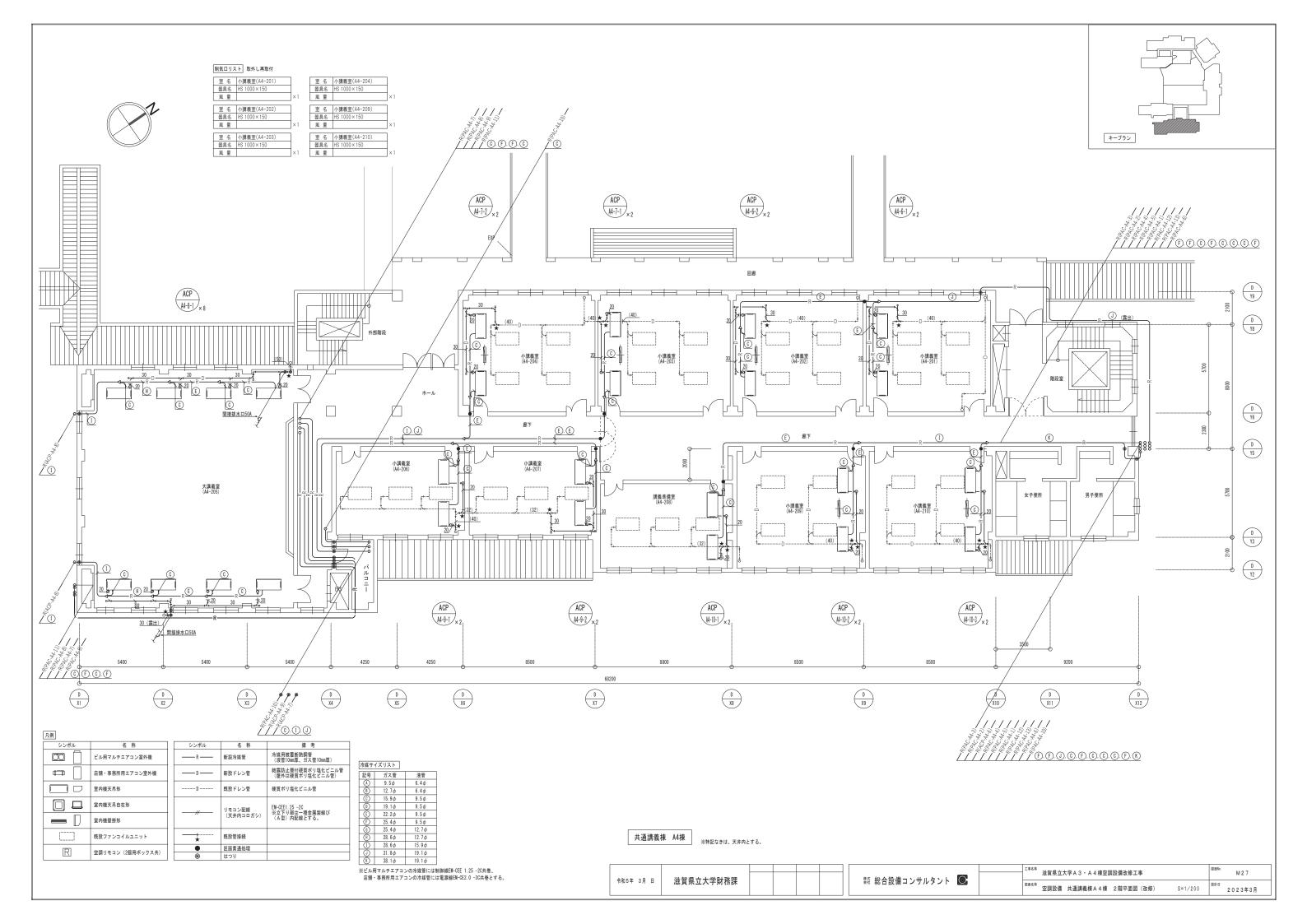


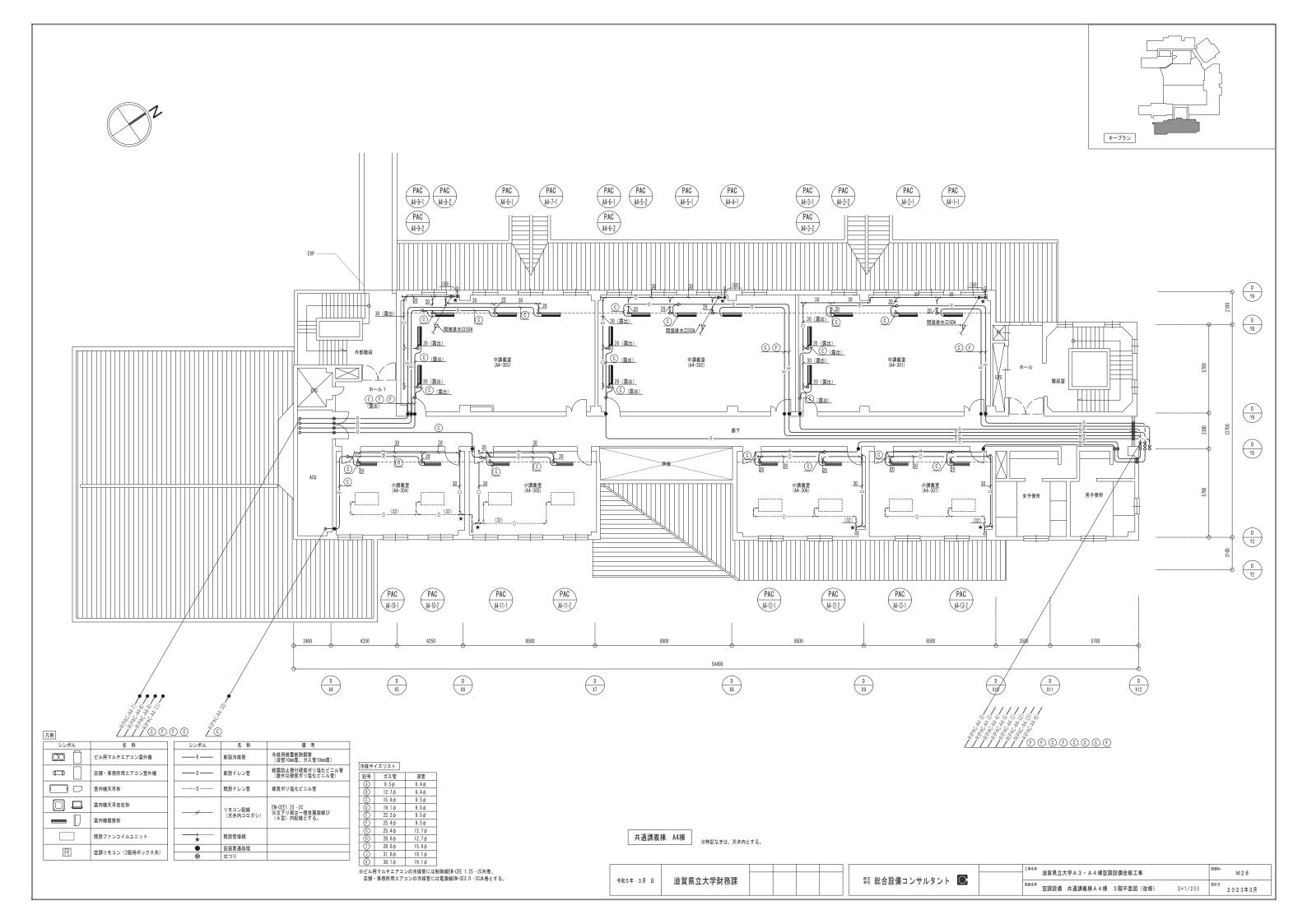


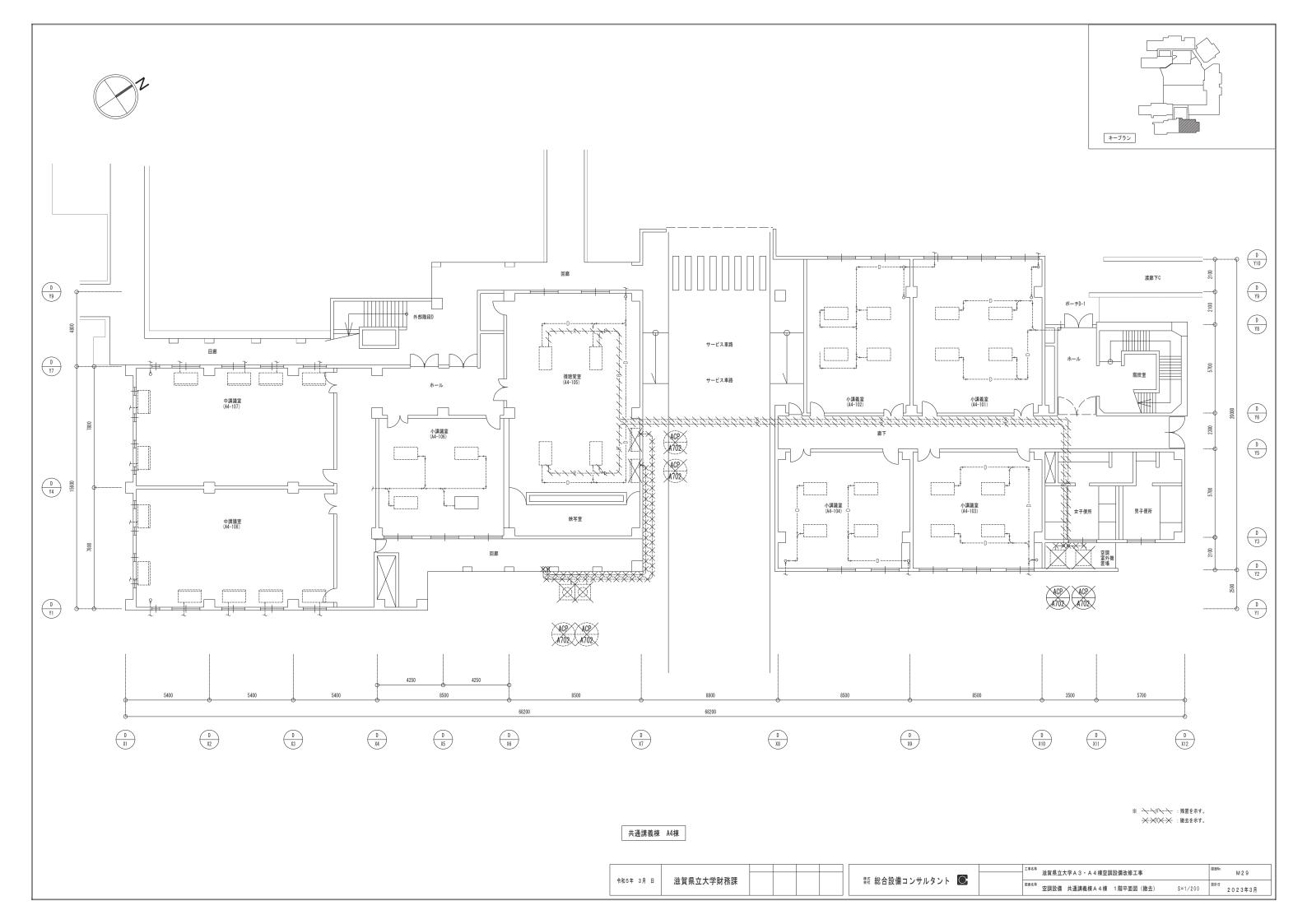


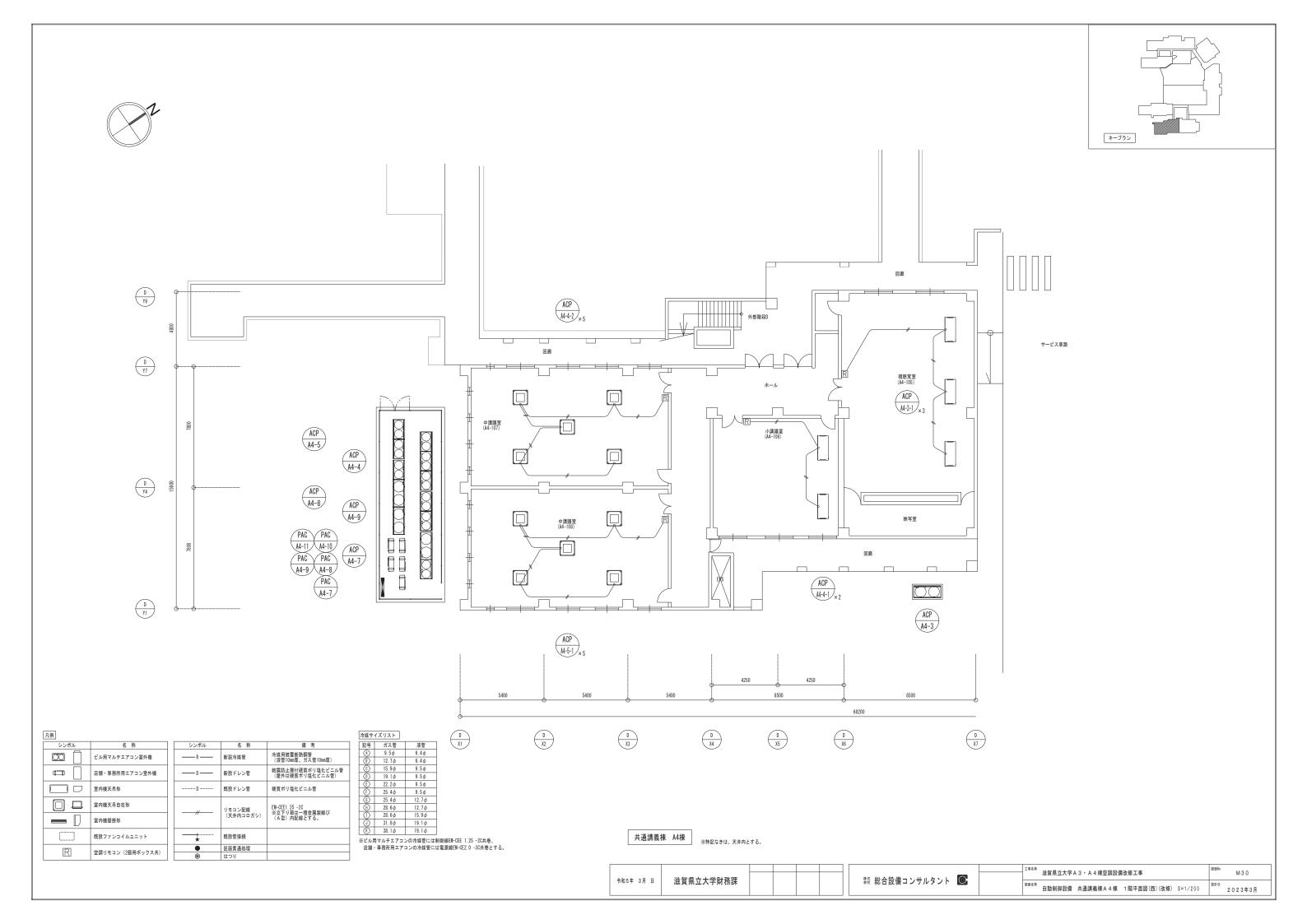


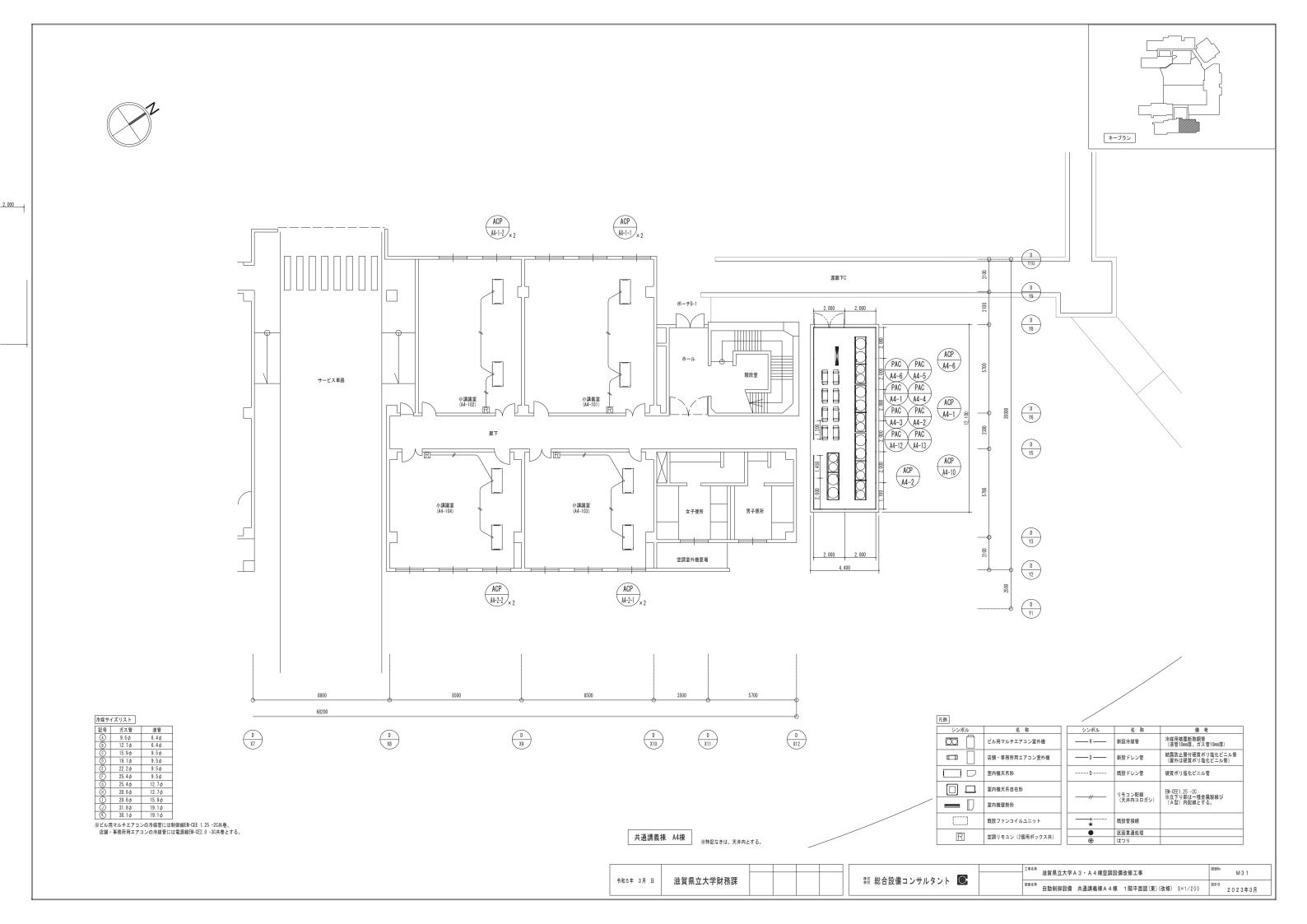


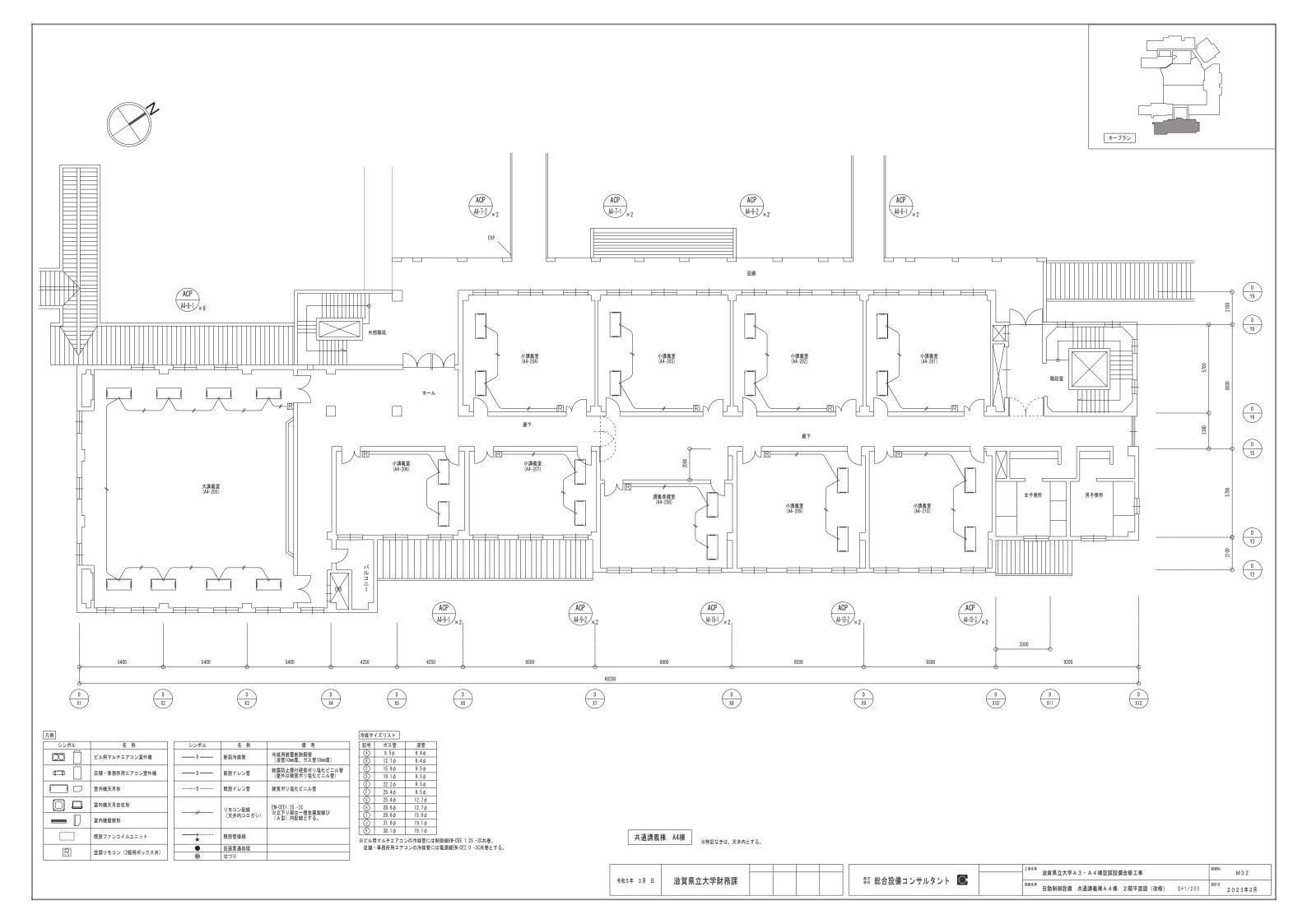


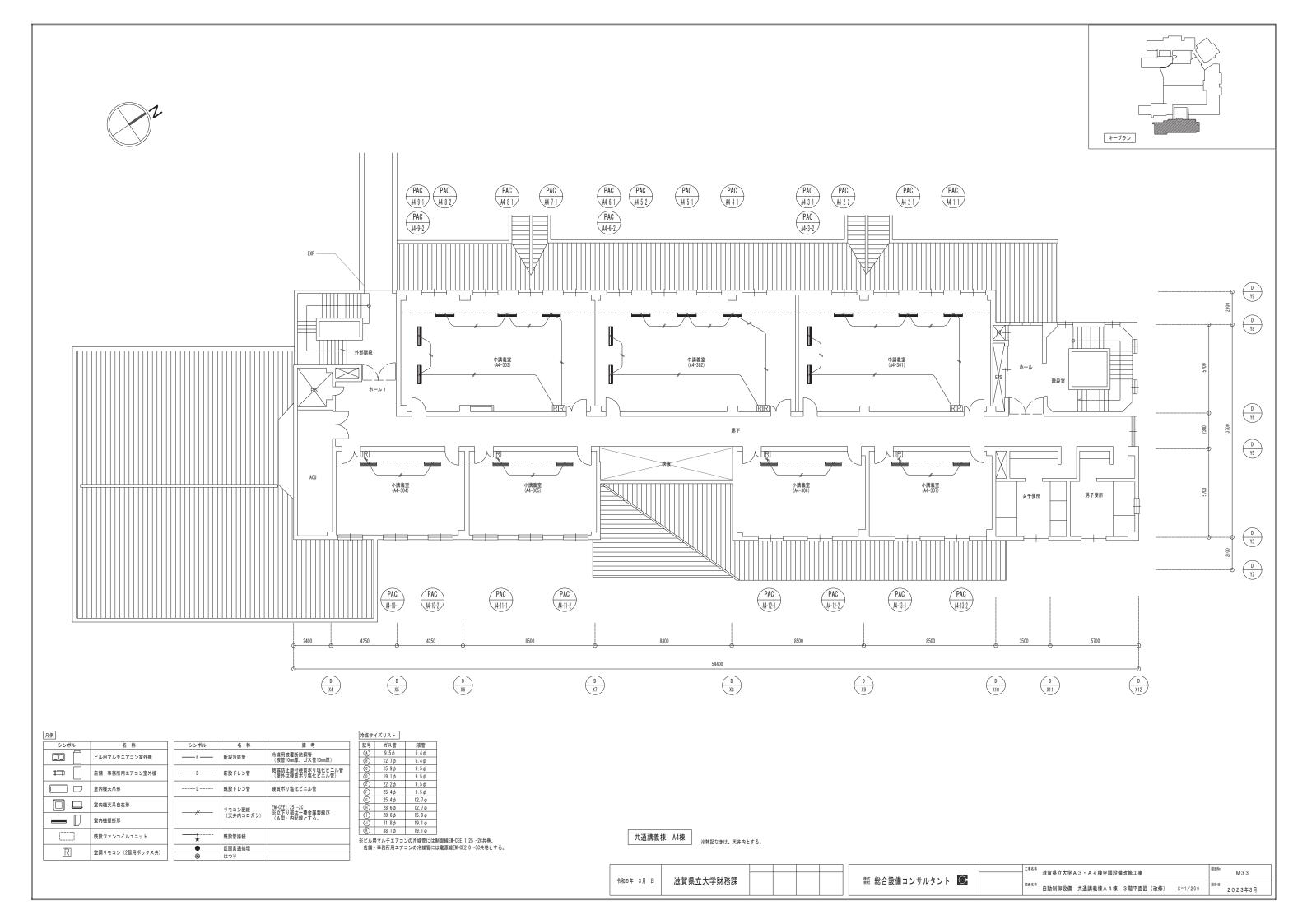


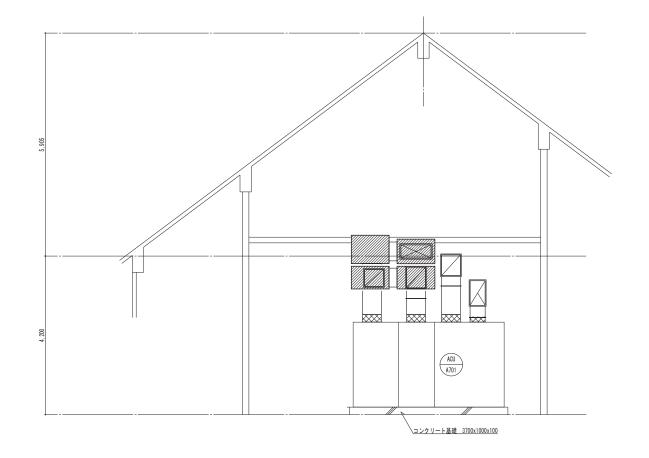




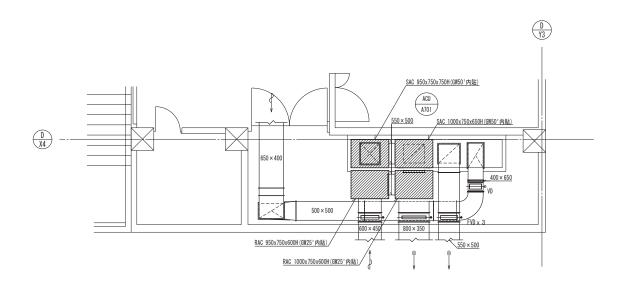






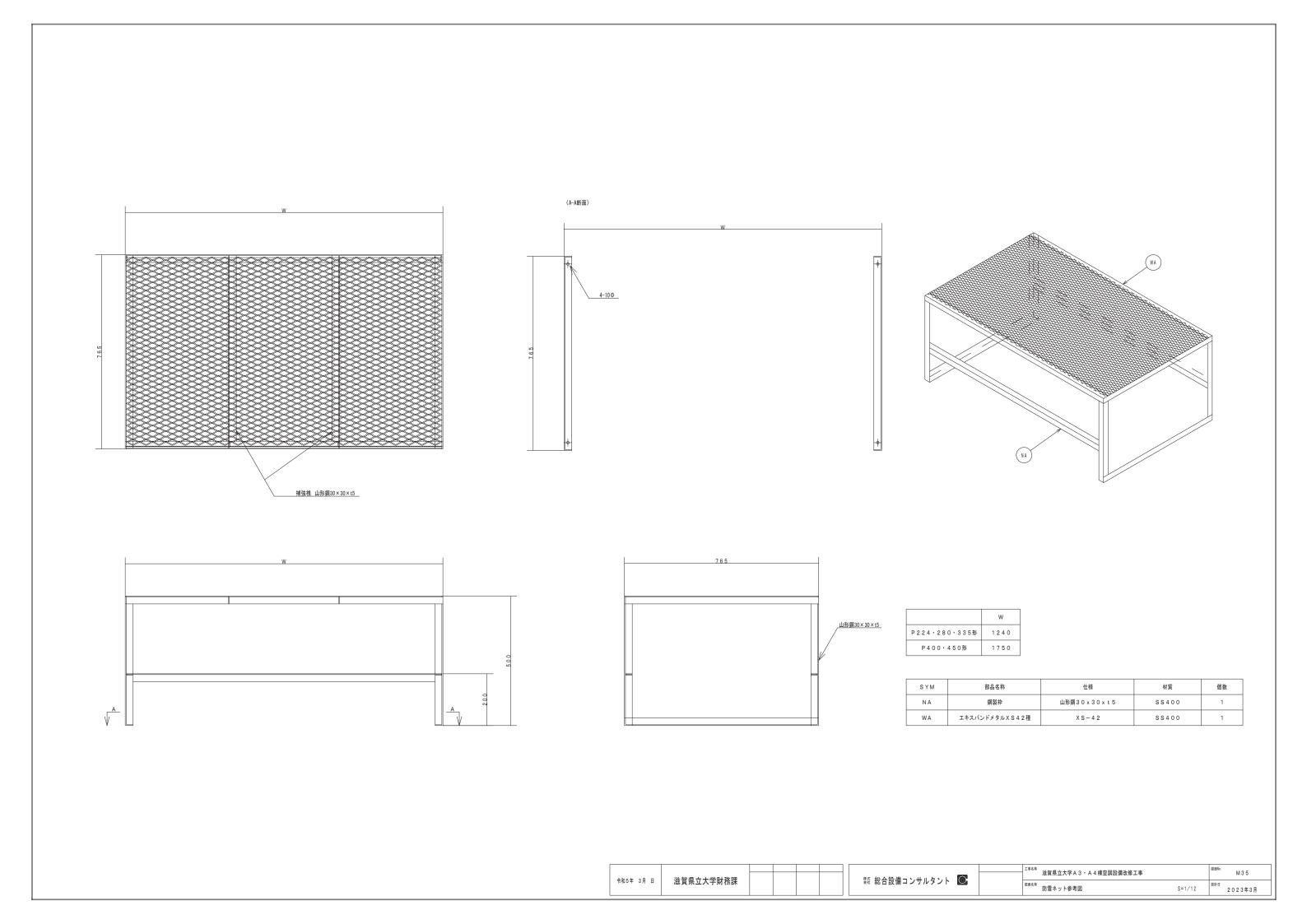


3階空調機械室 断面詳細図 (A4棟) 1:100

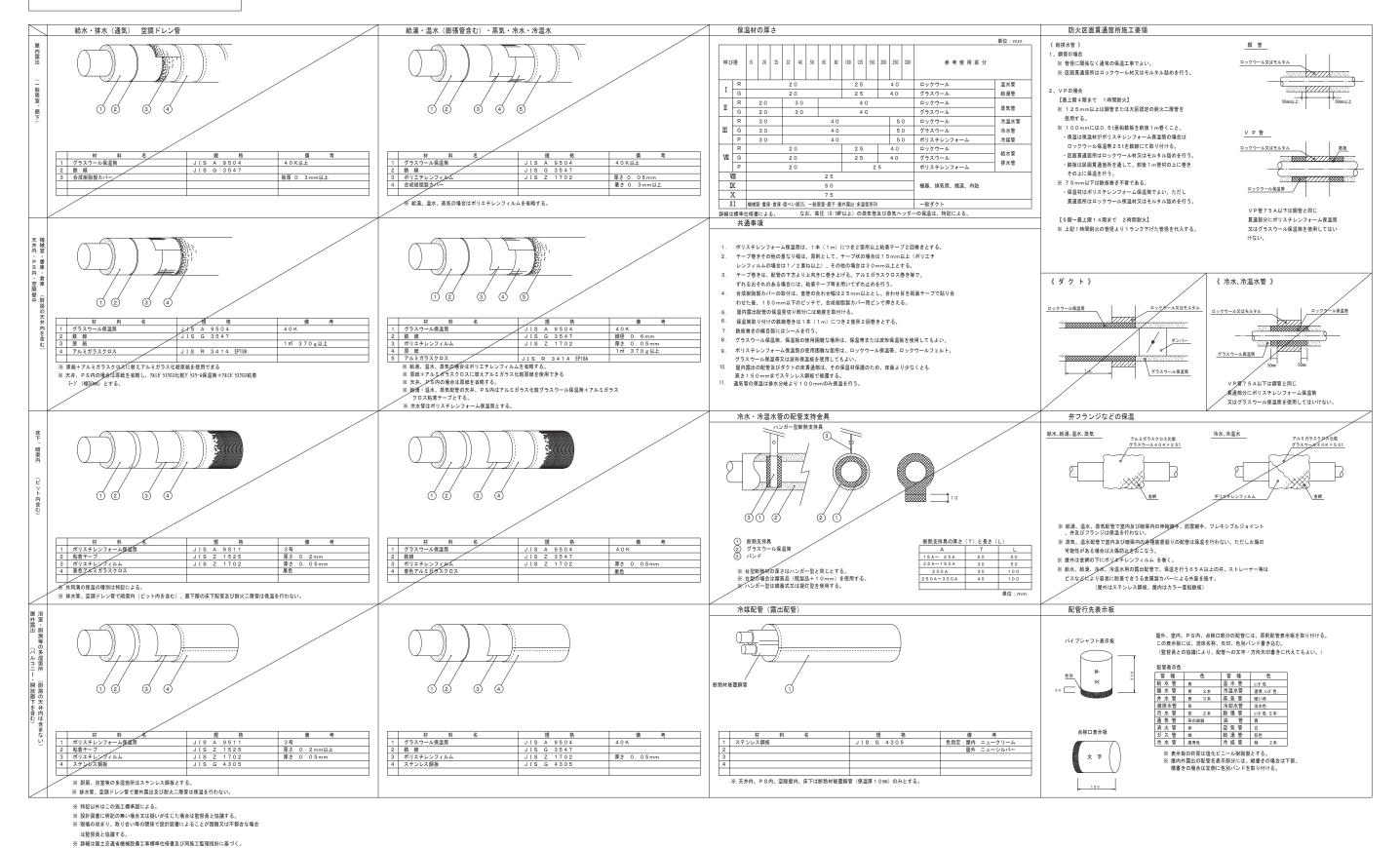


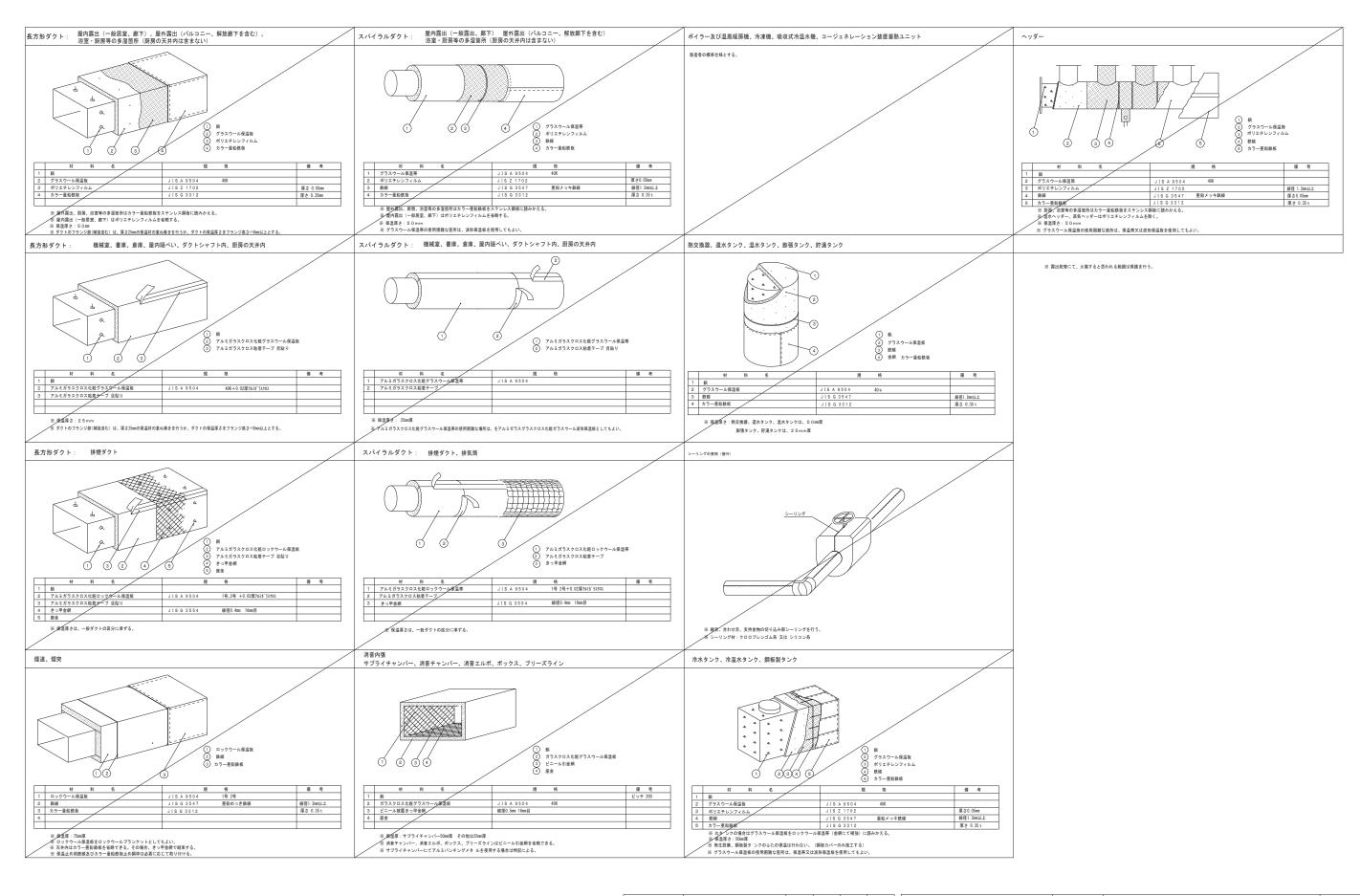
3階空調機械室 平面詳細図 (A4棟) 1:100

					工事名称	図面No.
A 10.		兴加月上上兴吐安 珊		株式 40.人 50. 供一 2. 共 11. 与 2. 1	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	M 3 4
1 节和:	5年 3月 日	滋賀県立大学財務課		繁 総合設備コンサルタント □	図両名称 空調設備 共通講義棟A4棟 3階平面断面詳細図 S=1/100	2023年3月



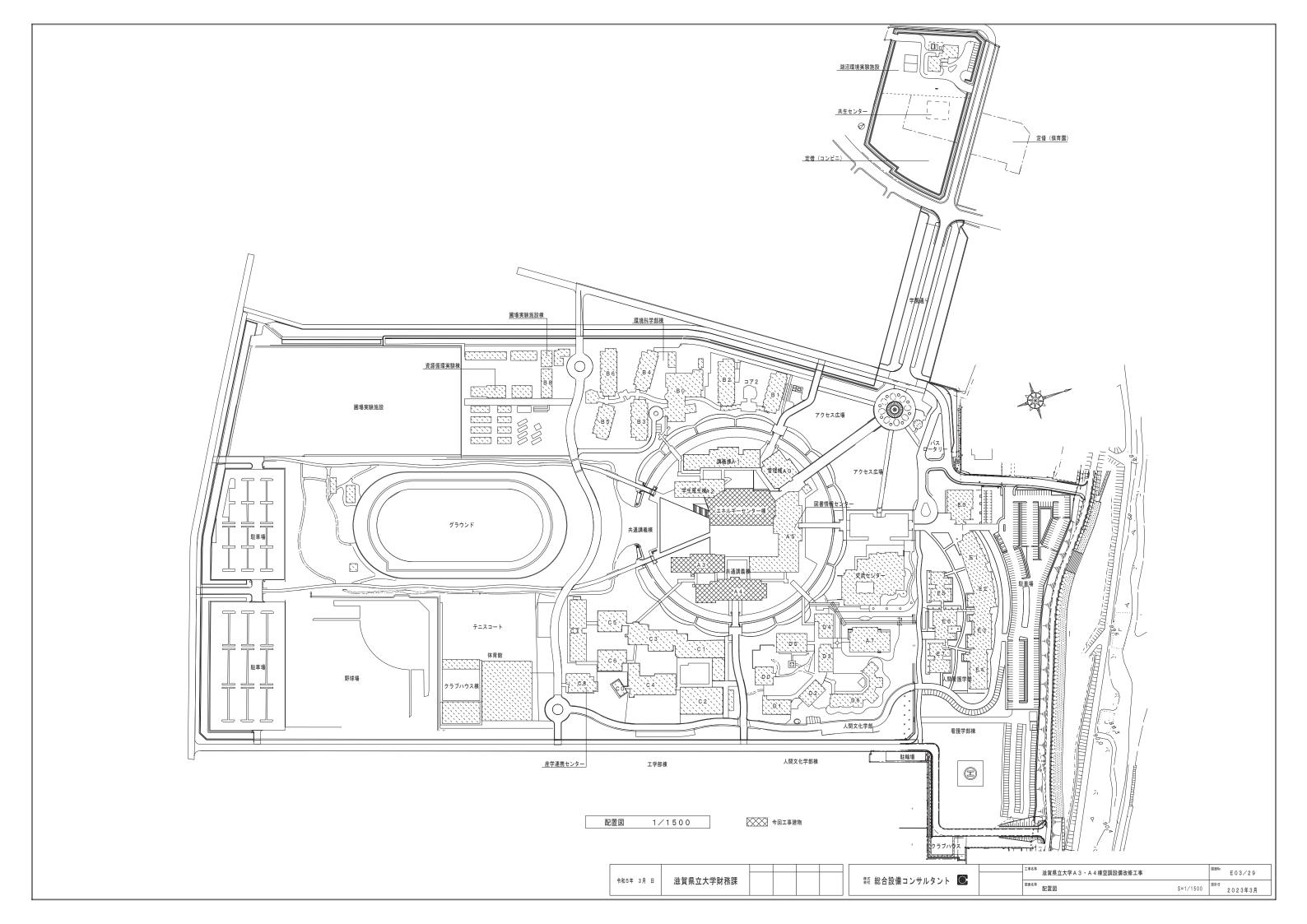
保温施工標準図 No. 1

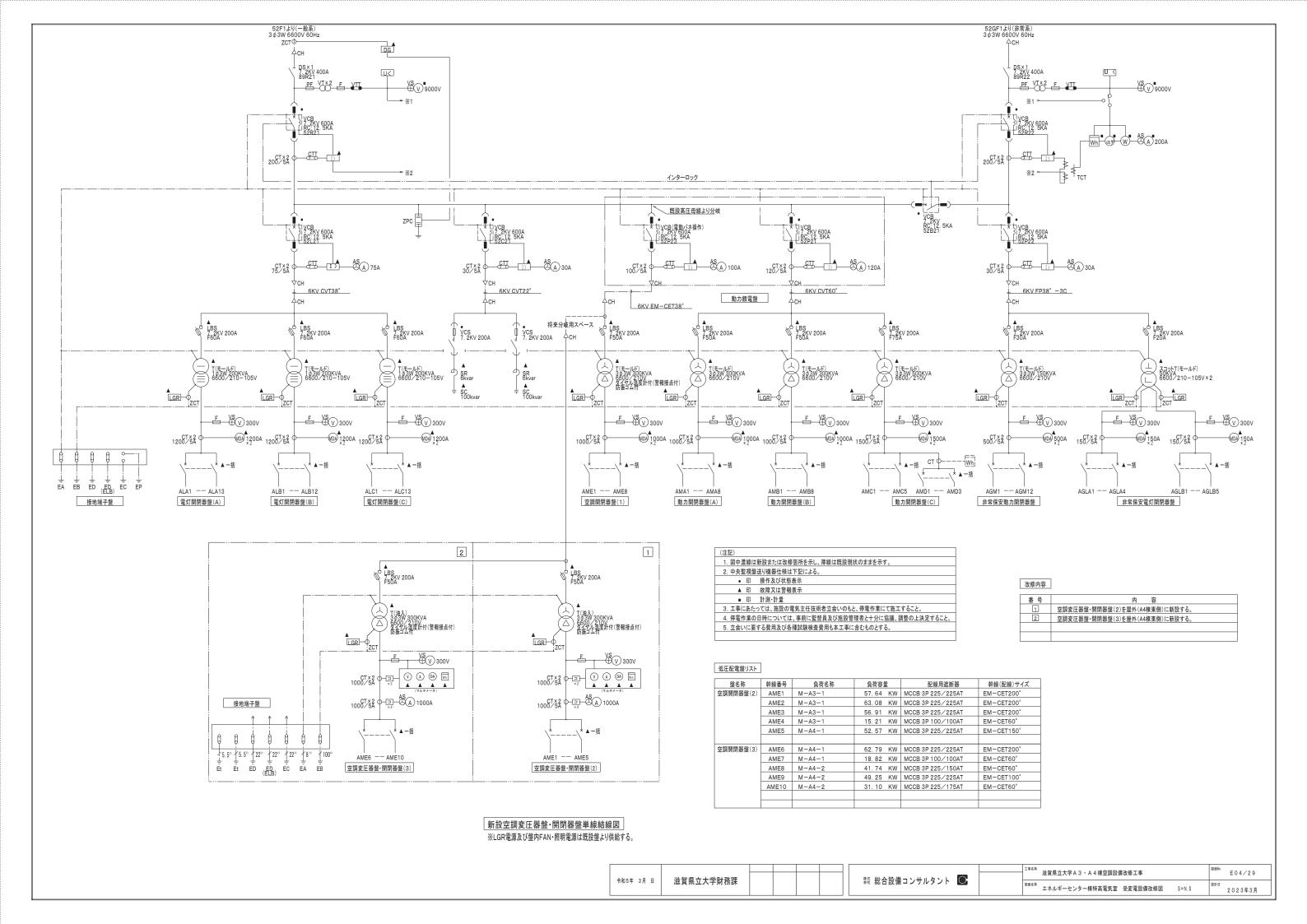


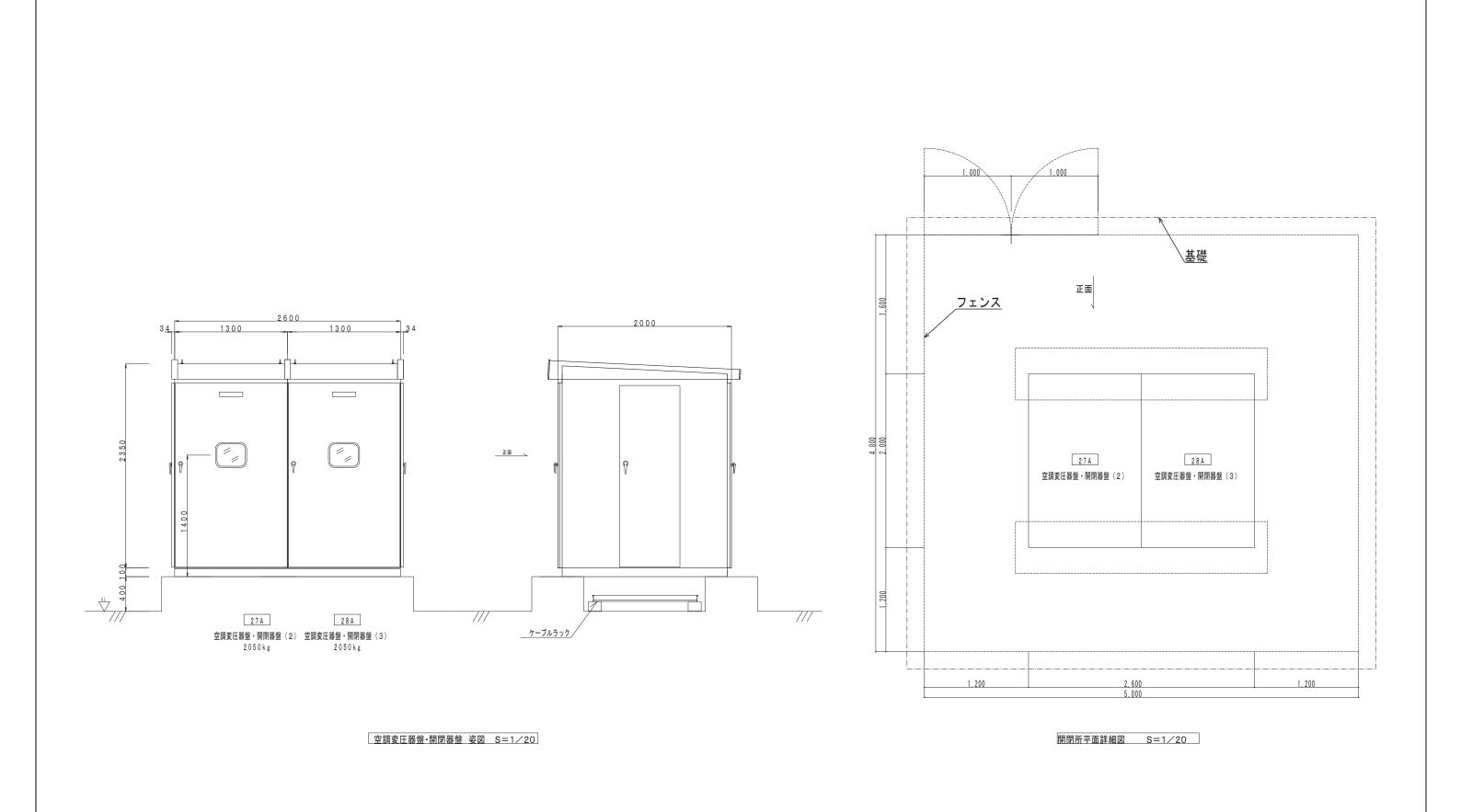


気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 1	項目	特 記 事 項		項目	特 記 事 項		項目	特 記 事 項
正事名称 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事 正事場所 彦根市八坂町2500	※ 10 下請業者機 材等の選定	各種下請業者、機器材料等県内で供給できるものについては、極力県内業者、県産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場			資格の確認申請時に技術提案書(特別簡易型の場合は、企業の施工能力等に関する資料)を 評価項目と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の工事である。総合評	低	1. 配置技術者の増 員	建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札 した場合において、監理(主任)技術者とは別に、入札公告に定める監理(主任)技術者の要件
工事期間・限 日間 ・ 令和 年 月 日~ 令和 年 月 日		合は、監督職員の承諾を受ける。	\	価方式に関する事項(た、以下のとおりとする。	Д х		と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置しなければならない。
工事概要説明 ・空調設備改修に伴い、受変電設備、動力盤の新設、配管配線及び撤去工事を行う。・空調設備改修に伴い、中央監視・自動制御設備の配管配線及び機器の新設、改修を行う。	※ 11 検査	受注者は完成検査前に関西電気保安協会等検査機関の検査を受け合格すること。 監督職員の指示により社内測定検査のみとする場合がある。 (測定記録書提出)	this control is	1.競争参加資格 の確認申請時	受注者は、競争参加資格の確認申請時に提出した技術提案書に基づき、工事を履行しなければ ならない。	札		なお、当該技術者は、監理(主任)技術者を補助し、監理(主任)技術者と同様の職務を行う ものとする。
・天井改修に伴い、既設照明器具、スピーカ、感知器等の取外し再取付を行う。	V/ 40 14 min 4 14 min			の技術提案内	/	価数		また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を整理(主任) 技術者と同様の方法により届け出ること。
	※ 12 検査合格書 等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を 提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。	許	容の担保 2.技術提案内容	施工計画書の取り扱いは標仕のとおりであるが、受注者は技術提案書の内容を満足する施工計	格調	2. 施工体制台帳お	接称者と同様の方法により届け出ること。 建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札
	13 建築工事と	コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口		◇の施工計画書	画書を監督職員に提出しなければならない。なお、施工計画書において、技術提案書の内容を一	査	および施工計画	した場合において、受注者は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその
※該当工事には適用欄に〇印を附す。	が N	部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。 施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、		i への反映 (特別簡易型につ	覧できる様式に整理すること。また、提案事項ごとに具体的な実施方法、履行の確認方法および 確認時期について、監督職員の承諾を得るとともにその内容をあわせて施工計画書に記載するこ	制	書にかかる内容 の説明	内容の説明を求められたときは、応じなければならない。
用 No 工事種目	関係	その機能を低下せしめてはならない。	力		と。	度		建設工事等入札執行要領第1入条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札
新設 改修 新設 改修 新設 : 改修 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	※ 15 公害対策 16 産業廃棄物	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで請ずること。 受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書	式	3. 配直技術看等	受注者は、技術提案書に記載した配置予定技術者等を当該工事の主任技術者または監理技術者 あるいは現場代理人として配置しなければならない。	15	金等の支払い状 況等の説明	した場合において、毎月の下請負金額の支払い状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出 すること。
2 受変電設備	の処理	を提出して承諾を受けること。	15	4.技能者の従事		基		また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費(以下「経費等」という。)
3 電灯・動力幹線設備	-	①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係 を資材の再資源化等に関する法律」 (建設リサイクル法) を遵守し、分別解体及び再資源化等を		\	その作業を行っている間、現場に常駐させなければならない。	1 2		の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料ならびに今後必要とする経費等とこれにかかる資金の課達方法の資料を提示するととも
5 動力設備	_	実施すること。また、着工前の同法第11条の「通知」は受注者が提出すること。	樊	5.履行の確認方	(1)技術提案の履行確認のとりまとめについては、(別紙) 「技術提案の履行確認書(以下、	措	+	に、それらの内容について説明を求められた場合は、応じなければならない。
6 拡声設備 その他弱電設備も含む 7 電話設備		②「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱 を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し	वं	. [*]	「履行確認という。)」によるものとする。 (2) 工事着手前に受注者において「技術提案内容」欄に必要事項を記入し、監督職員の確認を得	置	4. 工事コスト調査 への協力	受注者は、建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない 価格及落札した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。
8 電気時計表示設備		速やかに報告のこと。	z	. \	るとともに、履行確認方法について監督職員と協議の上決定する。さらに、特別簡易型以外の			「概要は果トームページ:http://www.pref.shiga.jp/h/6-kanri/kensetsu_low/index.htmlを参照のこと)
9 通信・信号設備 10 テレビ共復聴設備		③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法12条の3によるマニフェ ストシステムにより的確に実施すること。		\	場合は、履行確認書の原案として施工計画書と併せて提出するするものとする。なお、 履行確 認方法については、技術提案書においてあらかじめ示した方法によるものとする。			・元請者は、下請者の協力を得て、間接工事費等諸経費動向調査票(建築工事においては共通費実 態調査票)の作成を行い、完了届提出後1週間以内に発注者に提出するものとする。なお、
11 自動火災報知設備	17 発生材の処理	ストンステムにより的値に夫能すること。 引渡を要するもの:	特	•	(3) 受注者は完了時に「履行確認の概要」、「各【対策】の履行状況」、「技術提案履行率」、			調査票等については、別途、監督職員から指示するものとする。
12 ガス漏水警報設備	18 保険等	受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。	88	:	「減点係数」および「技術提案加算点」を記入し、「減点数」を計算したうえ、整督職員へ 提出するものとする。			・受注者は、間接工事費等諸経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に 応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもヒアリングに参加させるものと
14 雷保護設備	19 監督職員事	規模 1号 2号 3号 4号 5号 設けない	#	:	(4) 計算結果については、受発注者の両者で確認を行うこととする。			かしるものとする。この場合において、元帥台は、下帥台についてもにガガ に参加させるものとする。
15 自来免電設備 16 機械警備設備	務所	備品 机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、受注者加入電話の子機、 衣類ロッカー、冷暖原機器、消火器等監督職員の指示による。		.	(5) 履行の確認にあたり必要があると認められるときは、監督職員はその理由を受注者に通知して、工事目的物を最小限度破壊して確認することができる。この場合の確認または復旧に要す			
16 機械監備政備 17 中央監視・自動制御設備	※ 20 安全対策		項	' <u> </u>	る費用は、は受注者の負担とする。			
		ると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講		6. 再度の施工	受注者は、前項の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、			
	般 21 統括安全衛生	ずること。又、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者には、(建築工事 電気設備工事			直ちに再度施工または手直しの計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、発注者が、 再度の施工が筆当でないと判断した場合は、この限りではない。			
金工事	共 通 管理義務者	機械設備工事) の受注者を指名する。			受注者は、前項の計画書の内容について監督職員の承諾が得られたなりば直ちに実施し、再度			
	事 項 22 創意工夫等 実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域 社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することがで		7. 不履行に対す	監督職の確認を受けなければならない。 1. 技術提案書で境案された内容の履行状況により履行率を算出し、★実施分に応じ下表の減点係	\dashv		
・工事区分表による。	大肥狄	きる。		7. 不成1月に対 9 る措置	数を乗じる。履行確認の対象とするのは、着目点に対する技術規模(ただし、特別簡易型の場			
図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕 *書、同改修工事標準仕様書および同設備工事標準図の最新版電気設備工事編(以下、「標仕」という)による。		ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献(以下「創意工夫 等」という) に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に請負人から自主			合は除く)、実績を評価対象とした現場代理人の従事期間、資格を持つ接 能者の従事の有無、県 内企業の下請活用の有無、現 境見学会の開催の有無および現営材の使用の有無とする。	=		
		的に創意工夫等にかかる資料が監督員職員あて提出され、それらの項目が創意工夫等に該当する			内企業のト語活用の有無、現場是学会の開催の有無および来度材の使用の有無とする。 履 行 車 成点係数 (α)			
項目は、O印の付いたものを適用する。 構造 階数 延面積(m²) 棟数 備考	_	と判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または 資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。			50%未満 1.0			
名	23 別途工事と	受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を			50%以上 75%未満 0.6 75%以上 90%未満 0.3			
大温講義棟A 4 RC 3 F 1 フォルギーセンター牌A 6 RC 1 F	の連絡協議	図ること。又、工事区分の取合について図示あるも施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。			90%以上 1000未満 0. 1			
エネルギーセンター接A 6 R C 1 F 1	※ 24 シンナー等	すること。 シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共			(1)実績を評価対象とした現場代理人の従事期間における滅点係数は、以下のとおりとする。 <加算点評価対象となっ入現場代理人の従事>			
	の保管管理	に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。			技術提案書に記載した現場代理人が、土期内で途中交代した場合、全体工期に対して		4 22	
		☆媒にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、			従事していた期間により配行車を求め、減点係数 (α) を設定し減点する。 <加算点評価の対象とならなかった現場代理人の従事>	¥	1 定義	VE提案とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能 を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に保る設計図書の変更について、
ēl al		工法を用いないこと。			減点の対象としない。	約	A #850 0 MT	受注者(以下「乙」という。) が発注者 (以下「甲」という。) に行う提案のことをいう。
項目 特 記 事 項	26 工事カルテ の作成・登	受注者は、工事請負代金 500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(OORINS)入力システムに基づき、「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた後、財団法人日本情報総合			(2) 資格を持つ技能者の従事における減点係数は、以下のとおりとする。 〈加算点評価の対象となった技能者の 従事>	後	2 提案の範囲	(1) ZがV E 提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法 等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わな
用項目 一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、	録	センター(JACIC)に登録するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員			大川井川計画の対象となった技能者が、該当する職種の技能者が、該当する職種の作業を行	= '		いものとする。
他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。 1 施工基準 イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を通守し、本特記仕様書、図面 1 2 葉及び標準仕様書		に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。 (1) 英さ巻絵の期間は、契約総結後の日間内とする。			-っていいるときに現場に常野 (Cいない場合、滅点係数(α) を「1.0」とし減点する。	= E		(2)以下の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。 ①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。
により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。		(1) 受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。 (2) 竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。(2,500万円未満は不要)			<加算点評価の対象とならなかった技能者の資格>	方士		②契約書第18条にもとづき条件変更が確認された後の提案。
ロ 必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とし、速やかに処理する。		(3) 受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行う			(3)県内企業の下請活用における滅点係数は、以下のとおりとする。	15	3 VE提案書	(1) ZはVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(様式1~4)に記載し、甲Z提出
ハ 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、 その指示に従い入念に施工する。	27 工事関係車	こと。(2,500万円未満は不要) 受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現			〈加算点評価の対象となっ∱県内企業の↑請活用> 技術提案書で県内企業の下請活用を申請したが、施工体制台帳や建設工事下請人報告	関	の提出	しなければならない。 ①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比および提案理由。
ニ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。	面の電波法	場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときには、速やかに監督職員			書で加点対象となる条件を満たしていない場合、および、現場での施工体制点検を通じ	す		②VE提案の実施方法に関する事項。 (当該提案に係る施工条件等を含む)
2 監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事監理指針(令和元年版)に準ずる 3 施工監理チェ 施工に際し、施工手引き書である電気設備工事施工監理チェックリスト(滋賀県土木交通部建築	遵守 28 過積載の防	にその旨報告する。 受注者は過積載等の連法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書			て申請した県内企業の下請活用が満たされていないことを確認した場合、減点係数(α) を「1.0」とし減点する。	శ		③ KE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠。 ④甲が剥途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。
ックリスト 課平成16年度版)に従う。	止措置	を提出し徹底を図ること。			<加算点評価の対象とならなかった県内企業の下請活用>	特		⑤工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱Vに関する事項。
4 完成図 完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、CADデータおよび焼付製本 (縮小版A4サイズ) 部を提出するものとする。	29 技術検査 ※ 30 施工上の留	工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。 イ 電線管について、図示ない限り屋内露出配管はねじなし電線管(E管)、屋内いんべい配			減点の対象と√ない。 (4) 現場見学会の開節における減点係数は、以下のとお√とする。	記事		⑥その他 V E提案が採用された場合に留意すべき事項。 (2) 甲は、提出された V E提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることが
なお、標性の表1.7.1の完成図の種類に本特記仕様書を加えたものとする。	意事項等	管は合成樹脂製可とう電線管(PF管)、屋外露出配管は薄鋼電線管(CP管)、屋外埋設配管は			≪加算点評価の対象とならなっか現場見学会の開催>	事		できる。
5 保全に関す 保全に関する資料は標性により作成し、監督員に指示された必要部数の原本、 複写図および 電子データを提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に		波付硬質ポリエチレン管 (FEP管) を使用する。なお、高圧配線の地中埋設配管については、 ポリエチレンライニング電線管 (PE管) とする。			──技術提案★で現場見学会の開催を申請したが、受法者の責任において、加点対象となる条件の「ものづくりの見える化」に配慮した、施工収階やエ事プロセスをわかりやす	= **		(3) 乙は、V E提案を契約の締結日より、当該 V E提案に係る部分の施工に着手する35日前まで に提出できるものとする。
関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。	_	ロ 図示ない限り配線器具プレートは新金属製またはステンレス製とする。			る来件のプものブトリの見えるも」、配慮した、地上収備ヤエキノロゼスをわかりやり 、説明 できる資料を用いた現地見学会の開催ができなかった場合、減点係数(α)を	=		(4) V E提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。
6 工事写真 区 分 分類・規格 撮影枚数 部数(ネガ1枚に付) 備 考 着 I 前 カラ・サービス 3・€・) 1 状況によりつなぎ写真		ハ スイッチで多数ある場合には監督職員と協議し、ホームスイッチを使用する。 二 建物EXPJ部分及び機器接続箇所に使用する可とう電線管は、ピニル被覆付きとする。			- 11.0] をし減点する。		4 VE提案の 審査	VE提案の審査は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。
工 事 中 カラー・サービス 1 必要に応じ		ホ 照明器具は原則として、省エネ型(インバーター器具等)及び公共施設用器具とすること。			<加算点評価の対象とならなかった現場見学会の開催> -減価の対象としない。──		5 VE提案の	(1) 甲は、V E提案の採否について、V E 提案の受領後 1 4 日以内に書面により通知するものと
完成時 カラ・サービス 6・(0・2) 1 定期提出 カラ・サービス 3・(0・2) 1 月末報告用		へ 将来用予備空配管には、ビニル被覆鉄線(1.6mm)を入線し、名札を取付ける。 ト ブルボックスは工場製作品を使用する。			(5) 県産材の使用における履行率および減点係数については、以下のとおりとする。		採否等	する。ただし、この同意を得たうえてこの期間を延長することができるものとする。 (2) 提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。
完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。	- 	テ ブルボックスは土壌製作品を使用する。 チ 図示ない限り露出配管は、全て塗装する。(機械室、電気室内の塗装 要・否)			- < 加算点評価の対象となった資材>	= [(2) 提出されたV E提案による設計図書の変更を行う場合は契約書第19条の2の規定に基づくものとする。
写真撮影は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方・建築設備編-」に準ずる。	<u> </u>	(EPS、共同溝内の塗装 要・否)			<u>を「1.0」とし減点する。ただし、提案のあった果産材使用量以上の利用があった場合</u>	=		(4) 甲は、V E提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額
7 現場代理人 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。 契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における		リ 露出配管を行う場合は、施工前に素地ごしらえ(エッチングブライマー等)と下塗りを行い、配管施工後に仕上塗装を行う。			一 ・ ○ 東にやむを得ない理由と認められる場合はこの限りでない。 			の変更を行うものとする。 (5)前項の変更を行う場合においては、VE提案により請貸代金額が低減すると見込まれる額の
現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する		ヌ 機器据付・設置については、「建築設備耐震設計・施工指針」に準ずる。			<u>減点の対象としない。</u>			10分の5に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。
選用基準(滋賀県士木交通部)」による。 ①現場代理人の常駐を要しない期間		ル 当該工事において、既設配管・既設埋設配管があった場合は、監督職員の指示により迂回 等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また、撤去工事は、特に既設配線の行先を			2. 総合評価の不履行に対しては、以下の点数を工事成績評定(法令遵守等)において減点する。 ● (各着目点の不履行による減点数) = α×β×3			(6) V E 提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合において、甲が V E 提案に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。
・請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人の工事現		調査確認の上、安全に処理する。			α:減点係数			(7) V E提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、V E管理費につ
場への常駐は要しない。 (・) 新負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工		オ 環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。 (1) グリーン購入法に基づくエコマーク商品			β:受注者の各着目点の加算点数(ただし、特別簡易型以外の場合、技術機楽において加算点評価されなかった内容についてはβ=0.2とする。)			いては原則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由 (不可抗力や、予測することが不可能な事由等)により、工事の続行が不可能、または著しく
事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。		(2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品		/	● (工事成績評定における減点数) = (各着目点の不履行による減点数)の総和			工事低減額が減少した場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われてい	31 電子納品	(3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品 竣工時、工事の概要および機器台帳を建築課所定の様式により電子媒体で提出すること。		/	※「各着目点」は発注者が設定する着目点をいう。また、「現場代理人の従事期間」)、「資 	=	6 VE提案の 保護	VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、の後の工事 において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案につ
ない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。				/	使用」については評価項目単位とする。			いてはこの限りではない。
現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。 3 技術管理 受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。	※ 32 暴力団員等 による不当	滋賀県の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について (「不当介入 に関する番組制度」の機能について)		/	3. 履行確認方法については、以下のとおり。 (1) 世先世史の原行政初のトリオトめについては、(例紙) 「世先世史の原行政初のトリオトめについては、(例紙) 「世先世史の原行政初ま」の世出		7 責任の所在	発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った 受注者の責任が否定されるものではない。
受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。① 技術者の専任を要しない期間	介入の排除	に関する通報制度」の徴底について) 1 受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注工事等に対して		/	(1)技術提案の履行確認のとりまとめについては、(別紙) 「技術提案の履行確認書」の提出 による。			スルコッ具はからたてれるひかとは体い。
・ 請負契約の締結日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理技術 参の工事現場への専任を悪しない。		不当介入をしようとするすべての者をいう。) による不当介入 (不当な要求または業務の 妨害) を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で		/	(2) 工事着手前に受注者において、「技術提案内容」欄に必要事項を記入し、監督職員の確認			
者の工事現場への専任を要しない。 ・)請負契約締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設		奶香) を受けた場合は、断面としてこれを拒合するとともに、小当介人があった時点で 速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。		/	を得るとともに、履行確認方法について監督職員と協議の上決定し、原案として施工計画 書とともに提出する。		/	
工事等が開始されるまでの期間) については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専		2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書 (別知経式第 1 号)により正教教を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書		/	(3) 受注者は完了時に「履行確認の概要」、「各【対策】の履行状況」、「技術提案履行率」、	/	1	
任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合 せにおいて定める。		(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。 また、受注者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、		/	「減点係数」および「技術提案加算点」を記入し、「減点数」を計算し、監督職員へ提出 することとする。			
② 滋賀県建設工事請負約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を完了		十分に指導を行うものとする。		/	(4) 計算結果については、受発注者の両者で確認を行う。	_	•	
した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は整理技術者の工事現場への 専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該		3 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた 場合は、監督職員と協議するものとする。		8.契約変更の取 り扱い	(1) 受注者が作成する施工計画書のうち、技術提案に係る資料については、発注者が確認するが、 請負代金額の変更は行わない。			
検査の結果を通知した日(契約約款第31条第6項に該当するものを含む)とする。				/ (特別簡易型につ	(2) 不可抗力 (地震・風水害等) によって、地形が変形し数量に変更があった場合は、発注者と			
なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われた場合は、契約工期満了後の監理 お佐孝等の工事理機器の専任を悪したい。	33 環境配慮 指針	公共事業に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出すること。	7 /	/ いては非適用)	受注者が協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。 (3) 現場条件、関係機関との協議、社会的条件(地元対応等)によって、新たな対策や施工体制	.		
技術者等の工事現場費の専任を要しない。 9 電気保安 電気保安技術者は、次による者とし、監督職員の承諾を受けること。					(3) 現場条件、関係機関との協議、社会的条件(地元対応等)によって、新たな対策や施工体制 の変更が生じた場合には、発注者と受注者の協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の	\		
技術者・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事監理指針(令和元年版)の定めによる者			/		対象とする。	\setminus		
· 第 1 種電気工事士			V	_ I		, L	I	^{第名称} 滋賀県立大学A 3・A 4 棟空調設備改修工事 E 0
(該当する者 (電気事業法第52条第2項に規定される電気主任技術者を選任しないことができる自家用							I .	※※スハユハナハ > ハュルエ阿以帰以沙土宇 EU
			令和5年 3月 日	滋賀県立大学	オ務課	\bigcirc	-	電気設備工事特記仕様書 1 N, S 放射日 2,0.2

電気	気 設 備 工	事特記仕様書 2	種目 適用 項	目 特 記 事 項	和	重目 適用 項 目	特	記 事	項	種目 適用	項目	特	記	事	項	
	用 項 目	特 記 事 項	11 工事範囲及び診	説明 既設感知器の取外し再取付(移設含む)及び移設に伴う配線工事を行う。												
1) 工事範囲及び説明	既設動力鎖電盤より、新設動力変圧器盤に至るまでとする。	国動 火火 災災													
低	電気方式施工方法使用電線負担金	3相 3組式 6600V 配管配線 GN/EIH-CE GN/EIH-CET GOV/EIH-CE GOV/EIH-CET DE DV 要 不要	報 知 能工方法 使用電線 機器仕様	天井内配線 EM-IE HIV HP EM-AE												
領	その他	架空引込の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。	エ事範囲及び説 ガス温	1明 受信盤 より末端感知器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする メーカー責任施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。なお、図示なく 建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において 付ける。	< 1											
②受変電設備) 配電盤) 変圧器	既設受変電設備改修及び新設動力変圧器盤・開閉器盤取付け完了までとする。 1次側 3相3線式6,600V、2次側 3相 3線式210V 単相 線式 V 屋内開鎖型 助力変圧器盤・動力開閉器盤 3	れ	EM-TE EM-AE EM-OPEE												
③電灯・動力幹	工事範囲及び説明 電気方式 分電盤 施工方法 使用電線 その他	低圧盤 2 次側より動力整取付けまでとする。 3相3線式210V 単相 線式 V 助力盤 (露出型 面 埋込型 面) 配管配線 ケーブルラック配線 EH-IE OC DV 600V EH-CE 600V EH-CET EER EEF FP-C 架空配線の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。	設備 使用電線 使用電線 機器仕様 機器仕様 基本範囲及び設備 第二方法 实針 試験用端子 使用導線	BIL-KE HIV HP EN-AE EN-HP 明 突針取付けより接地極理設までの配管配線接地測定を行う。 なお、メーカーの責任第エよし、建築工事とよく打合せの上、施工する。 JISA4201に準じて施工する。												
4	工事範囲及び説明 施工方法 使用電線 照明器具 配線器具 その他	既設分電盤より空調室内機までの配管配線とする。 既設照明器具の取外し再取付を行う。 配管配線 天井内配線 EMI-IE 600V EMI-CE 600V EMI-CET EEF FP-C 姿図による	世界學報 15 自家 家 施工方法 定格 設計 個 機器仕樣 配管材料	明 機器据付より試速転調整までとする。 容量 kVA 電圧 V 日本内燃力発電数価協会認定合格品とする。												
	工事範囲及び説明) 電気方式) 施工方法) 使用電線	助力盤より空調機までの配管配線とする。 漏電遮断器回路は、他の接地線に接続せず単独接地とする。 3相3線式210V 3相 線式 V 配管配線 EMI-IE HIV ON DV 600V EMI-CE 600V EMI-CET EER FP-C	工事範囲及び設! 機 機 機 質 間 設 設 備	明 警備保険会社用受信盤 よりを受口までの配管を行う。 警備保険会社と事前に打合せを行い、支険の無いように施工する。 なお、警備計画の変更、建築構造上の変更等により配管ルートに変更が生 じた場合で軽微なものは監管機員の指示により本工事により行う。								用機材製 指定する製造者のものを使用の こと			合には、建築	
6 払声設備) 工事範囲及び説明 施工方法 使用電線 機器仕様	既設スピーカ他弱電設備機器の取外し再取付を行う。 EM-IE HIV HP MVVS EM-AE	(7) 中央 整監視 施工方法	管理様(A 0 棟)設置の空間集中リモコンより各空間機までの配管配線とする。 既存の中央監視設備の改修及び配管配線を行う。 配管配線 天井内配線 ケーブルラック配線						適用 機 材 電線類 ケーブル 電線管類 気中開閉	名		*	i i		
	その他	架空配線の場合は太陽光に対する耐光性を考慮し、電線種別/工事方法を決定すること。	· 自動制御設機	EN-CEE EN-CEE-S EN-KPEE-S						ガス開閉 避雷器 高圧開閉 高圧遮断	A.			明電舎ダイヘン	利昌工業	
7	工事範囲及び説明	保安器函取付け及び引込み口 よりこれに至る配管、保安器函取より交換機、 端子盤を経て各電話機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。								コンデン・キュービ・	ルル					
/電話設備	施工方法 方式 使用電線	電子ボタン式 電子交換式 CCP (市内 C C P ケーブル) EBT (電子ボタン電話用ケーブル) EW-OPEE (市内対ポリエテレン総縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル) PE-V (横内ケーブル) EM-TIEF (屋内用通信電線)								● 配分電盤 ● 配線用遮 照明器具 配線器具 放送機器 電話話 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	所器 三菱電機		当村電機製作所 崎電気産業			
8電気時計表示設備	工事範囲及び説明 施工方法 使用電線 機器仕様	主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。 EM-IE								火災報知・ ガス漏れ: 防火戸自! 避雷針 自家発電・ 蓄電池	機器 修報器 視機器 機器	等適合品製造者				
9通信・信品	工事範囲及び説明施工方法	主装置及び親機 より各機器及び子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。								マンホー。	レ蓋 アズビル					
与設備 10 テ	使用電線機器仕様	EM-OPEC(市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエテレンシースケーブル) CPV(制御用EPゴム絶縁ピニルシースケーブル) EM-AE アンテナ より末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。	_													
アレビ共視聴設備	施工方法 使用電線 機器仕様 電界強度測定	EM-S-5CFB EM-S-7CFB 地上デジタル波対応機器とする。 施工前に測定し、各局等の電界強度測定値を提出する。									工事名称 34 和5	B + 1	144-11. Mr		図面No.	
nig.	电介进及测 定	施工制に測定し、各局等の電界系度は測定値を提出する。 アンテナ位置は建築意匠、強度等を考え監督職員と協議する。			令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課		株式会社	総合設備コンサルタント		滋貨	県立大学A3・A4棟空調設 設備工事特記仕様書2	備改修工事	N, S	設計日	E02/29 2023年3月

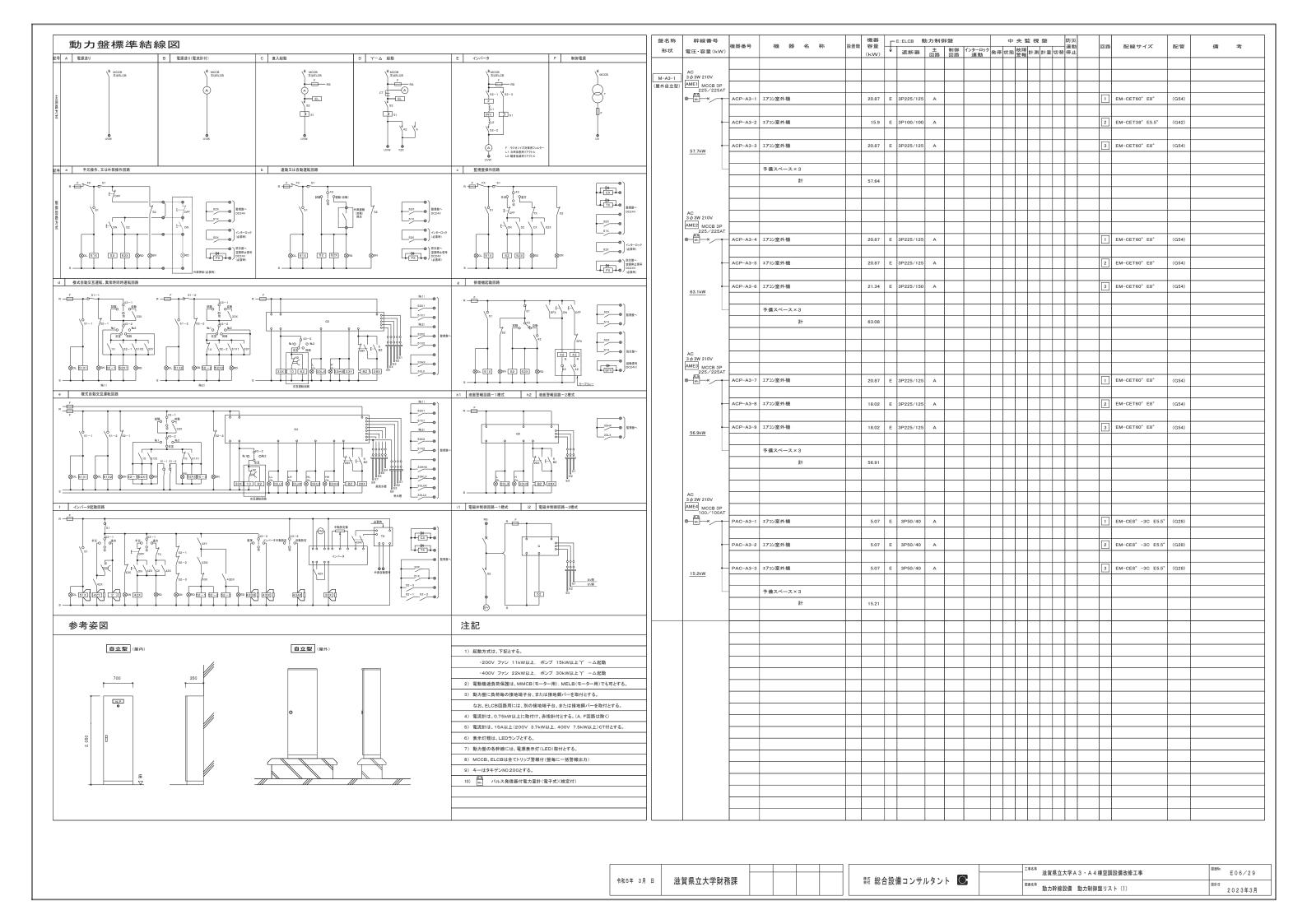






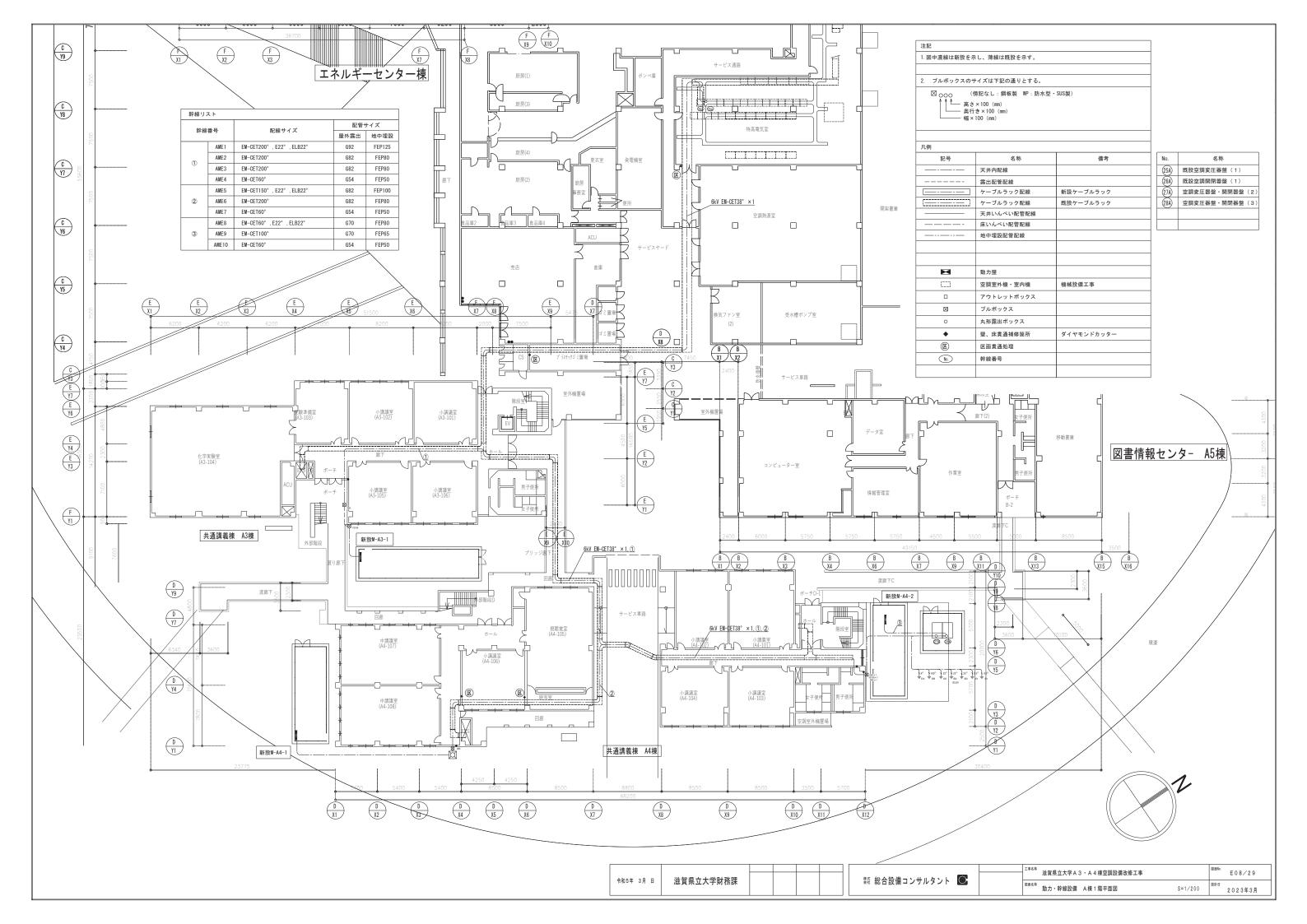
 令和5年3月日
 滋賀県立大学財務課
 横至総合設備コンサルタント
 本名・法資県立大学A3・A4棟空調設備改修工事
 図面形を との5/29

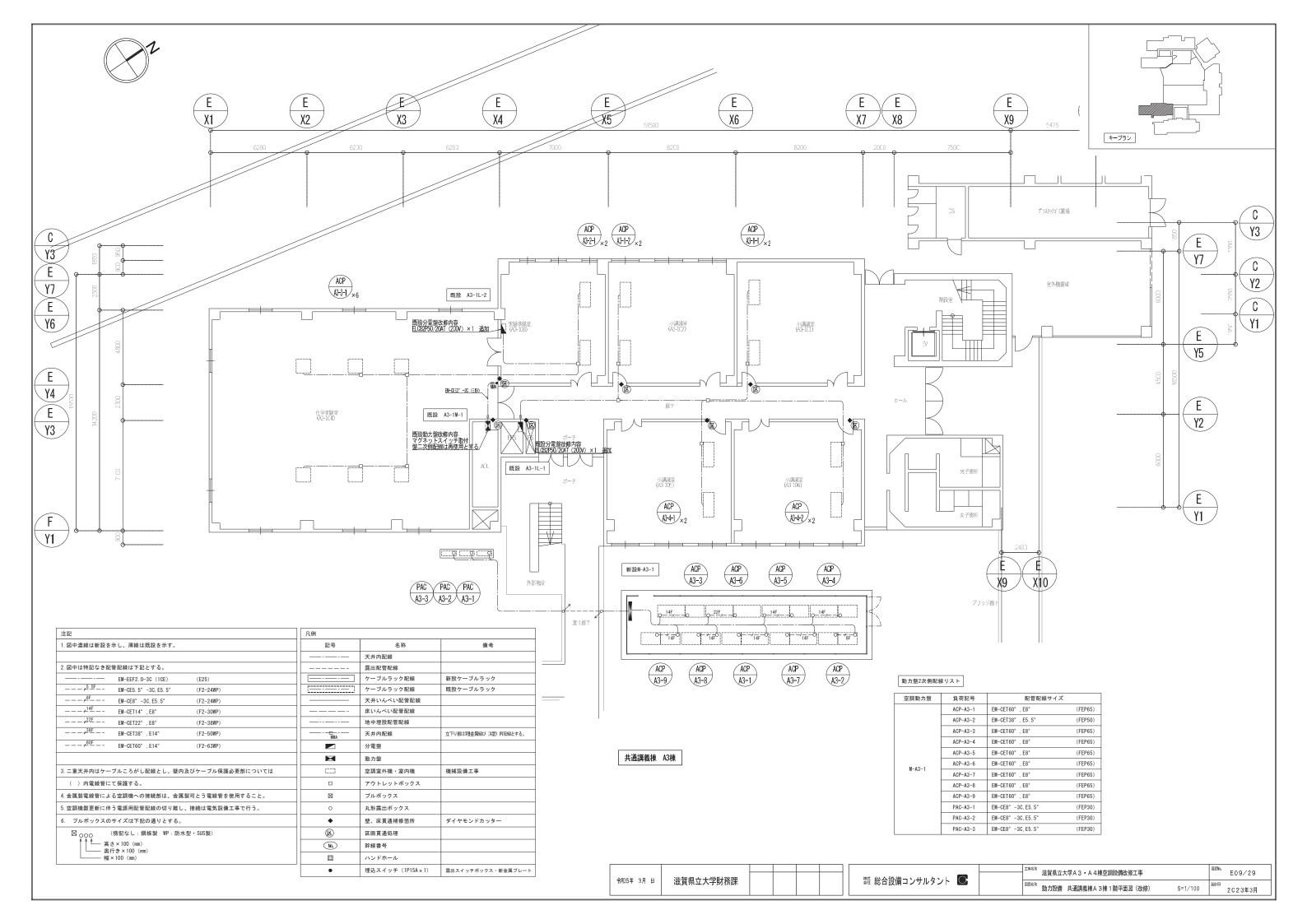
 電話等
 空調変圧器盤・開閉器盤姿図
 開閉器所平面詳細図
 S=1/20
 図出日 2023年3月

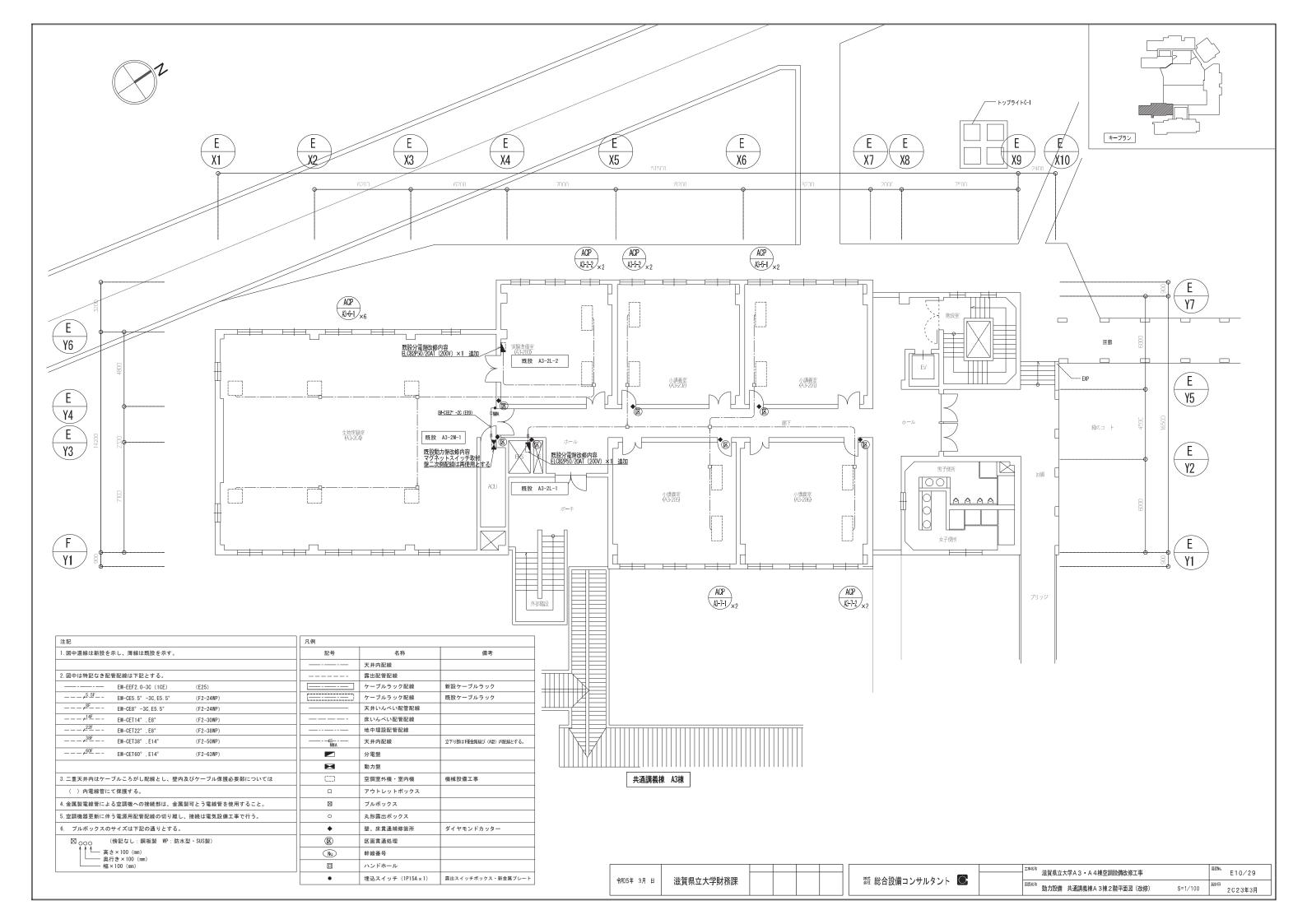


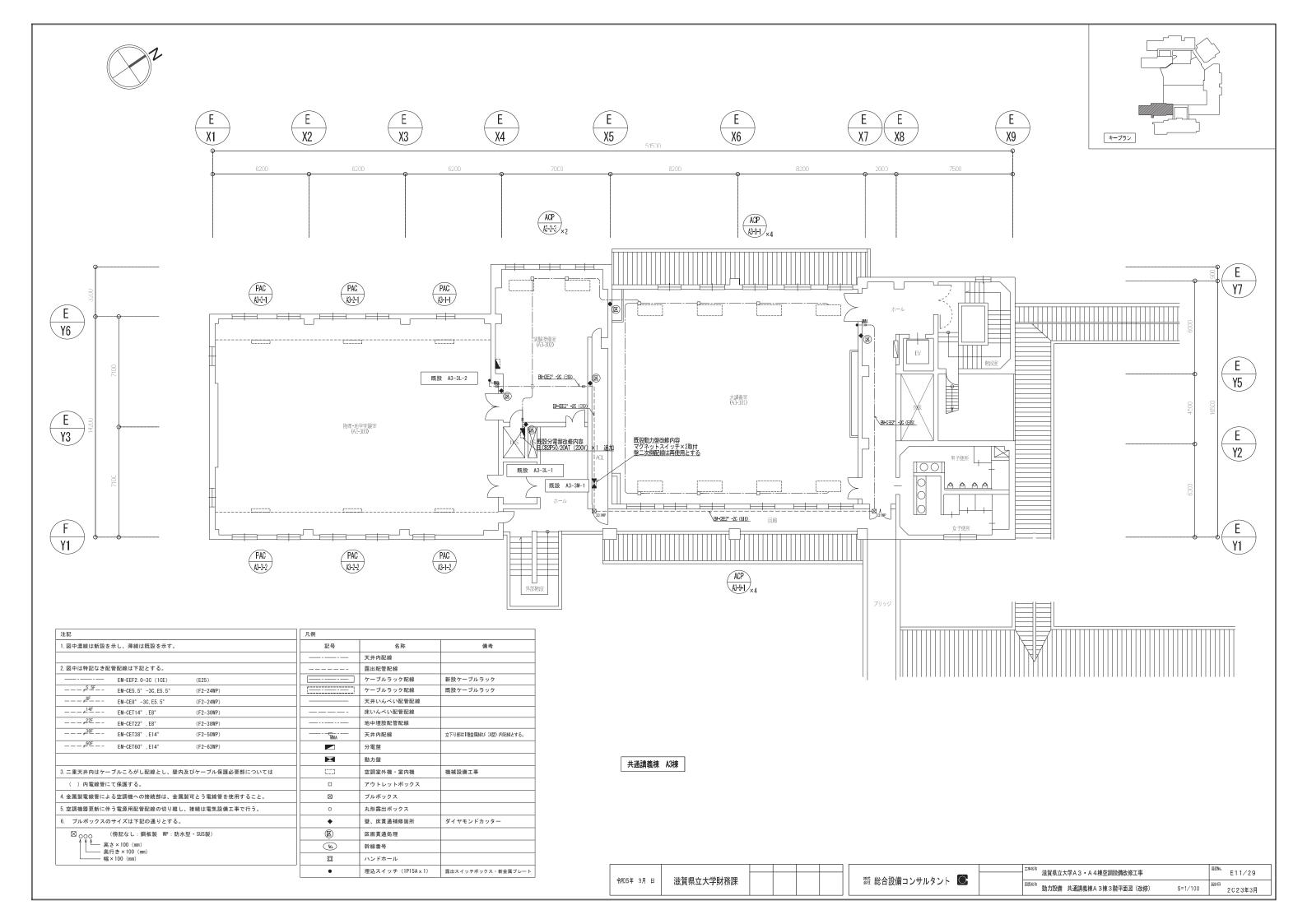
·容量(kW)			機器 容量 (kW)	E:ELCB 動力制御盤 遊断器 主 制御 回路	連動	1 発停 状態	警報計測計	十量 切替 停止	Ŀ					電圧·容量(kW)		(kW)	E:ELCB 動力制御盤 → 遮断器 主 制御 (229-127)	発停状態警報	計測 計量 切替 (· 止		
3W 210V		エアコン室外機											M-A4-2	AC 3 φ 3W 210V	PAC-A4-1 I732室外機 PAC-A4-2 I732室外機							
225/225AT	PAC-A4-3	エアコン安外機	11.44	E 3P100/75 A						[] EM	CET22° E5.5°	(G36)	■外目立型)	225/150AT	PAC-A4-1 T77\家机地	20.97	E 3P225/125 A			1	EM-CET60° E8° (G54)	
		-/=/±/100		2 0.100/70 //							02722 20.0	(400)			7.72.2710%	20.07	2 0.220,120 //				1 2.11 02.100 20 (40.1)	
	ACP-A4-4	エアコン室外機	25.23	E 3P225/175 A						2 EM-	CET60° E14°	(G54)			PAC-A4-2 エアコン室外機	20.87	E 3P225/125 A			2	EM-CET60° E8° (G54)	
.6kW	ACP-A4-5	エアコン室外機	15.9	E 3P100/100 A						3 EM-	CET38° E5.5°	(G42)		41.7kW	予備スペース×3 計	41.74						
		予備スペース×3													MI	41.74						
		計	52.57																			
														AC 3 φ 3W 210V	ACP-A4-6 I732室外機							
														225/225AT	ACD_AA_6 T777/宏机機	20.97	E 3P225/125 A			1	EM-CET60° E8° (G54)	
MCCB 3P	ACP-A4-7														7/1/2 / 1/1/X	20.07	L 01 220/120 A			+ + + - -	EW 02100 EU (434)	
×	ACP-A4-7	エアコン室外機	20.87	E 3P225/125 A						1 EM-	CET60° E8°	(G54)			ACP-A4-10 エアコン室外機	28.38	E 3P225/200 A			2	EM-CET100° E14° (G70)	
	ACP-A4-8	エアコン室外機	29.56	E 3P225/200 A						2 EM-	CET100° E14°	(G70)		49.3kW	予備スペース×3 計	49.25						
	ACP-A4-9	エアコン室外機	12.36	E 3P100/100 A			++	+		3 EM-	CET22° E5.5°	(G36)			n!	49.20				+ +		
8kW																						
L		予備スペース×3											M-A4-2	AC 3 φ 3W 210V					\Box	\perp		
		ā†	62.79										E 外自立型)	225/175A	PAC-A4-1 I722室外機 PAC-A4-2 I732室外機	214	E 3P50/30 A		+		EM-CE3.5° -3C E2° (G22)	
							\vdash									2.14	- 5. 55. 55			+ + - -		
W 210V	PAC-A4-7														PAC-A4-2 エアコン室外機	5.07	E 3P50/40 A			2	EM-CE8° -3C E5.5° (G28)	
7 MCCB 3P 100 ∕ 100AT 3																					1	
h ×	PAC-A4-7	エアコン室外機	5.07	E 3P50/30 A						1 EM-	CE3.5° -3C E2	(G22)		31.1kW	PAC-A4-3 エアコン室外機	5.07	E 3P50/40 A			3	EM-CE8° -3C E5.5° (G28)	
-	PAC-A4-8	エアコン室外機	5.07	E 3P50/40 A						2 EM-	CE8° -3C E5.5	° (G28)			PAC-A4-4 エアコン室外機	2.14	E 3P50/30 A			4	EM-CE3.5° -3C E2° (G22)	
8kW	PAC-A4-9	エアコン室外機	2.14	E 3P50/40 A						3 EM-	CE8° -3C E5.5	(G28)			PAC-A4-5 エアコン室外機	5.07	E 3P50/40 A			5	EM-CE8° -3C E5.5° (G28)	
	PAC-A4-10	エアコン室外機	3.27	E 3P50/30 A						4 EM-	CE3.5° -3C E2	° (G22)			PAC-A4-6 エアコン室外機	5.07	E 3P50/40 A			6	EM-CE8° -3C E5.5° (G28)	
	PAC-A4-11	エアコン室外機	3.27	E 3P50/30 A						5 EM-	CE3.5° -3C E2	° (G22)			PAC-A4-12 エアコン室外機	3.27	E 3P50/30 A			7	EM-CE3.5° -3C E2° (G22)	
		予備スペース×3													PAC-A4-13 エアコン室外機	3.27	E 3P50/30 A			8	EM-CE3.5° -3C E2° (G22)	
		āt	18.82																			
														L	予備スペース×4							
															ät	31.1						
												+										
												-										
																			+	+ +		
																				\bot		
							++	++		+									+	+ +		
							++	+												+ +		
							$\Box \Box$													\perp		
							++	+												+ +		
							$\vdash \vdash \vdash$	+														
							++	+												+ +		

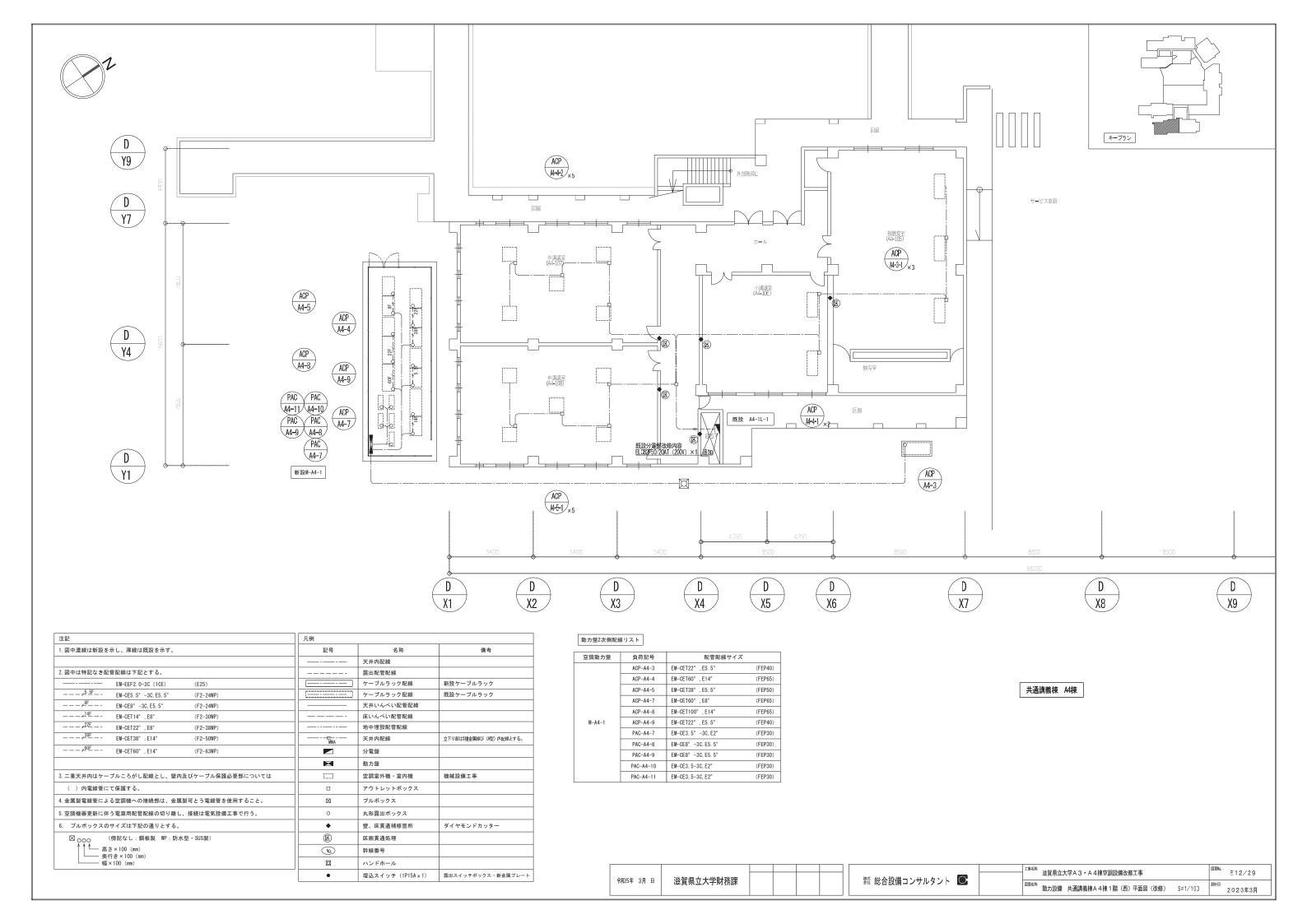
A10.5 % 0.0 .0	2. 加月 土 上 2. 以 3. 元			株式《八八九世一、八十八九八	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	E 0 7 / 2 9
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			会社 総合設備コンザルタント	^{図面名称} 動力幹線設備 動力制御盤リスト (2)	放計日 2023年3月

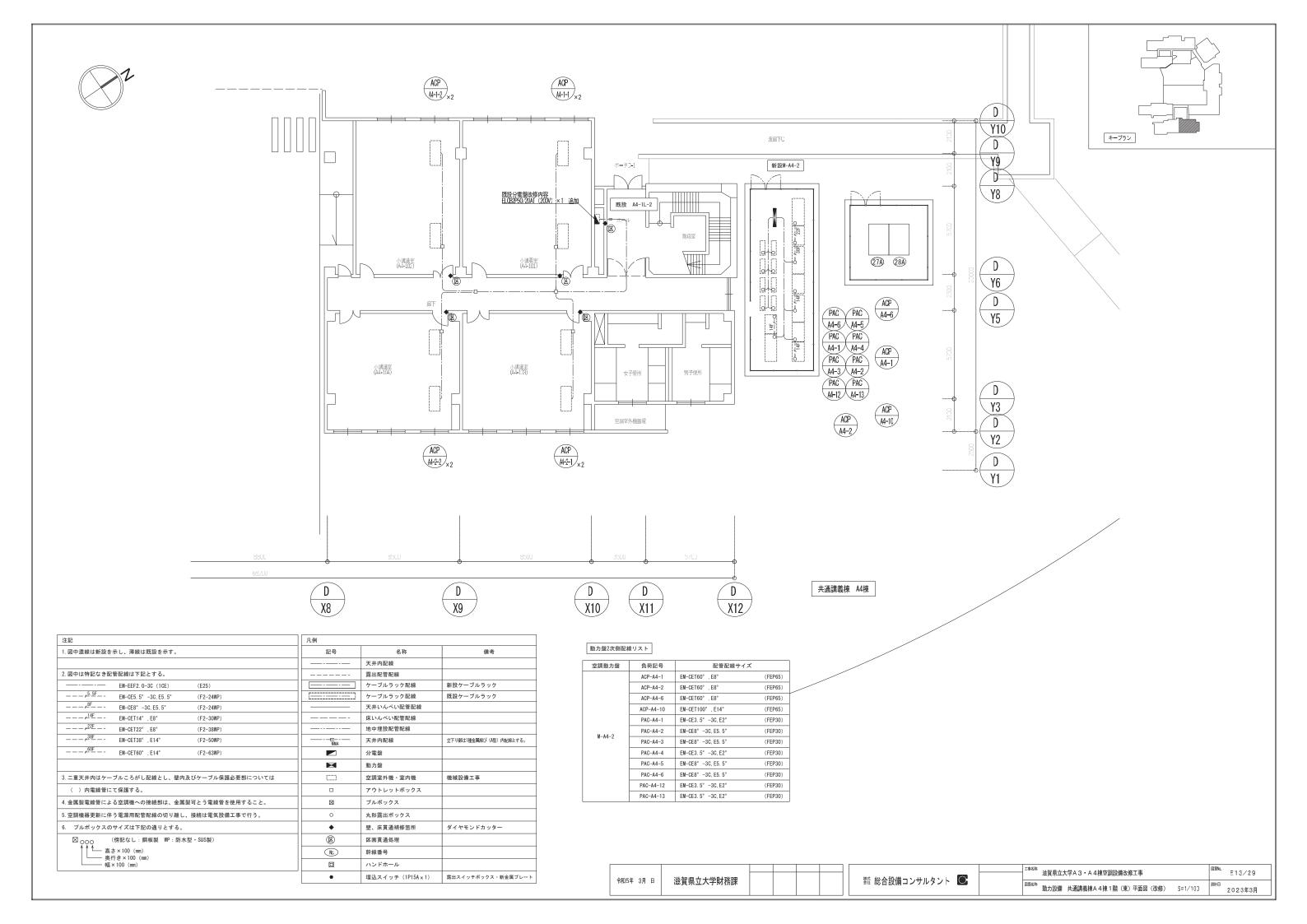


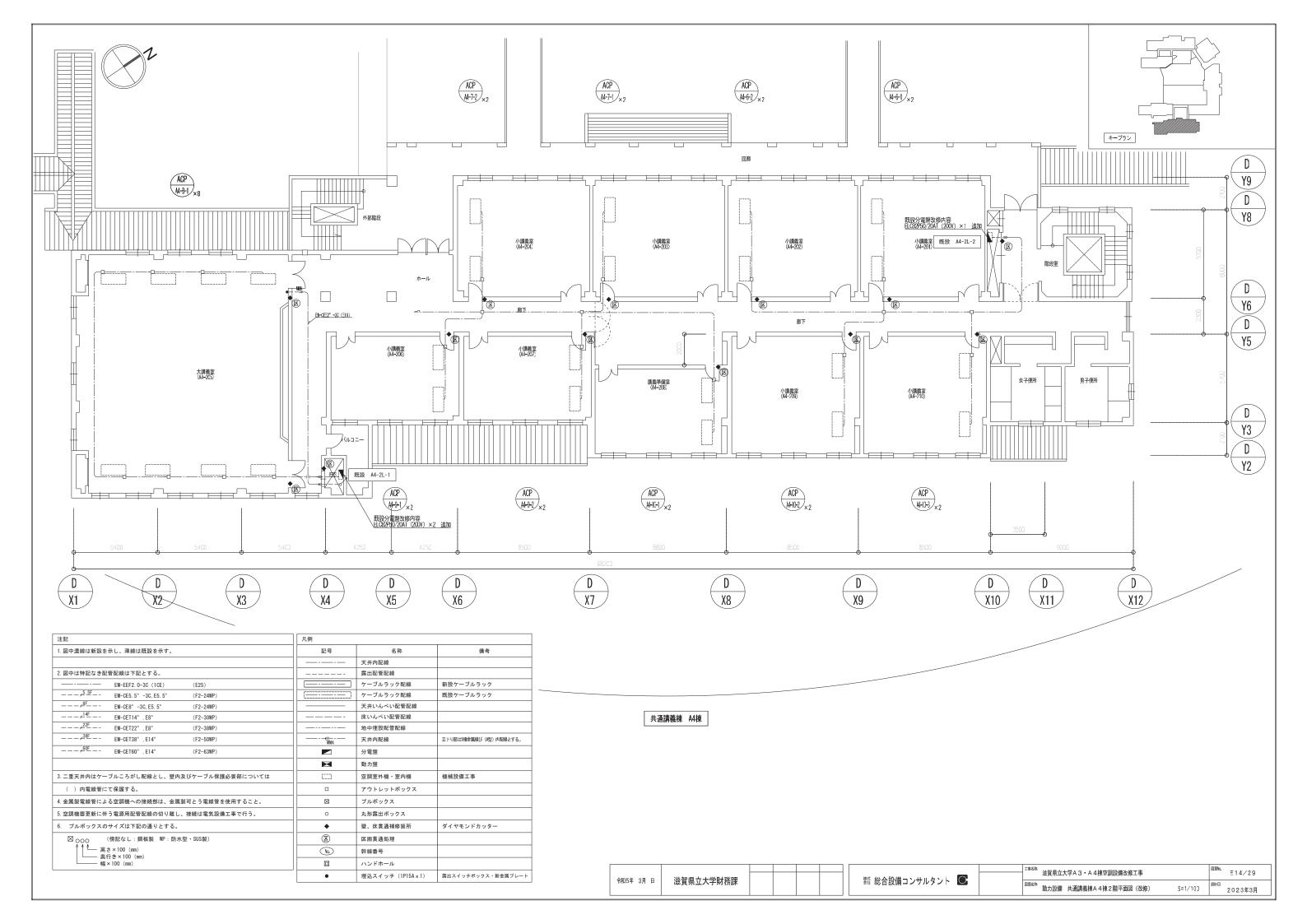


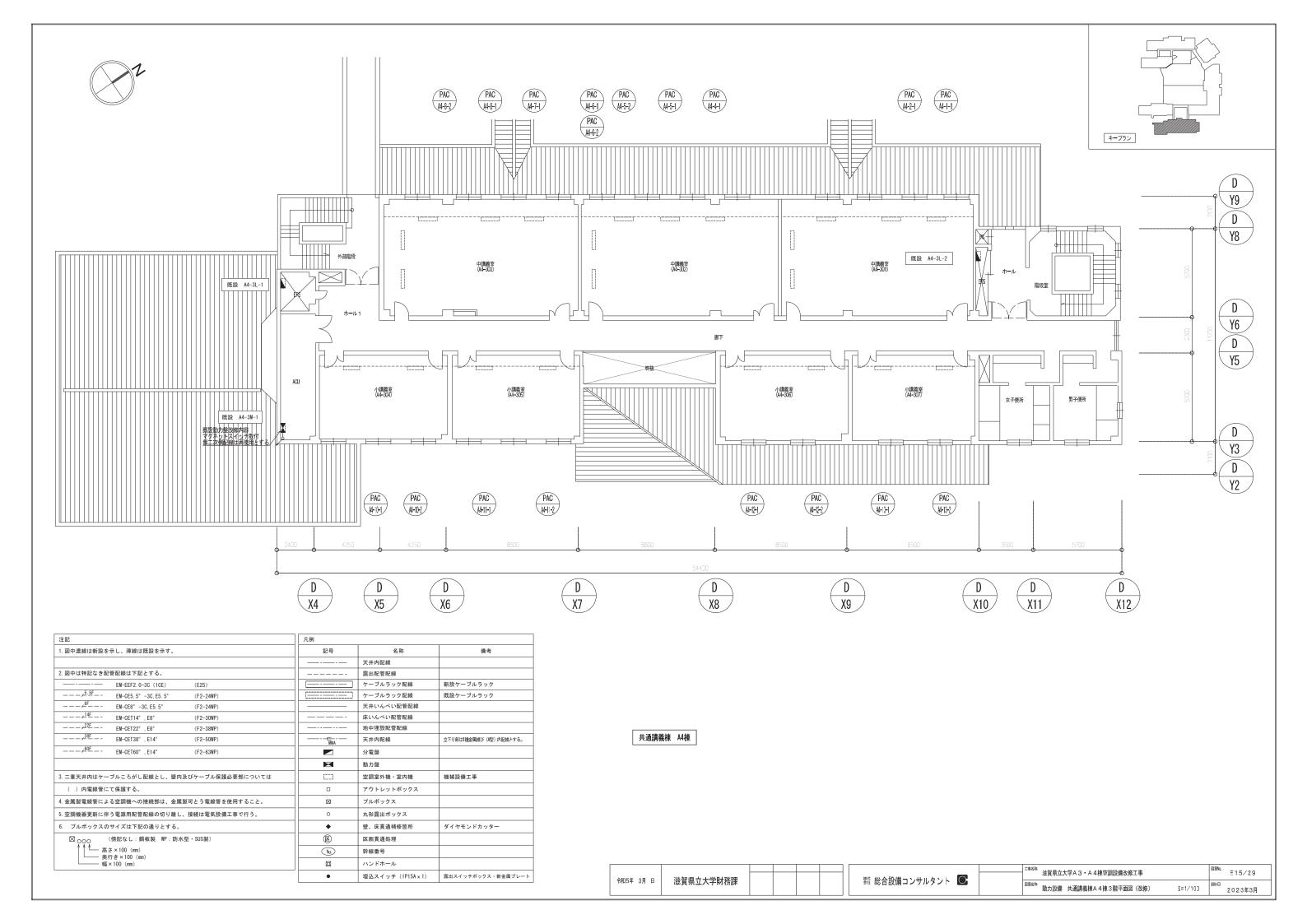


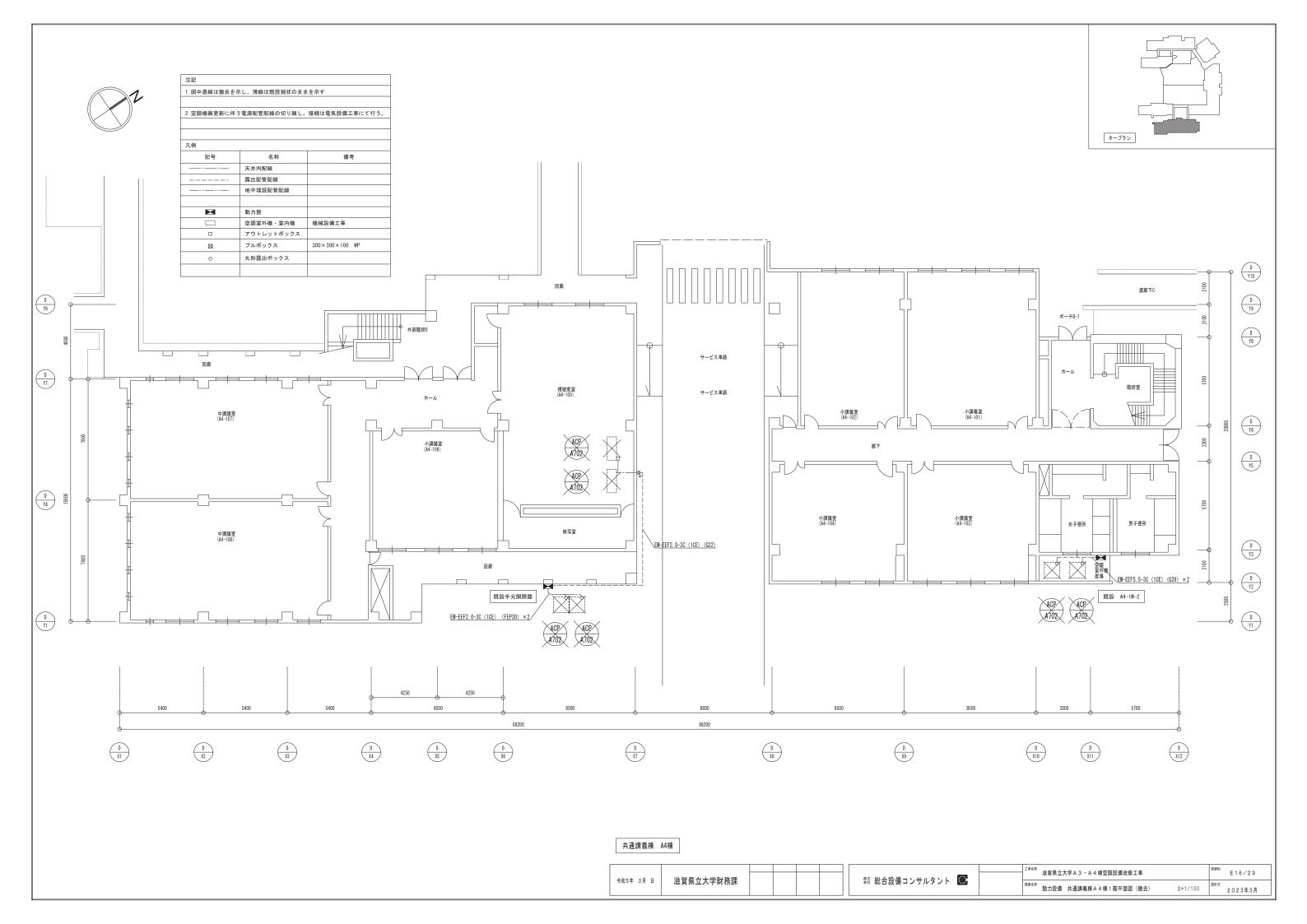


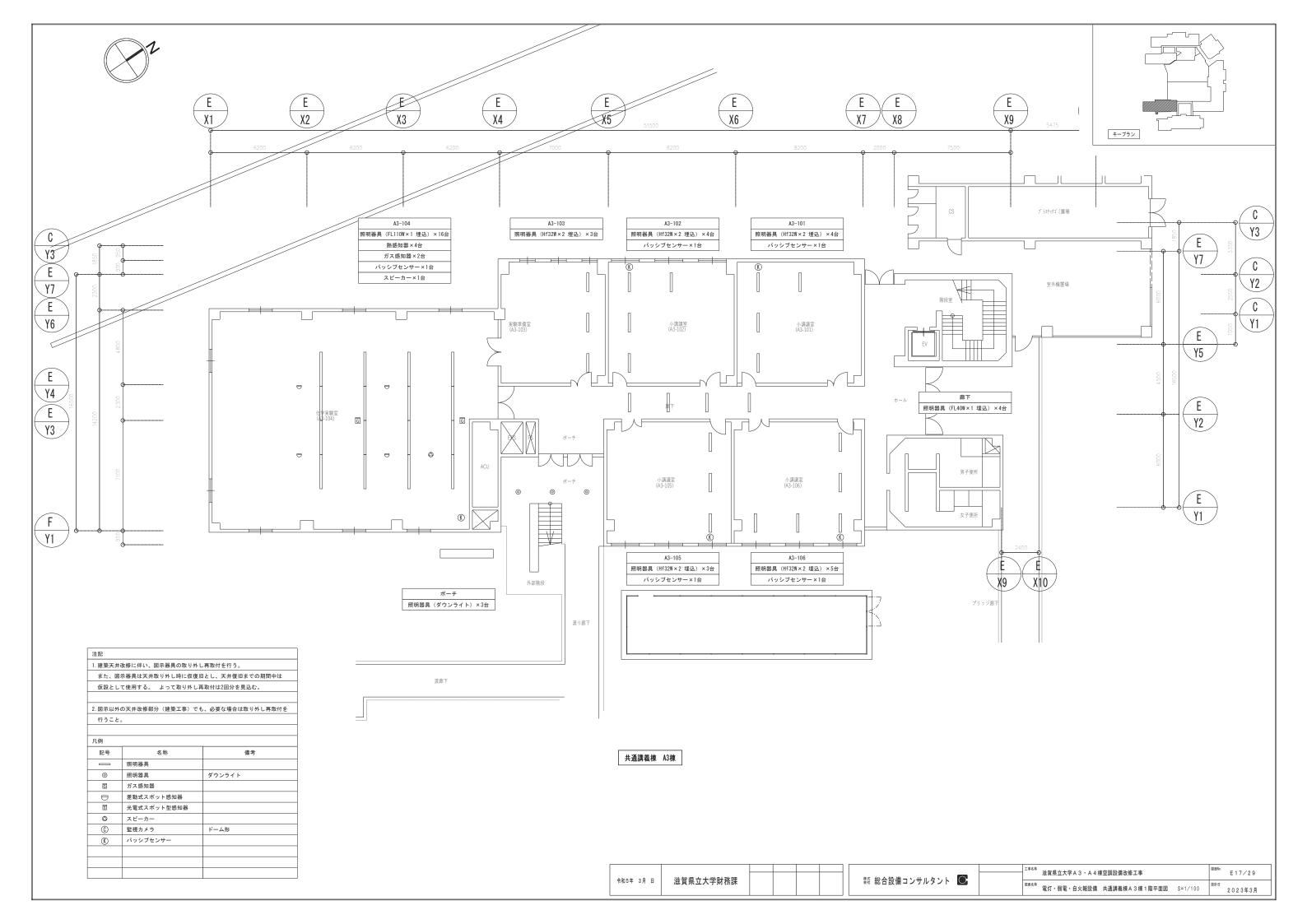


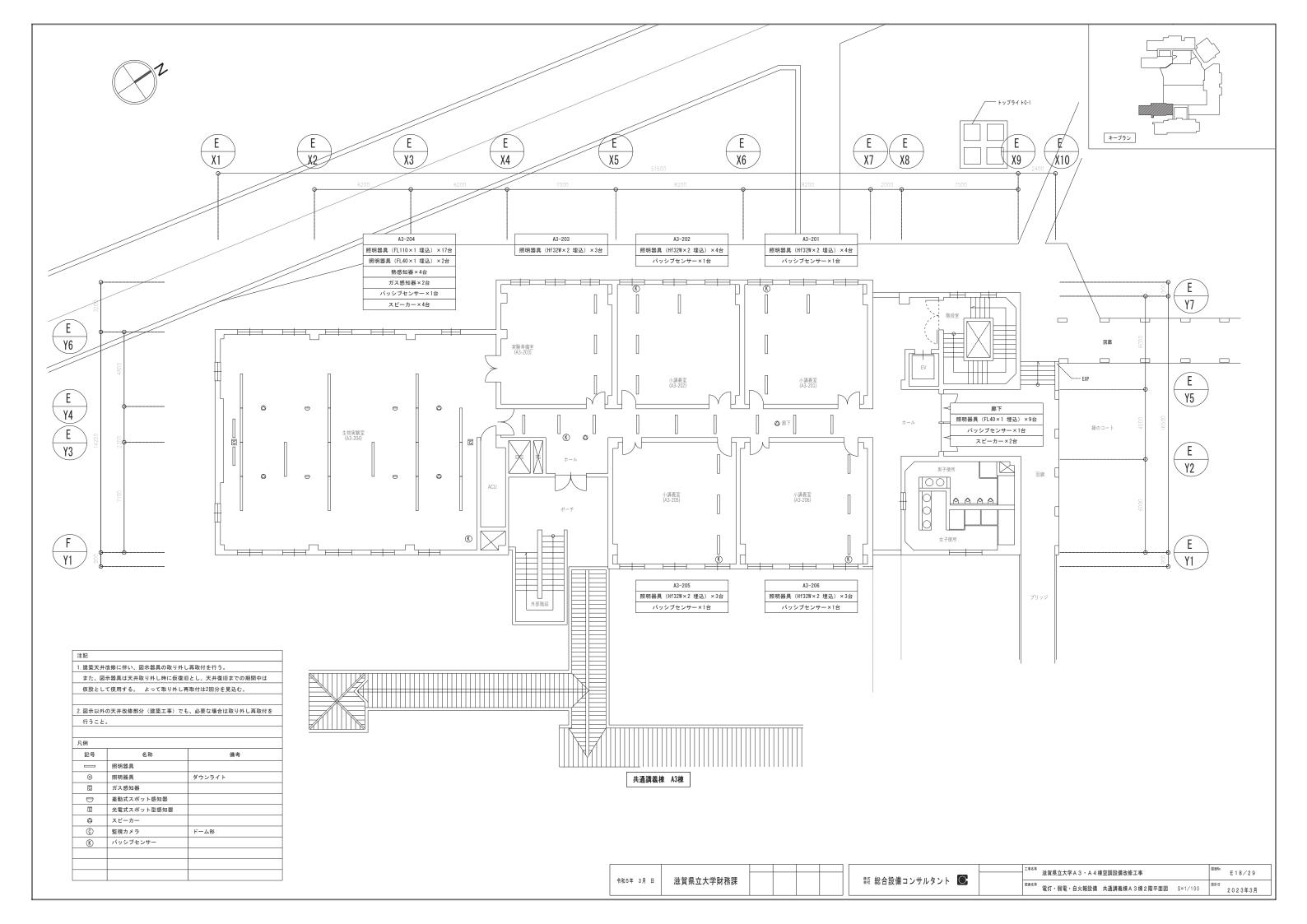


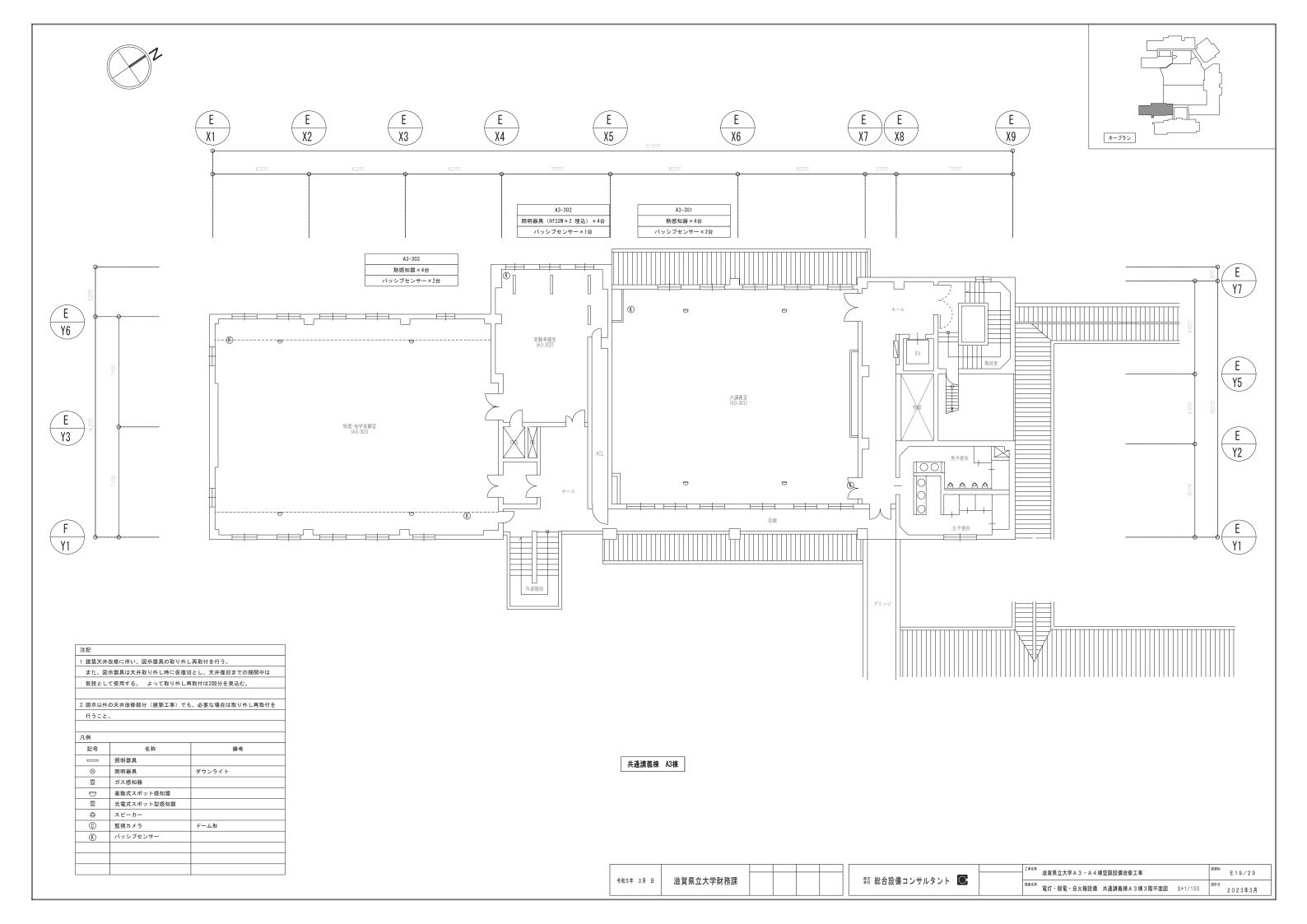


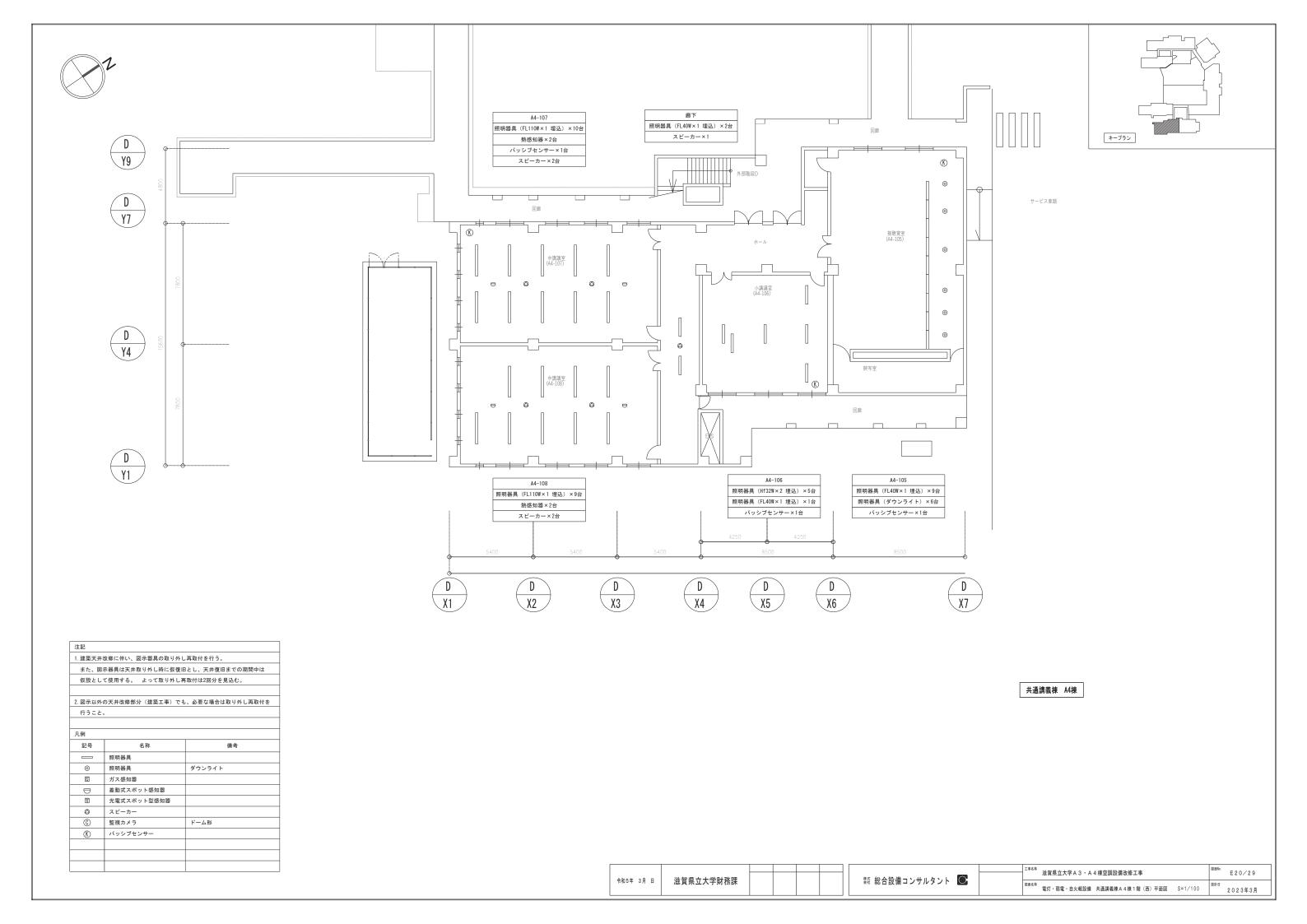


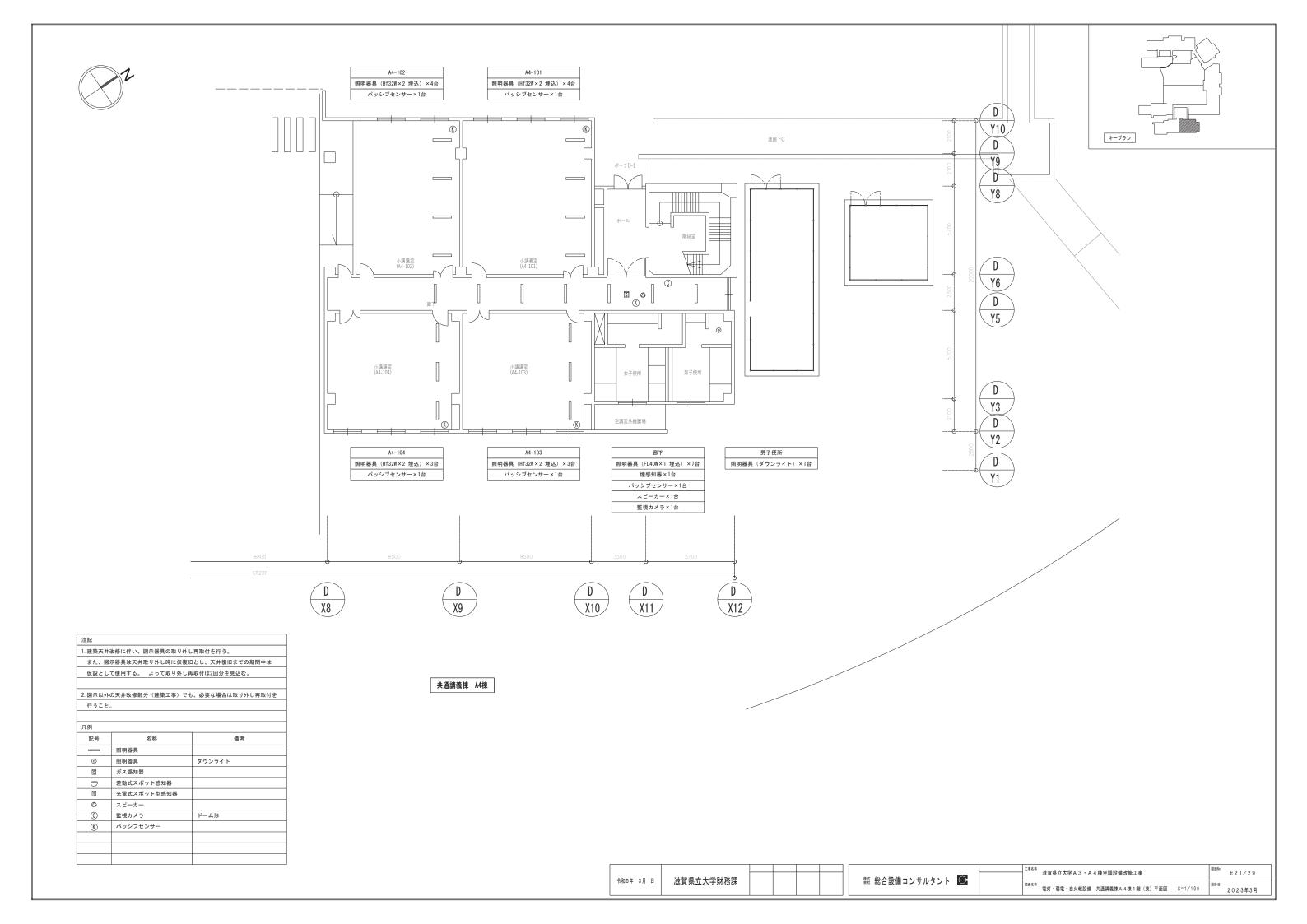


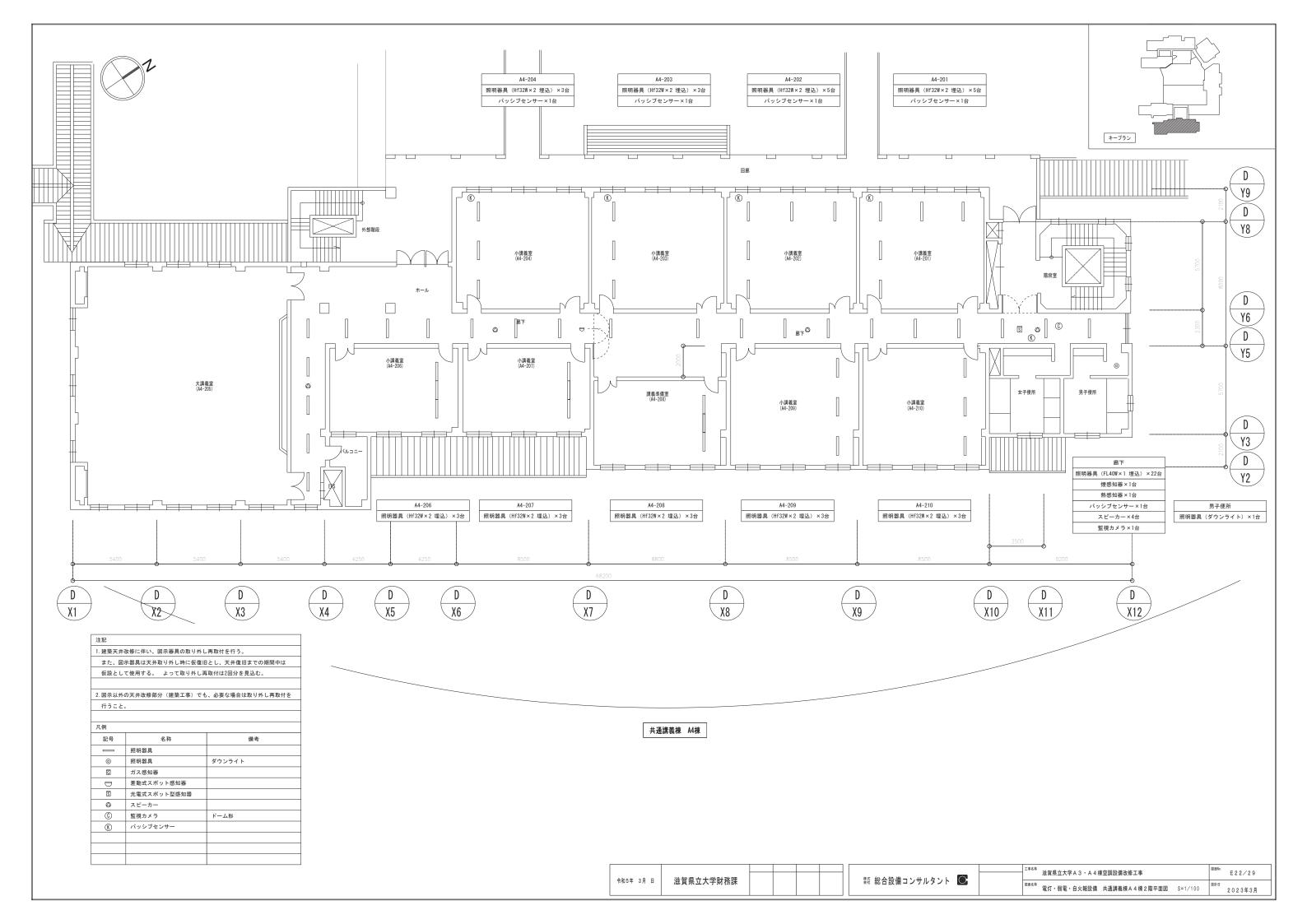


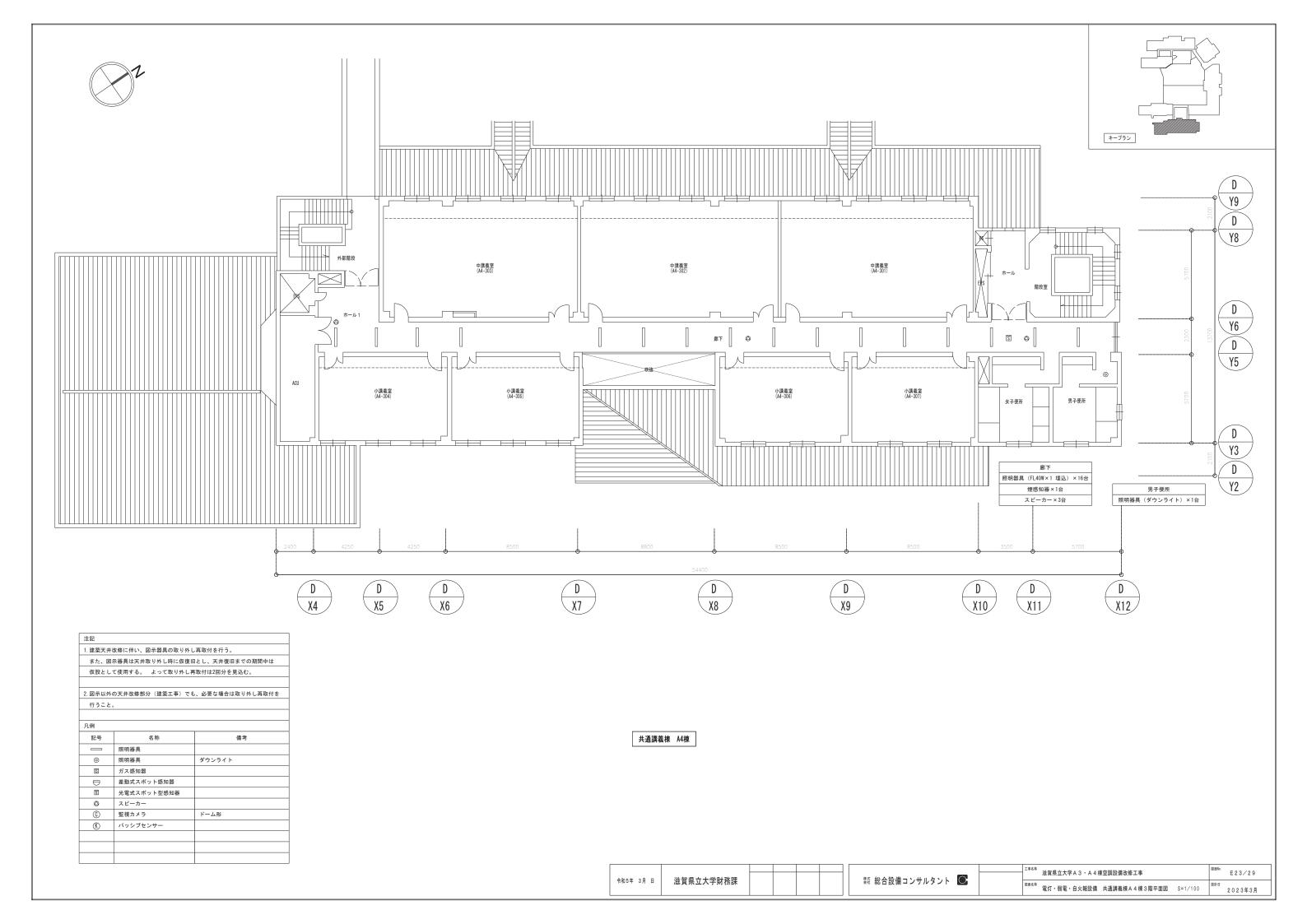


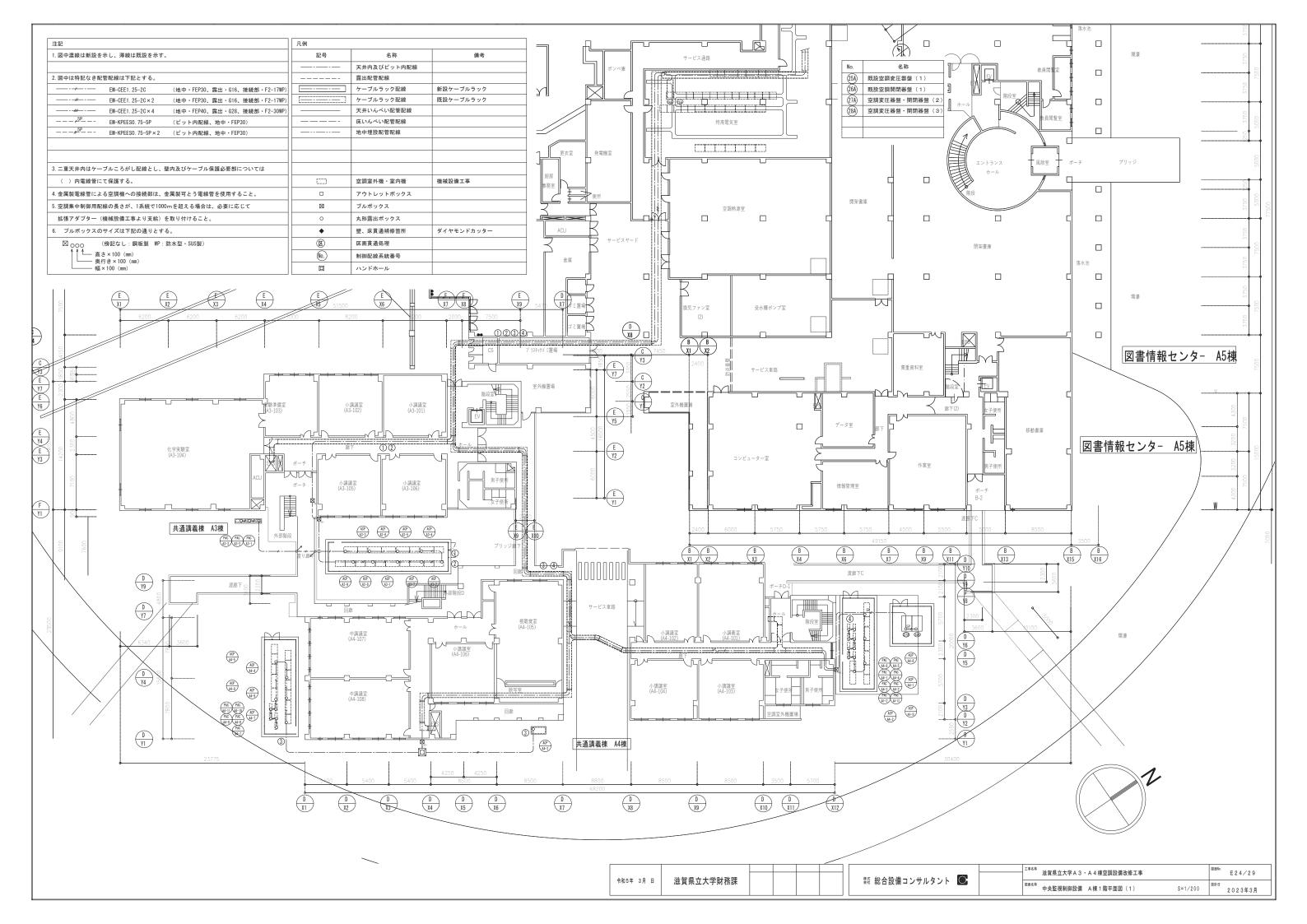


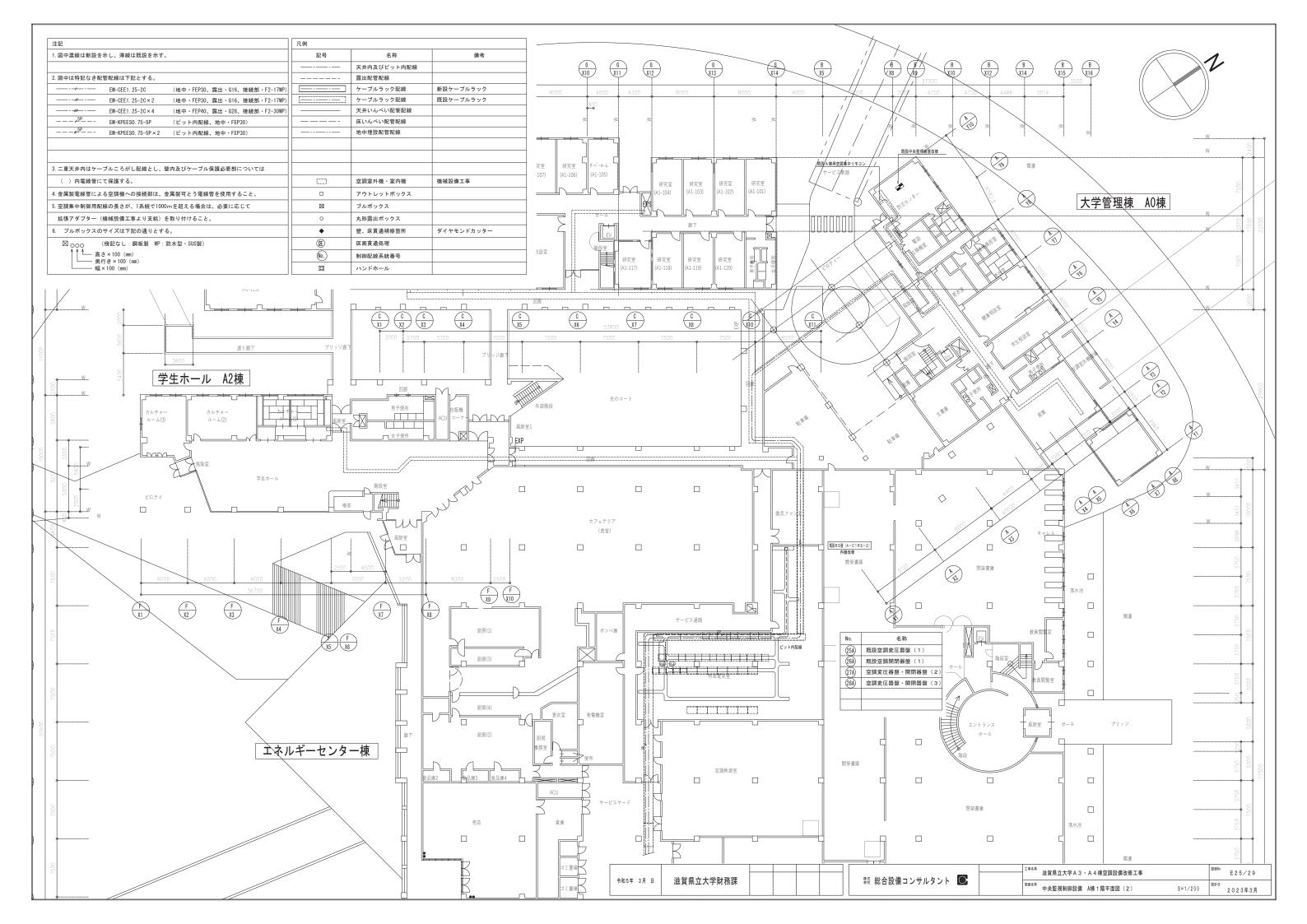


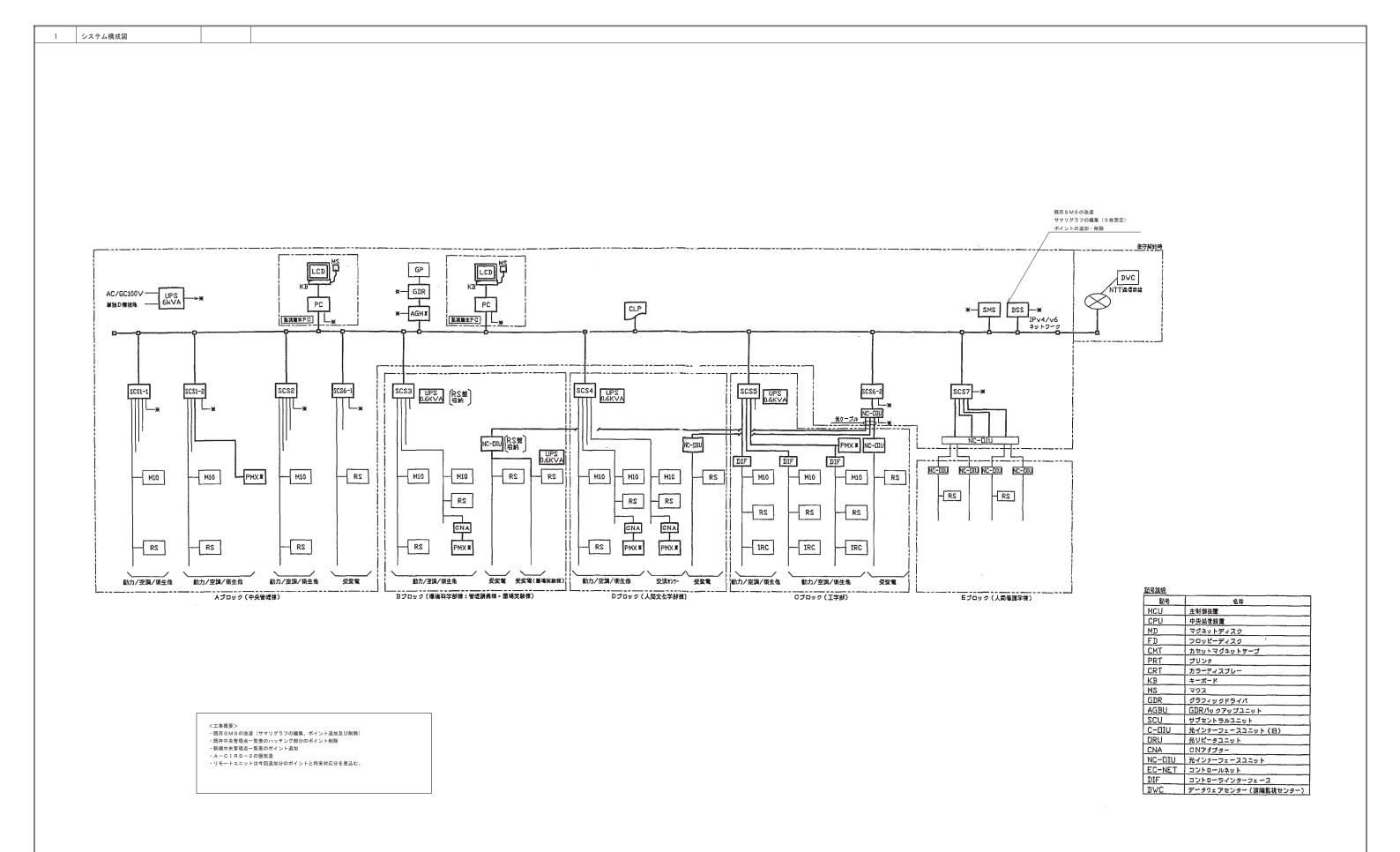












入出力項目	a.発停、状態、警報(CDS故障監視付)(C-T制御)	b,発停、状態(COS故障監視付)(C-T制御)	C,照明発停。(C-T制御) d.FCU、DJ14 発停。状態(C-T制御	e,発停,状態
人四万項目	瞬時接点出力 接点入力	瞬時接点出力 接点入力	リモコンパ鳥接点出力 リモコンパルス接点出力	瞬 時接点出力 接点入力
UE-12=91 RS M10	ON OFF DI OCOMO IN OCOM	ON OFF DI-	TON OFF TO THE PERSON OF THE PER	OFF AUT AUT OFF
外部配線				
現場側機器 受変電盤 動力電盤 分電盤 機側動盤 自動盤	CX TX 52X 51X 51X 51X 52X 52 52 52 52 52 52 52 52 52 52 52 51 52 X 51	TX	日の	② ③ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥
備考	a — a 接点 1. 状態確認用入力接点は、補助総電器(52X)側を使用のこと 2. 返方用補助総電器(GX, TX)には、スパークキラー(ダイオード等) を取付のこと。	a — a 接点 1. 状態確認用入力接点は、補助難電器(52X) 側を使用のこと 2. 速方用補助難電器(CX。TX)には、スパークキラー (ダイオード等)を取付のこと。		a - D 接点 1。状態確認用入力接点は、補助継電器(52X)側を使用のこと 2。選方用補助総電器(CX)には、スパークキラー(ダイオード等)を取付のこと。 (注)人UTのリレーは、メインディンとしてリレーをメークします。

1 11 1 1 1 1	f,状態。警報監視	9.状態監視	h.故障又は警報監視	,計量 (パルス) 入力	J.アナログ入力	アナログ入力	し、アナログ入力	m.アナログ出力
入出力項目	接点入力	接点入力	接点入力	無電圧単位接点パルス	電流入力	流入力	温度入力	電流出力
リモートユニット RS M10	OIN OCOMO IN OCOM	OCOM OIN	⊕GOM ⊕IN	COM O O IN	######################################			
外部記線								
琅塔削機器 受变電盤 動力電盤 分電盤 機動盤 自動盤	→ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	◆ ◆ 62X	◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	現業 1. 入力信号 12VDC, 10mA 2. 入力信号条件	① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	• O	P ± 100Ω 测温体	4~20mA
他	1.入力信号 無電圧。接点連続 2.回路電圧、電流 DC12V, 10mA	1.入力信号 無電圧 n 接点連絡 2.回路電圧、電流 DC12V, 10mA	1. 入力信号 無電圧。接点連絡 2. 回路電圧、電流 DC12V, 10mA	ON時間30mg以上 ORト時間30mg以上 ONトのド時間100mg 以上の3つの条件を満たす こと。	1. 入力信号 DC4~20mA 2. 入力インピーダンス 3000 3. アイソレーションなし	1. 入信号 ① DDmVDC 2. ステンピーダンス 1Mの以上 3. アゾレーションなし	1.入力信号 Pt1000,JPt1000 2.回路電圧。電流 DC1V,1mA 3.計測レンジ 0~50℃,-50~100℃ -20~80℃,50~200℃	1. 出力信号 4~20mADG 2. 出力電圧 24VDG 3. 最大負荷抵抗 60DΩ 4. アイソレータ付

					工事名称 光加月 六十份 4.0 4.4 体中部 机进工板 工市	図面No.	E 27 / 20
After to D	光加用专士类时效 :::			株式 巛 △ 訊 供 → ゝ . 共 Ⅱ ねゝ . Ⅰ	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事		E27/29
令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			鱀 総合設備コンサルタント ◎	^{図面名称} 中央監視制御設備 入出力回路図 N.S	設計日	2023年3月

中央管理点一覧表(4)

			動力盤		発停					_	故障		#	測入	<i>+</i> 1				
記 号	名 称	リモート盤	制御盤他	取合回路			切换	設定			10	28 00	湿度	_	_		計量		備考
	1F ホール2 照明B	A-F3RS-1	18	С	似障	状態 1	\vdash		故障	-	音報	温度	温度	tung	\vdash				RS
	1F x-h2 照明C	A-F3RS-1		c		1													RS
	1F ポーチ 照明D	A-F3RS-1		С		1													RS
	1F 便所 照明	A-F3RS-1		С		1													RS
	1F 3FRF 照明	A-F3RS-1		С		1	├			<u> </u>	├								RS
	予備	A-F3RS-1				1	-			-	-								RS
	1F-3F階 段灯 1F 便所 換気扇	A-F3RS-1 A-F3RS-1		d		1													RS RS
	1F102室 FCU: DX14	A-F3RS-1		d		1													RS
	A-F1M-1 ELB NJ97	A-F3RS-1		h		<u> </u>					1								RS
	A-F2M-1 ELB NIT	A-F3RS-1		h							1								RS
	A-F3M-1 ELB Nップ	A-F3RS-1		h							1								RS
	1F 101室 FCU· DXH	A-F3RS-1		d		1	-		_	-	-				-				RS
	1F 105室 FCU・ロスナイ 1F 106室 FCU・ロスナイ	A-F3RS-1		d		1 1	\vdash			-									RS RS
	1F 108室 FCU・ロスフィ	A-F3RS-1 A-F3RS-1		d		1	\vdash												RS
	3F 便所 照明	A-F3RS-1		C		1													RS
	3F 便所 换気扇	A-F3RS-1		d		1													RS
	3F 302室 FCU・ロスナイ	A-F3RS-1		d		1													RS
	2F 廊下 照明A	A-F3RS-1		С		1	_								_				RS
	2F 廊下 照明B	A-F3RS-1		С		1	_						-			-			RS
	25.25 原体整体 照明	A-F3RS-1		C		1	_		-				-	\vdash		-			RS Pc
	2F '3F 屋外階段 照明 2F ** *- ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	A-F3RS-1 A-F3RS-1		С		1	_			\vdash									RS RS
	2FEV★→ 照明	A-F3RS-1				1													RS
	2F 未-n 回廊 照明	A-F3RS-1		С		1													RS
	2F*-N2 照明	A-F3RS-1		c		1													RS
	2F 便所 换気扇	A-F3RS-1		d		1													RS
	2F 203室 FCU·ロスナィ	A-F3RS-1		d		1													RS
	2F 202g FCU·DJ14	A-F3RS-1		d		1	_		_										RS
	2F 201室 FCU 0374	A-F3RS-1		d		1													RS
	2F 205室 FCU・ロスナイ 2F 206室 FCU・ロスナイ	A-F3RS-1 A-F3RS-1		d		1	\vdash												RS RS
	3F 回廊 デウンライト 照明	A-F3RS-1		c		1	\vdash		\vdash	_	\vdash				-				RS
	3F #-N2 照明A	A-F3RS-1		С		1													RS
	3F #-#2 照明B	A-F3RS-1		c		1													RS
	3F ホール吹抜 照明	A-F3RS-1		С		1													RS
	3F 回廊 未-M吹抜 照明	A-F3RS-1		C		1													RS
	予備	A-F3RS-1				1	-		-		-				-				RS
	予備 3F 回廊 デウンライト 照明A	A-F3RS-1 A-F3RS-1		-		1	\vdash		\vdash	-	\vdash			_	\vdash				RS RS
	3F 回廊ゲウンライト 照明B	A-F3RS-1		С		1	\vdash												RS
	3F ホール2 ゲウンライト 照明C	A-F3RS-1		c		1													RS
	3F ホール1 ダウンラィト 照明D	A-F3RS-1		С		1													RS
	A-F3RS-1 479-17	A-F3RS-1		b		1													RS
	ELV 制御盤 警報	A-F3RS-1		h		_	_				1				_				RS
	A604 3F 大講義室 給気F	A-F3RS-1		通信	1	_	_		_	-	.				-				M10
77777	A604 3F 大講義室 FU目詰	A-F3RS-1	1777777	通信	<i>\</i>	///	 		//	1/1/	1	//	 	//	//	///	-	<i>///</i>	M10
<i>\\\\\\\</i>	A604/3F/ 大講義室/外海 A604/3F/ 大講義室/ 冷場	/ A-F3RS-1 A-F3RS-1		通信	1	1/1	///	1//	$\forall f$	1/1	1//	1	//	1	1	// .	[//	1	MXO
	A604 3F 大講義室 遺気F	A-F3RS-1		通信		14	Υ	<u> </u>	1	1	<u> </u>	[1	/ /		1	\mathbf{I}'	<u> </u>	M10
	A604 3F 大講義室 温度	A-F3RS-1		通信								1							M10
	A604 3F 大講義室 湿度	A-F3RS-1		通信	Ĺ,								1						M10
	A60A/3F/大演藝室/温度SP///////////////////////////////////	/ A-F3RS-1/		通信	1//	{ //	1//	1/1/	\vee	1//	<i>{//</i>	//	1//	//	//	{ //	<i>{//</i>		M18///
	A604/36/大講義室/3度89///////////////////////////////////	A-F3RS-1	<i>\/////</i>	通信	$\overline{}$	<u> </u>	///	1/1/	1//	<u> </u>	1//	<u>Y</u> Z	<u> </u>	1//	γ/	<u> </u>	1//	$V \angle$	M/0////
	A603 3F 物理·地学 給気F A603 3F 物理·地学 FU目詰	A-F3RS-1 A-F3RS-1		通信通信	1						1								M10 M10
/////	A603 3F 物理·地学 FU目語	A-F3RS-1	1/////	通信	//	17	1	//	17	1	1	17	///	///	1	//	///	//	MXO///
<i>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</i>	A60.3 (3F / 物理·地学 / 冷暖 / / /	A-F3RS-1	///////	通信	+	1/	1//	1//	1//	1//	1//	1//	1//	//	1//	1//	1/	+	MIB ///
	A603 3F 物理·地学 遺気F	A-F3RS-1		通信	Ľ	Ĺ	Ľ	Ľ	1	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ĺ	Ľ	Ľ	M10
	A603 3F 物理·地学 温度	A-F3RS-1		通信								1							M10
/////	A603 3F 物理·地学 湿度	A-F3RS-1	1 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	通信	,	 	 	/	 	 	 	ļ.,	1	-	 	 	-	/ /	M10
W/W/W	A603 3万 物理/地学 温度SP	A-F3RS-1		通信	<i>\//</i>	$\!$	// /	1/1		<i>//</i>	}//	\forall	<i>///</i>	1//	1/	<i>//.</i>	1//		MY0///
Y////	A602 2F 生物実験室 給気F	1/ <i>\$/</i> -F3R8-1/ A-F3RS-1	<u> </u>	通信	1/	1//	<u>Y /</u>	X X /	1//	Υ/	///	1//	YZ	<u> </u>	1//	1//	<u> </u>	1//	MT0
	A602 2F 生物実験 FU目詰	A-F3RS-1 A-F3RS-1		通信通信	1		\vdash				1			\vdash					M10
/////	MOUZ	A-F3RS-1	1/////	通信	17	1//	17	17	1//	V	1	17	177	//	17	1//	17.	1	MIN ///
	A602/25/生物実験/冷礁/	A-F3RS-1		通信		1	1//		1/	1//	1//				1/				M20///
	A602 2F 生物実験室 還気F	A-F3RS-1		通信		Ľ		Ľ	1	Ľ	Ľ		Ľ	Ĺ		Ľ	Ľ		M10
	A602 2F 生物実験 温度	A-F3RS-1		通信								1							M10
	A602 2F 生物実験 湿度	A-F3RS-1		通信	 	 	,	 	ļ ,	,	ļ	ļ	1	ļ	 	<u></u>	ļ,,	 	M10
<i>\\\\\\\</i>	K602 2F 生物実験 温定SP	<u> A-F3RS-1/</u>		通信	<i>//</i>	{//	<i>\//</i>	1/	\vee	<i>\//</i>	<i>{//</i>	//	}//	//	<i>//.</i>	1//	<i>{//</i>	1//	MIB///
<u>/////</u>	A602/25/生物実験	A-F3RS-1	<i>X//////</i>	通信	//	$/\!$	1//	1/1/	1//	<u> </u>	1//	$/\!$	<u> </u>	1//	γ/	<u> </u>	1//	$V \angle$	M/0////
	A601 1F 化学実験室 給気F	A-F3RS-1 A-F3RS-1		通信通信	1						1								M10 M10
	NOV1 15 10 十天歌 「 O D II	H-LOK2-1	1	mil		_			_		1 1	_							11110

			動力盤	取合	発停					Ī	故障		≣†	測入	、カ		計量		
記 号	名 称	リモート盤	制 御 盤 他	回路		発停 状態	切換	設定	状態 故障	状態	登報 の L	温度	湿度	その他					備考
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	/A-F3R8-1/		通信	1//					1/		-	77	-				\mathbb{Z}	MO///
//////	A601/15/16学美联/冷修///////////////////////////////////	<u>/A-F3R8-1/</u>	<i>//////</i>	<u> </u>	<u> </u>	1	$V \angle$	///	1//	$V \angle$	///	//	$/\!$	//	///	//	V_{\perp}	<u> </u>	M10////
	A601 1F 化学実験室 還気F A601 1F 化学実験 温度	A-F3RS-1 A-F3RS-1		通信	\vdash				1			1				-			M10 M10
	A601 1F 化学実験 温度	A-F3RS-1		通信								1	1			_			M10
	AG81/1F/光学実験/温度SP/////////	A-F3RS-X	//////	通信	1//			1/2	///	///			1		1//	///	1//	1	M10///
	A601/15/化学実験/湿度SP///////////////////////////////////	/x-1/388/1/		通信			\mathbb{Z}	1/1/						\mathbb{Z}			\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	M18///
	A701 2F 大講義室 給気F	A-G2RS-1		通信	1														M10
//////	A701 2F 大講義室 FU目詰 A701 2F 大講義室	A-G2RS-1 /A-G2RS-1/	//////	通信	//	///		//	///	1	1	///	//			//	-	//	M10 M10///
	(A7,81, 2F, 大講義室, 冷暖)	A-G2RS-X		通信		1	//	1//	1	///	1	//	//	1	1	//	1	1//	MIO
	A701 2F 大講義室 遺気F	A-G2RS-1		通信	Ĺ	/-/			1										M10
	A701 2F 大講義室 温度	A-G2RS-1		通信								1							M10
/////	A701 2F 大講義室 湿度	A-G2RS-1	1//////	通信	 		ļ —	//		ļ.,			1				ļ —		M10
/////	4701'2F'大錦錦室/温度SF 47.01'2F'大錦錦室/温度SF	/ K-G2RS-1/ A-G2RS-1/		通信	1//			1		//	//	//	//	//	1//	//		//	(M18) M10
	1F 廖 下1·木-M1 照明A	A-G2RS-1		C		1		V *											RS
	1F 廊下1·木-M1 照明B	A-G2RS-1		С		1													RS
	1F 回廊 照明	A-G2RS-1		С	_	1													RS
	1F @ # 179751 A	A-G2RS-1			-	1													RS
	1F 回廊 ずウンライト B 1F 回廊 ずウンライト C	A-G2RS-1 A-G2RS-1				1													RS RS
	1F 階段 照明	A-G2RS-1		- C		1													RS
	1F 105室 AC	A-G2RS-1		d		1													RS
	1F 107室 FCU・ロスナイ	A-G2RS-1		d		1										<u> </u>			RS
	1F 108室 FCU・ロスナィ 1F 106室 FCU・ロスナィ	A-G2RS-1 A-G2RS-1		d		1							_			-			RS
	1F 106室 FCU・ロスナイ 1F 105室 ロスナイ	A-G2RS-1 A-G2RS-1		d	\vdash	1	\vdash		\vdash		\vdash		\vdash			 			RS RS
	予備	A-G2RS-1				1													RS
	予備	A-G2RS-1				1													RS
	予備	A-G2RS-1			_	1													RS
	1F 廊下2 照明A 1F 廊下2 照明B	A-G2RS-1				1										-			RS
	1F 本-1/2 照明A	A-G2RS-1 A-G2RS-1			\vdash	1													RS RS
	1F ボーチ2 照明B	A-G2RS-1		c		1										_			RS
	1F 未加回廊 照明C	A-G2RS-1		С		1													RS
	1F 木加田 照明D	A-G2RS-1		С	-	1													RS
	1F 使所 照明 1F ポーチ 照明	A-G2RS-1 A-G2RS-1			\vdash	1													RS RS
	1F 階段灯 照明	A-G2RS-1		-		1										_			RS
	1F 便所 换気扇	A-G2RS-1		d		1													RS
	1F 102室 FCU・ロスナイ	A-G2RS-1		d		1													RS
	1F 104室 FCU・ロスナイ	A-G2RS-1		d	-	1													RS
	1F 103室 FCU・ロスナイ 1F 101室 FCU・ロスナイ	A-G2RS-1 A-G2RS-1		d		1													RS RS
	予備	A-G2RS-1		T 4	\vdash	1													RS
	2F 廖下1 照明A	A-G2RS-1		С		1													RS
	2F 廊下1 照明B	A-G2RS-1		С	_	1													RS
	2F 回廊1 照明A	A-G2RS-1			-	1													RS
	2F 回廊1 照明B 2F 回廊1 照明C	A-G2RS-1 A-G2RS-1			\vdash	1										-			RS RS
	2F 回廊1 照明D	A-G2RS-1		-		1													RS
	2F x-h1 照明	A-G2RS-1		С		1													RS
	2F 廊下冰外 照明	A-G2RS-1			-	1	_				_					<u> </u>			RS
	2F 208室 FCU ロスナイ 2F 205室 FCU	A-G2RS-1 A-G2RS-1		d	\vdash	1	\vdash		\vdash	\vdash	\vdash		\vdash			-			RS RS
	2F 206室 FCU-0374	A-G2RS-1		d		1										_			RS
	2F 207室 FCU-0374	A-G2RS-1		d		1													RS
	2F 204室 FCU·DJ1	A-G2RS-1		d		1													RS
	2F 203室 FCU ロスナイ	A-G2RS-1		d	-	1										-			RS
	予備	A-G2RS-1 A-G2RS-1				1										-			RS RS
	予備	A-G2RS-1				1													RS
	2F 廊下2 照明A	A-G2RS-1		С		1													RS
	2F 廊下2 照明B	A-G2RS-1		С		1													RS
	2F 便所 照明	A-G2RS-1			-	1			-							-			RS
	2F *-%2 照明A 2F *-%2 照明B	A-G2RS-1 A-G2RS-1			\vdash	1													RS RS
	2F x-x2 照明C	A-G2RS-1			\vdash	1													RS
	2F 便所 換気扇	A-G2RS-1		d		1													RS
	2F 210室 FCU·ロスナイ	A-G2RS-1		d		1													RS
	2F 209室 FCU-0374	A-G2RS-1		d	-	1							_			_			RS
	2F 201室 FCU·ロスナイ	A-G2RS-1 A-G2RS-1		d	\vdash	1							\vdash			-			RS RS
	ILI LULE I UU UAA1	⊔ ∩ Γ K ? _ I	1	ı u	1	1 1		1				ı		1	-		_	1	11/2

令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課			類 総合設備コンサ
1.18-1 -77 -	海			

株式 40.人 - 10.	^{工事名称} 滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	図面No. E 2 8 / 2 9
蘩 総合設備コンサルタント €	^{図面名称} 中央監視制御設備 既存中央管理点入力一覧表 N. S	^{設計日} 2023年3月

設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート		作 オンオフ	表 状態	宗 警報	温度	_	その他	計量	備考
				種別									
	【今回追加ポイント】												
BSPE	助力E LBS PF断	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤(2)	RS				1					取合回路 h
GRPE	動力E TR温度上昇 動力E 低圧地絡	A-C1RS-2 A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤 (2) 空調変圧器盤・開閉器盤 (2)	RS RS				1					取合回路 h 取合回路 h
CBPE	動力E MCBトリップ	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤(2)	RS				1					取合回路 h
IDAPE	動力E TR2次過電流	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤(2)	RS				1					取合回路h
BSPF	動力F LBS PF断	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)	RS				1					取合回路 h
PF	動力F TR温度上昇	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)	RS				1					取合回路 h
RPF	動力F 低圧地絡	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)	RS				1					取合回路 h
CBPF	動力F MCBトリップ	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤(3)	RS				1					取合回路 h
APF	動力F TR2次過電流	A-C1RS-2	空調変圧器盤・開閉器盤 (3)	RS				1					取合回路 h
·													
					-								
					_								
					_								
					_								
					_	_							
					-	\vdash							
					-								
					-								
													_

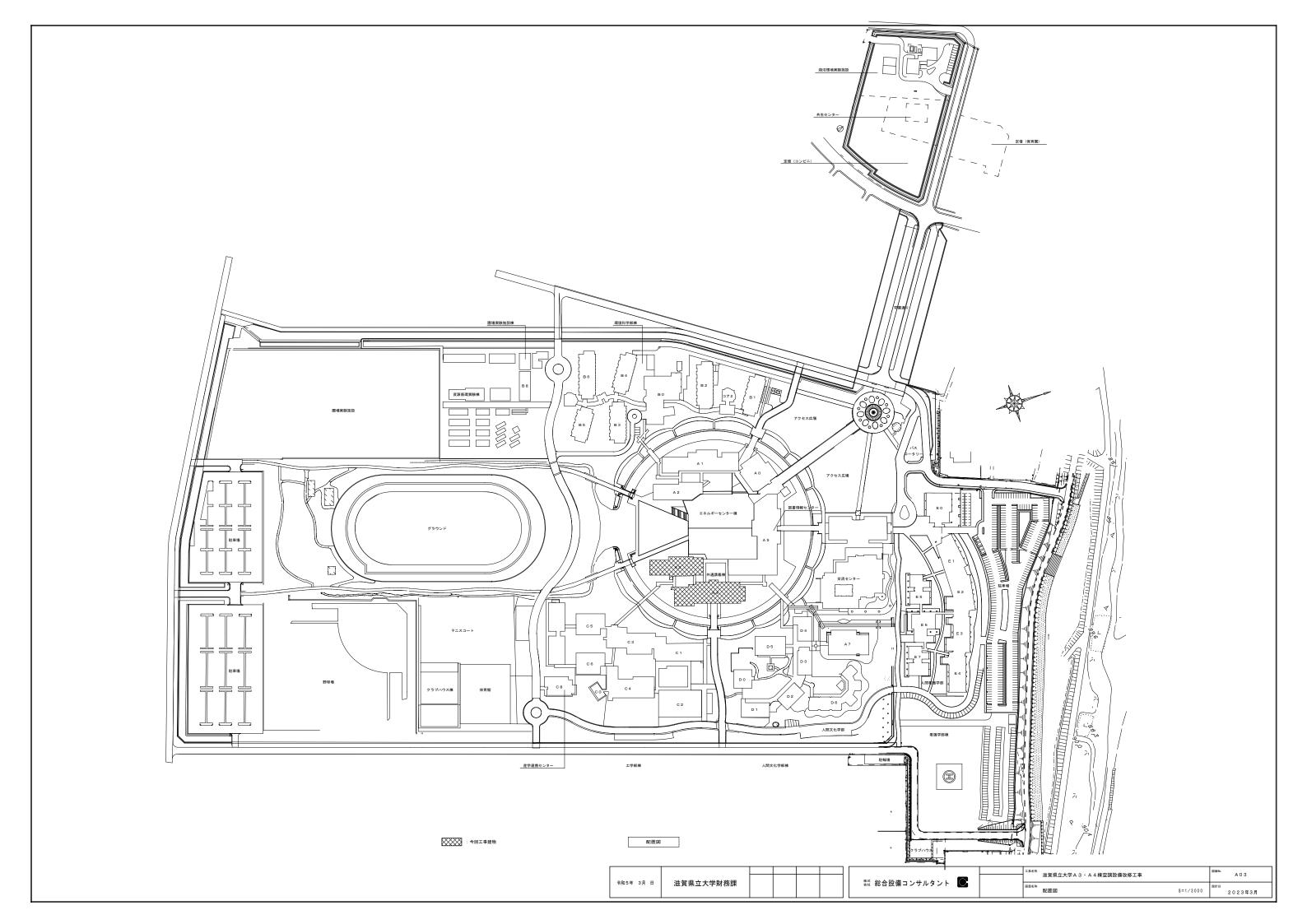
新規中央管理点入出力一覧表

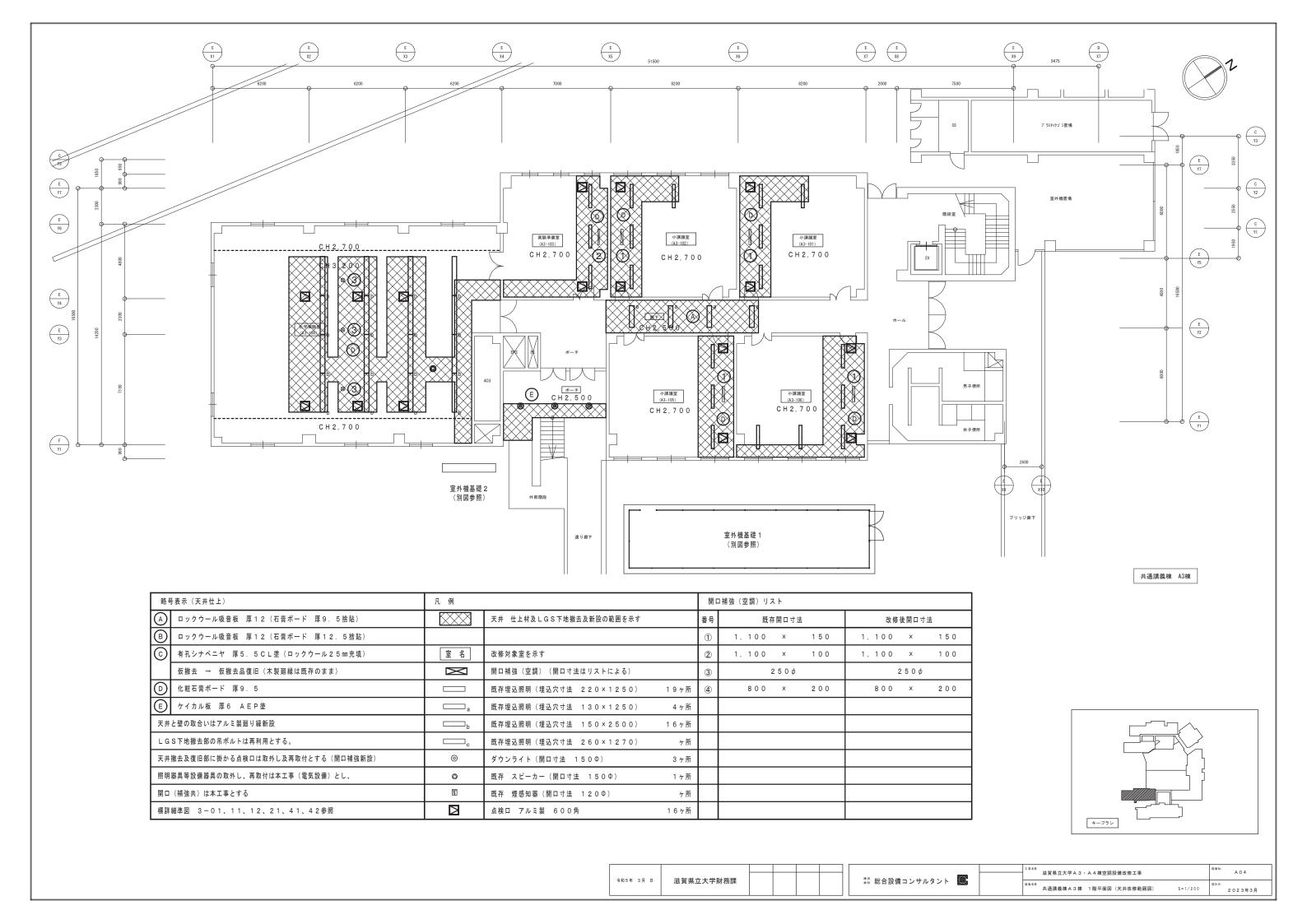
## WA-LIH- > 14 II 5 > 1	工事名称	滋賀県立大学A3	· A 4 棟空調設備改修工事		図面No.	E29/29
葢 総合設備コンサルタント ■	図面名称	中央監視制御設備	新規中央管理点入出力一覧表	N, S	設計日	2023年3月

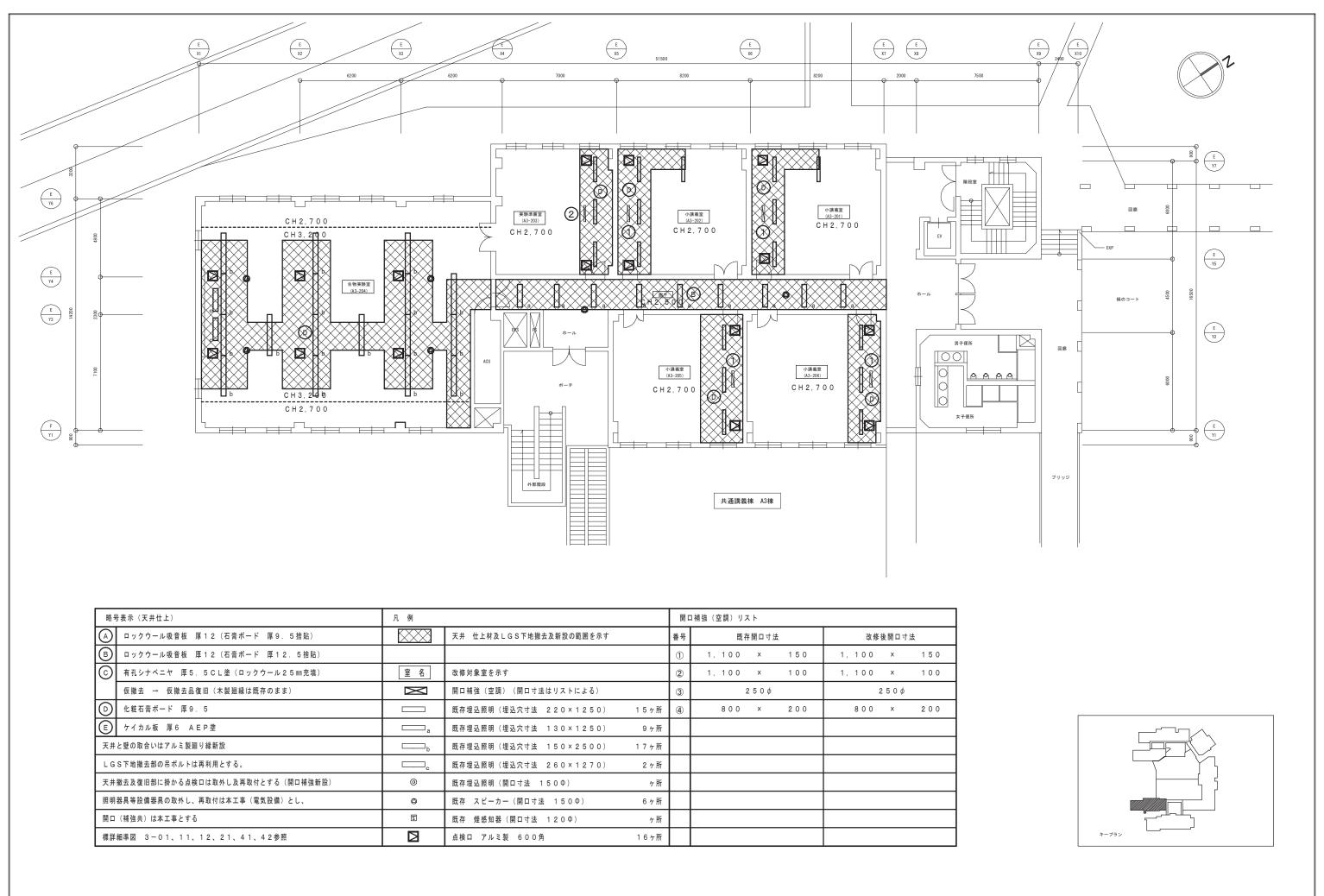
^{令和5年 3月 日} 滋賀県立大学財務課

					0.4 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	**************************************
建築工事特記仕様書	9 建築材料等	建築材料等は、極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。 ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承諾を受けること。		2. 提来の範囲 (1) 乙がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る	34 近隣住民等への説明 35 近隣家屋の調査	請負人は、施工に先立ち地元自治金、近隣住民等に工事施工内容の説明を行うこと。 請負人は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の調査を実施し、工事に起因する 損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等外生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。
工 事 名 称 滋賀県立大学A3棟空調設備改修工事		工事で使用する各種塗料類、接着剤類、その他の材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。		変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。 (2)以下の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。		また、請負人自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。
工事場所 滋賀県彦根市八阪町 2 5 0 0 敷地面積 320.814 ㎡		あわせて、その他室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策として、その原因となる物質の含有量が低濃度で ある材料を極力選定する。(標仕を参考とすること。) (1.4.1)		①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。 ②契約書第18条にもとづき条件変更が確認された後の提案。	36 ユニハ・ーサルテ・サ・イン 37 別途工事との	バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。 請負人は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工
用 逾 規 制 第1種低層 第2種低層 第1種中高層 第2種中高層 第1種住居 第2種住居		さらに、環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。 (1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品		3. VE提案書の提出	連絡協議	上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて 協議を行い連絡を密にすること。
世帯 準住居 近隣商業 商業 準工業 工業専用 指定なし 防 火 規 制 防火地域 準防火地域 法22条指定区域 指定なし		(2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料		(1) 乙はVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(様式1~4) に記載し、甲に提出しなければならない。	38 住宅性能評価	
変善 その 他 の 規 制 風致地区 自然公園 宅造規制区域 市街化区域 市街化調整区域		(3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品 (参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf) (1.4.1)		5. VE提案の採否等	00 II U II III III	E & .
工事期間·限 日間 令和 年 月 日 限 MH 工 事 項 目		工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとすること。 (1.4.1)		(1) 甲は、VE提案の採否について、VE提案の受領後14日以内に書面により通知するものとする。 ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。	③ 暴力団員等による	滋賀県の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について(「不当介入に関する通報
1 A3棟 ①仮設足場工事 ②天井ボード撤去張替え工事 ③天井点検口設置工事		製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を、監督員に提出すること。		(2)提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。 (3)甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第19条の2の規定に基づくものとする。	不当介入の排除	制度」の徹底について)
外構 ①室外機基礎および目隠しフェンス設置工事 ④植栽散去工事	① 材料の検査に伴う	(1.4.2) 試験は、原則として公的試験場で行うものとし、その場所の決定にあたっては監督職員の承諾を受けること。		(4) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更		1 請負者 (請負人または受注者) は、暴力団員等 (暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発注 工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。) による不当介入(不当な要求または業務の
	山	①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比および提案理由。		を行うものとする。 (5)前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5		妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に 通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
		②VE提案の実施方法に関する事項。(当該提案に係る施工条件等を含む) ③VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠。		に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。 (6) VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合において、甲		連載を行うこともに、核量工必要な協力を行うものとする。2 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)に
		④甲が別途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。		がVE提案に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。		より所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。
		⑤工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項。 ⑥その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項。		(7) VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、VE管理費については原則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由		また、請負者は、以上のことについて、下請負人に対して十分に指導を行うものとする。 3 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督
		(2) 甲は、提出されたVE提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることができる。 (3) 乙は、VE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに提出		(不可抗力や、予測することが不可能な事由等)により、工事の続行が不可能、または著しく工事低		が
		できるものとする。		減額が減少した場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。 6. V E提案の保護	40 環境配慮指針	公共建築に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出しなければならない。
		(4) VE提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。 4. VE提案の審査		VE提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事におい		
		VE提案の審査は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。		て無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限 りではない。	N 1 監督員事務所	監督員事務所の規模 (・ 1 0 ㎡ ・ 2 0 ㎡ ・ 3 5 ㎡ ・ 6 5 ㎡ ・ 1 0 0 ㎡) 程度 (2.3.1)
	(1) 特殊な材料の工法 (12) 各種検査合格書等	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各 1 部を提		7. 責任の所在		備 品 机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー
		出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。		発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った請負人 の責任が否定されるものではない。	を ② 仮 囲 い	請負人加入電話の子機、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。 図示によるガードフェンス等、他鉄板塀、金網塀、板塀等の仮設計画を立案し、監督職員と協議すること。
	13 設備工事との取合	各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、 (1.3.11) 同壁下地の開口補強は建築工事とする。	00 40 0 57 77 + 47 - 88		③ 工 事 用 水 4 工 事 用 電 力	構内既存の施設
	(4) 下請け業者の選定		28 総合評価方式に関 する特記事項	1. 競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保 請負人は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書(以下、「技術提案書」と	H 5 * * ±	必要に応じて室内外の壁、天井、床等シートで養生する。
	① 公害対策			いう。)に基づき、工事を履行しなければならない。 2. 技術提案内容の施工計画書への反映	山山 ⑤ 足場	溶接作業を行う場所については、防災シートを使用し、防火対策を講ずる。 足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(16) 産業廃棄物の処理	工事竣工まで万全の対策を講ずること。 (1.3.8) 請負人は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して		施工計画書の取り扱いは標仕のとおりであるが、請負人は技術提案書の内容を満足する施工計画書を監督職	मण	の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用
一 による。(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「建築工事監理指針 最新版」および「建築改修工事監理指針		承諾を受けること。		員に提出しなければならない。なお、施工計画書において、技術提案書の内容を一覧できる様式に整理する こと。また、提案事項ごとに具体的な実施方法、履行の確認方法および確認時期について、監督職員の承諾		時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。 (2.2.4)
※計 最新版」を参考とする。) H 2 特 記 仕 様 1 項目は番号に ◯ 印のついたものを適用する。		(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の 再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。		を得るとともにその内容をあわせて施工計画書に記載すること。		
2 特記事項は ◯ 印のついたものを適用する。		(2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守		3. 配置技術者等 請負人は、技術提案書に記載した配置予定技術者を当該工事の主任技術者または監理技術者あるいは現場代		
→ ○ 印のない場合は ※ 印のあるものを適用する。 → ○ 印と ⑩ 印のある場合はともに適用する。		し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用〔促進〕計画書および 同実施書を作成し速やかに報告のこと。		理人として配置しなければならない。 4. 履行の確認方法		
3 特記事項に記載の () 内表示番号は、標仕の当該項目、当該表、当該図を示す。 4 電気設備工事特記仕様書と重複する項目は、電気設備工事特記仕様書による。		(3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第12条の3によるマニフェストシス		(1) 技術提案の履行確認のとりまとめについては、「技術提案の履行確認書(以下、「履行確認書」とい	① 埋戻しおよび盛土	種 別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 不足分は良質土搬入する。 (3.2.3)
* 地名欧洲上サ行記は体音と主張する場合は、地名欧洲上サ行記は体音による。		テムにより的確に実施すること。		う。)」によるものとする。 (2) 工事着手前に受注者において「技術提案内容」欄に必要事項を記入し、監督職員の確認を得るととも	(a) _	
平 パ ロ 将 ル サ 児	17 発生材の処理 (18) 保険等	引渡しを要するもの: 請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。		に、履行確認方法について監督職員と協議の上決定し、原案として施工計画書と併せて提出するもの とする。なお、履行確認方法については、技術提案書においてあらかじめ示した方法によるものとす	② 建設発生土の処理	・構内指示場所敷きならし ・構外指示場所敷きならし ※ 構外搬出適切処理 (3.2.5)
図面 薬、標性により完全に施工する。 上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。 (1.1.1)	9 安全対策	※ 工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等の公害が発生しないよう留意し、工事全般に万全の対		る 。	3 山 留 め	·自立銅矢板 切梁腹起銅矢板 親杭横矢板 (引抜工法) (3.3.1)
② 完成 図 完成図の種類、記入内容および様式は標性により作成し、原図、CADデータおよび焼付製本(縮小版A4		項貝を配置することもに、		(3) 請負人は完了時に「履行確認の概要」、「各【対策】の履行状況」、「技術提案履行率」、「減点係 数」および「技術提案加算点」を記入し、「減点数」を計算したうえ、監督職員へ提出するものとす	H	
サイズ) 部を提出するものとする。なお、標仕の表1.7.1の完成図に本特記仕様書を加えたものとする。 (1.7.1,1.7.2)		別添仮設計画図・配置図等により示された仮設計画を参考に、請負人にて構造、施工方法について十分 検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。		ప .	##	
3 保全に関する資料 保全に関する資料は機仕により作成し、監督員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを	20 総括安全衛生	労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理義務者には、(※建築工事 ・電気設備工事		(4) 計算結果については、受発注者の両者で確認を行うこととする。 (5) 履行の確認にあたり必要があると認められるときは、監督職員はその理由を受注者に通知して、工事		
提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。 (1.7.3)	管 理 義 務 者 ②1) シンナー等の保管	・ 機械設備工事) の請負人を指名する。 シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管		目的物を最小限度破壊して確認することができる。この場合の確認または復旧に要する費用は、請負 人の負担とする。		
	② 火気の管理	数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。 喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。		5. 再度の施工	1 試験掘削	杭の本数 ※ 最初の 1本 ・ 図示 カ所 (4.2.2)
(EM) 区分 分類·規格 撮影箇所 部数 備 考	② 過積載防止の措置			(1)請負人は、前項の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、直ちに再度施工または手直しの計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、発注者が再度の施工	2 試験杭	支持力の算定方法 ※ 平成13年7月2日国土交通省告示1113号による。 杭の本数 ※ 最初の1本 ・ 図示 カ所 ・ 寸法 m (4.2.2)
着 工 前 サービス版 ・ ・ 9 ・ 30 1 状況によりつなぎ写真 工 事 中 サービス版 1 必要に応じ撮影する	② 騒音振動の防止	こと。 請負人は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程(平成13年国土交通省告示第487号)」に基づき		が適当でないと判断した場合は、この限りではない。 (2) 請負人は、前項の計画書の内容について監督職員の承諾が得られたならば直ちに実施し、再度監督職	3 载荷試験	・杭載荷試験 カ所 長期設計支持力 kN/本 (4.2.3)
完成時 サービス版 ・・・9・12 3 完了届提出用		指定された建設機械('97ラベル)を使用すること。		員の確認を受けなければならない。	米	・地盤載荷試験 力所 長期設計支持力 kN/本 (4.2.4)
定期提出 サービス版 ※ 3 ・ 6 ・ 9 1 工事月報用		請負人は、工事請負代金500万円以上の工事について、工事実積情報サービス(CORINS)入力 システムに基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後、(財)日本建設情報総合センター		6. 不履行に対する措置 技術提案書に記載された内容について、請負人の責により入札時の提案内容が履行されない場合は、次式	4 既製コンクリート杭 H	杭 の 種 類 規 格 ・ 材 質 ※適心力高強度プレストレストコンクリート杭 ※JIS A5373 (・ A種 ・ B種 ・ C種)
サービス版 ・ ・ 10 ・ 20 2 主として内観 竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をJPEGと		(JACIC)に提出するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出すること。 なお、工事請負代金が500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時の登録のみでよい。		により求めた点数を工事成績評定 (法令遵守等) において減点することとする。 なお、履行確認の対象とするのは、技術提案 (簡易な能工計画) および果産材の使用の有無とする。	Illel	建築基準法の認定品
し、FD、MO、またはCD-ROMにて提出すること。		提出の期限は以下のとおりである。		●各着目点の不履行による減点数= α × β × 3	101	E 40720 21 de 44 4
エ事写真の撮影要領は、「エ事写真の撮り方・建築編」(圏土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。 完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。 エ事写真キャビネ版はアルバム台紙に、サービス版		(1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日(土、日、祝日、年末年始を除く)以内とする。 (2) 完了時登録データの提出期限は、工事完了後10日(土、日、祝日、年末年始を除く)以内とする。		α:減点係数(表1のとおり)β:受注者の各着目点の加算点数(ただし、技術提案において加算点評価されなかった内容につい		長期設計支持力 k N / 本 (4.3.2 施工法 ※ セメントミルク工法 (4.3.3~5
は工事写真帳に貼り付けて提出すること。 (5)技術検査 工事施工途中において、適宜中間技術検査を行う。 (1.6.2)		(3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に 変更データを提出しなければならない。		てはβ=0.2とする。) ●工事成績評定における減点数=各着目点の不履行による減点数の総和		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ※ 1.5 m m
⑥ 現 場 代 理 人 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。	26 低入札価格調査	(1)配置技術者の増員		● 工事政績評定における減品数= 谷者自品の小履行による減品数の総和 ※「各着目点」は発注者が設定する着目点をいう。また、「県産材の使用」については評価項目単		支持地盤への根入深さ ※構造図による ・ 打込み工法
契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事における現場代理 人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する運用基準(滋賀県	制度に基づく措置	建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した 場合において、監理(主任)技術者とは別に、入札公告に定める監理(主任)技術者の要件と同一の		位とする。 表1:減点係数 (α)		施工法の種類: 打込杭の推定支持力の算定方法 ※構造特記による
土木交通部)」による。 ①現場代理人の常駐を要しない期間		要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置しなければならない。 なお、当該技術者は、監理(主任)技術者を補助し、監理(主任)技術者と同様の職務を行うもの		履行率 減点係数(α)		• 特定埋込杭工法
・ 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人の工事現場		とする。		50%未満 1. O 50%以上 75%未満 0. 6		施工法の種類: ※構造特記による
への常駐は要しない。		また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を監理 (主任)技術者 と同様の方法により届け出ること。		75以上 90%未満 0.3 90%以上 100%未満 0.1		杭先端の形状 ・ 開放型 ・ 半開放型 ※ 閉そく型 (・ ペンシル型 ※ 平坦型) 杭頭の処理 ※ ダイアモンドカッター ・ 油圧カッター ・ 手ばつり (4.3.7
が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。		(2)施工体制台帳および施工計画書にかかる内容の説明 建設工事等入札執行委領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した		V3384 13V3/N/M		杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以内 · mm以内
②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていな		場合において、請負人は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその内容の		<加算点評価の対象となった現場代理人の従事> 技術提案書に記載した現場代理人が、工期内で途中交代した場合、全体工期に対して従		ずれが上記を超えた場合は、監督員の指示により補強を行うこと。 杭の継手 ※アーク溶接継手 ・無溶接継手 (工法:) (4.3.6
い期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 現場代理人は、請負人との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。		説明を求められたときは、応じなければならない。 (3)材料、下請負代金等の支払い状況等の説明		事していた期間により履行率を求め、減点係数 (α) を設定し減点する。		杭周固定液 ・使用する ・使用しない
⑦ 技 術 管 理 請負人は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。		建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した		<加算点評価の対象とならなかった現場代理人の従事> 減点の対象とはしない。	5 鋼 杭	工法 ・ 打込み工法 (4.4.3.4
① 技術者の専任を要しない期間・ 講負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理		場合において、毎月の下請負代金の支払い状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出すること。 また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費(以下「経費等」という。)		※県産材の使用における減点係数は、以下のとおりとする。 <加算点評価の対象となった資材>		施工法の種類: 打込杭の推定支持力の算定方法 ※構造特記による
技術者の工事現場への専任は要しない。 (注) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等		の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料 ならびに今後必要とする経費等とこれにかかる資金の調達方法の資料を提示するとともに、それらの		完了時の使用数量に占める県産材使用量が50%を下回った場合にのみ、減点係数 (α)		• 特定埋込杭工法
が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。		内容について説明を求められた場合は、応じなければならない。		を「1.0」とし減点する。ただし、提案のあった県産材使用量以上の利用が合った場合 や真にやむを得ない理由と認められる場合はこの限りでない。		※構造特記による 鋼杭の種類 ・鋼管抗(記号:) ・ H 形鋼杭(記号:) (4.4.2
なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ② 滋賀県建設工事請負契約約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日		(4)工事コスト調査への協力 請負人は、建設工事等人札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で		<加算点評価の対象とならなかった資材>		杭先端の形状 ※ 開放型 ・
から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。		落札した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。		減点の対象とはしない。 7. 契約変更の取り扱い		杭の継手 ※JIS A 5525 による 杭頭の処理
なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日(契約 約款第31条第6項に該当するものを含む)とする。		(概要は県ネームページ:http://www.pref.shiga.jp/h/d-kanri/kensetsu_low/index.htmlを参照のこと) ・元請者は、下請者の協力を得て、間接工事費等諸経費動向調査票(建築工事においては共通費実態調査票)		(1) 請負人が作成する施工計画書のうち、技術提案に係る資料については、発注者が確認するが、請負代 金額の変更は行わない。	6 場所打ちコンクリート杭	※ 構造特記による
また、日程の都合上、契約工期滿了後に検査が行われる場合は、契約工期滿了後の監理技術者等の工事 現場への専任を要しない。		の作成を行い、完了届提出後1週間以内に発注者に提出するものとする。なお、調査票等については、 別途、監督職員から指示するものとする。		(2) 不可抗力(地震・風水害等)によって、地形が変形し数量に変更があった場合は、発注者と請負人が		鉄筋 帯筋組立の形及び割付け ※標仕(各部配筋参考図2.2④丸形(ロ))による ・図示 (4.5.3
8 技能 士 各工種の作業については、極力技能士の資格を有する者に作業をあたらせること。 (1.5.2)		・請負人は、間接工事費等諸経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に		協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。 (3) 現場条件、関係機関との協議、社会的条件(地元対応等)によって、新たな対策や施工体制の変更が		最小かぶり厚さ ※100mm · mm コンクリート種別 · A種 · B種
また、請負人は、〇印のついた工事種別および技能検定の職種について、職業能力開発促進法による一級 技能士または単一等級の資格を有する者を、1職種1名以上該当工事作業中工事現場(資材製作加工の場合は	27 契約後VE方式に	応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもヒアリングに参加させるものとする。 1. 定義		生じた場合には、発注者と請負人の協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。		コンクリートの設計基準強度 N / mm2 掘削工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ (4.5.4
製作所) に常勤させるとともに、作業に先立ち事前にその氏名等を監督職員に届け出なければならない。 ・ 仮設工事(とび) ・ 鉄筋工事(鉄筋) ・ コンクリート工事(・型枠 コンツート圧送)	関する特記事項	VE提案とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下さ	② 施工体制点検			構造体コンクリート強度と供試体の強度の差を考慮した割増し ・行う (N/mm2) ※行わない
 鉄骨工事(構造物鉄工) ・ コンクリートプロック/ALCパネル工事(・CB積・ALCn゚ネル施工) 		せることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、請負人 (以下「乙」という。) が発注者 (以下「甲」という。) に行う提案のことをいう。	30 設計 G L 31 揮発性有機化合物	※ 図示 ・ 監督職員が現場にて決定する。 平成18年国土交通省告示第1130号に基づく「評価方法基準 第5 6-3 (3)」に定められた方法によること。		杭の精度 水平方向の位置ずれ ※100mm以内 - mm以内
・防水工事(・ アスアラル防水・ 合成ゴムシー防水・ かルシゴム系奎護防水・ アクリゴム系奎護防水・ セメント系防水・ シーリヴ) ・石工事(・石張り ・ 石積み ・ 石材加工) ・ タイル工事(タイル後り) ・ 木工事(建築大工)			の室内濃度測定	(1.5.9)	7 杭頭補強	補強の方法 · A 形 · B 形 ※ 図 示 (別図1.1
・ 屋根及びとい工事(・屋根金属薄板葺きおよびとい設置 ・ かわらぶき ・ 石綿スレート葺き)				測定箇所: (監督職員の指示により決定) 測定化学物質 ・ ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ キシレン ・ エテルベンゼン ・ ステレン ・ パラジウロロベンゼン	8 砕 石 9 床下防湿層	※ RC-40 (4.6.2 ポリエチレン系シート数 厚さ 0.15mm以上 重ね・のみ込み寸法 250mm以上 (4.6.2)、(4.6.5
・金属工事(鋼製下地) ・左宮工事(・金こて仕上、毛ルタム塗り,吹付・断熱硬質ウハタンフォーム吹付) ・ 遠具工事(・サッシ施工・ガラス加工取付・木製建具加工取付・自動ドア取付) ・ 塗装工事(塗装)			③ 不注無線 E 小 ☆ №	請負人は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、	10 土間下断熱材	
 カーテンウォール工事(金属製カーテンウォール施工) 内装工事(・表具・壁装・畳製作施工・プラステック系床施工・カーペット系床施工・カーテン施工・ポート゚仕上) 			_	不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。	の 確 認	
· 內表一年(· 表表 · 並表 · 並表下地上 · / フォスアンタル末地上 · ル゙ープメル上 · 。 *゚ト և上) - 排水工事(配管) · 植栽工事(植栽) · 外壁改修工事(樹脂接着剂注入施工)			③③ 取扱説明書の作成	竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。 (1.7.3) (部数、詳細については、監督職員の指示による。)	12 地 盤 改 良	
			1	1		工事名符 図面的
		令和5年 3月 日	滋賀県立大学則	オ務課 常会設備コンサルタント		送賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事 A01
		имон од п	/44 只示业八子只	会社 応日 政 珊 コンリルダント		^{限声名称} 建築工事特記仕様書 (1) NOSCALE 2023年3月

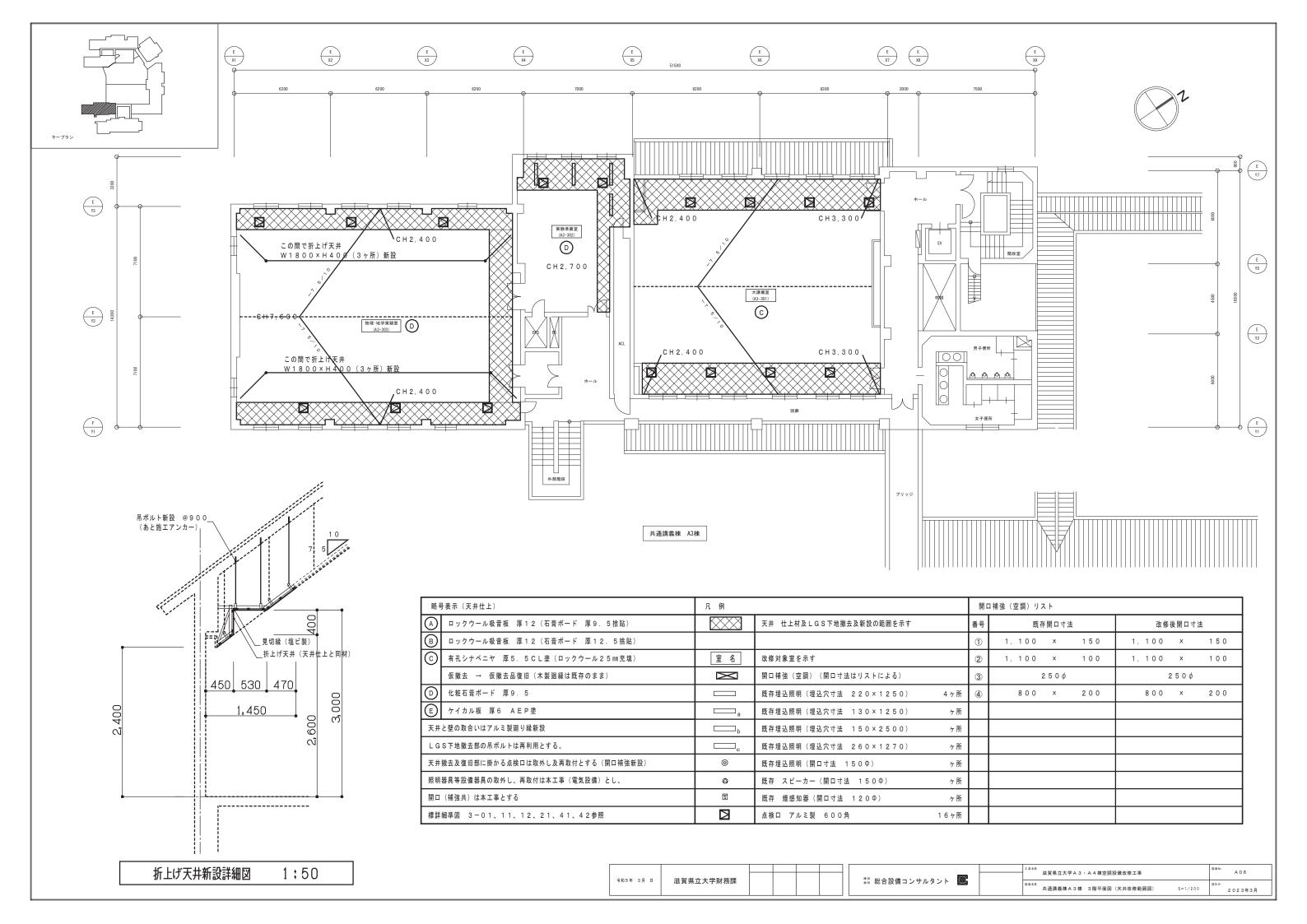
					- 00 -	± 16€ 100
⑤ ①鉄筋の種類	※ 異形鉄筋(JIS G 3 1 1 2) ※ SD 2 9 5 A D10 ○D13 D16 D19 SD 3 4 5 D19 D22 D25 D29	(1) 到 打放し仕上げ	mm (6.9.2) (8.9.3) (6.9.3) (6.9.3) 塗	木部 ※ A種(透明塗料の場合はB種) ・ B種 (18.2.2)、(表18.2.1) 鉄面 (鉄骨工率は除く) ・ A種 ・ B種 ※ C種 (18.2.3)、(表18.2.2) 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.2.4)、(表18.2.3)	1路床	遮 断 層 ※ 設ける (・川砂・山砂)・設けない (22.2.2), (22.2.3) C B R 試験 ※ 行わない ・ 行う 時間め度試験 ※ 行わない ・ 行う 種 別 ※ 再生9579+7> RO-40 ・ グラフシャラン (-40 (22.3.2), (22.3.3)
鉄	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1) コンケリートの塩分測定 基礎及び各階躯体打設ごと 12 軽量コンケリート 種 別 ※ 1種 ・ 2種	(6.5.4).(表6.10.1)	モルタル・ブラスター面 ・ A種 ※ B種 (18.2.5)、(表18.2.4) コンクリート・A L C パネル面 ・ A種 ※ B種 (18.2.6)、(表18.2.5) コンクリート・押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 (18.2.6)、(表18.2.6)	2 路 盤 3 アスファルト舗装	厚さ: (mm) ・73,77か 舗装 材質: ※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.2~4)
エ ③ 加工および組立	直接基礎の配筋 (5.3.1~4.7) ○ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図1.1) による	(Xx1)	(6.11.1) (6.1.4) (6.11.3) 重	せっこうボード面 ・ A種 ※ B種 (表18.2.7) 装 (縦目処理工法の場合はA種) エ		車道部の基層 % なし 厚さ (mm) 表層 ※ 50 あり 厚さ (mm) 表層 ※ 30 基層 ※ 50 シールコート ※ 行わない 行う (22.4.5)
事	基礎接合部の精強配筋 ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図1.2) による 基礎果主筋の継手、定着及び余長	7 ₁	2 錆止め塗料塗り	グリーン購入法に基づく無鉛利舗止め涂装を採用しようとする場合は 車	4 コンクリート舗装	- 混合物の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う - 締固め度及び舗装厚さの切取り試験 ・ 行わない ※ 行う (ただし、200㎡未満は省略する。) (22.5.2),(22.5.3)
	・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図1.3) による 基礎梁のあばら筋	材質 品名又は使用箇所 規格等 SS400 樂台		銅止め塗料塗り 鉄 面 ※見掛り4種、見隠れ5種 (18.3.3), (表18.3.3) 亜鉛メッキ面 ※ 銅製建具Α種、その他6種	5 カラー舗装	舗装の種類 加熱形混合物 樹脂系混合物 (常温形) ・ニート工法 ・塗布工法 (22.6.2) 車道部の基層 ・あり ・なし 加熱形混合物に添加する着色寿材又は自然石: (22.6.3)
		骨	③ - 般 塗 料		6 透水性7スファルト舗装7 排水性7スファルト舗装	Macain/ac 1 70% Copenie Cope
	帯筋組立の形及び割付け - 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図2.2) による 柱の打増し補強	工 2 エンドタブの処理 ※切除する しない 適用箇所	(3) - 版 坐 种	・ 音放側面側のインド(SUP) 情による (18.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5) (19.4.2~5)	8 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.9.2),(22.9.3) 種 類 ※ 普通平板 ・カラー平板 ・洗出平板 ・ 擬石平板 寸法(mm) ※ 300角 ・ 厚さ(mm) ※ 目地材 ※ 砂 ・モルタル
	・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標性 (各部配筋参考図2.3) による 大梁主筋の継手、定着及び余長	・図示による ・施工箇所 (仕上げ等は標準仕様書による。		- 耐候性塗料塗り (DP) 標任による 鉄面 上塗りの等級: (18.7.2) 亜鉛メッキ面 上塗りの等級: (18.7.3)		・ インターロッキングブロック舗装 (22.9.3) 種 類 ※ 標準プロック・ 透水性プロック・ 誘導、注意喚起用プロック・
		3 耐火被覆 種別 オリ・エ法 ・ラス張りモルタル ・コールタル		コンクリート面、押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種 (18.7.4) ・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) 標仕による (18.8.2~5)		厚さ (mm) 車道部 ※ 8 0 ・ 歩道部 ※ 6 0 ・ ・ 舗石舗装 基層の種類 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 (22.9.2)
	梁の打増し補強 ・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図3.3) による	- 耐火材吹付け ・ロックウール (・湿式 ・ 半進式 ・ 乾 ・ 耐火板 ・ 成形が耐火被機材	5. (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	() 合成機能エマルションペイント塗り (EP) 標性による (18.9.2)	9 路面表示用塗料	種類 ※ 小舗石(花こう岩) 厚さ(mm) (22.9.3) 品質 JIS K 5665による ※3種1号・ 色・
	小梁主筋の継手、定着及び条長 ・ 樹造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図3.4)による 片持梁主筋の継手、定着及び余長	4 高力ポルト ・ JIS形高カポルト (2種F10T) ※トルシア形高カポルト (2種S10T)		・オイルステイン塗り (OS) 標性による (18.12.2) ・木材保護塗料塗り (WP) 標性による (18.13.2)	11 緑 石 等	寸法 幅(mm) ※ 150 厚さ(mm) ※1.0 施工 ※ 溶融式・ 形状寸法 ・ 図示 耐力上支障のない箇所については、極力下氷汚泥溶融スラグ混入製品を使用すること
	・別図による 構造配筋標準図による ※ 標任 (各部配筋参考図3.5) による 壁の基準配筋	・溶験亜鉛めっき高力ポルイ (1種F8T) 5 溶接部の検査 完全溶込み部は第二名機関により超音波探傷試験を行う。	4 特 殊 塗 料	- マスチック塗材塗り - A種 - B種 (18.14.2) - アクリル樹脂エマルジョンペイント塗(AEP) JIS規格品	12 砂 利 敷	形状寸法 · 國示 (22.11.2)
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図4.1)による 壁の継手及び定着 ・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図4.2)による	6 鉄銅面の錆止め 塗装 18.5「焼止め塗料塗り」による。	① せっこうボード	せっこうボード 規格名称 種 類 記 号 厚さ(mm)		
	壁の交差部及び端部の配筋 ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図4.3) による 壁の閉口部補強	耐火被運材の接着する面も蛸止め塗装を行う。 ※DP塗装の場合は標準仕様書による /溶融亜鉛メッキ標準仕様書による	内	せっこうホ´-ド製品		
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図4.4)による 壁の打増し補強	7 アンカーボルト の保持及び埋込 材質・ SS400 - B種 (軽量鉄骨造) ・C種	装	・強化せっこうボード (88-F 12.5・15.0 88-1 25・7 88-1 (12.5・15.0 88-1	1. 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない
		・ケミカルアンカー標準仕様書による 8 鋼材底均しメル	工	・化粧せっこうポード - 9.5・12.5 機維強化セメント板	2. 植栽基盤の整備	(23.2,2)(23.2,4) 植栽 工法 有効土層の厚さ (cm) 整備範囲 土壌改良材
	スラブ筋の定義及び受け筋 ・ 別図による	女ル 工法 ※A種(無収縮モルタル) 材料 標準仕録書による。		n'-ティウルボード繊維板 · · · RS・VS · DV -D0 - DC · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・樹木 ※A種 樹高12m以上 ・業張り部分 ・適用する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図5.3)による 片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋	9 施工管理技術者 ※適用する ・しない		岩綿吸音板 ①フラット [PR、cDR(着色板)] ②12 屋 せっこうボードの目地処理: ②継目処理工法 ・目透し工法 ・突付け工法 操		・ C種 樹高/m以上~12m未満 ・ D種 機高/m以上~7m未満
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図5.4)による スラブ開口部補強 ・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図5.5)による	1. 一般事項		11 TABLES TO A STATE OF THE STA		(※60 - 80) 樹高3m未満 (※50 - 60)
	出隅及び人隅師の補強配筋 - 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図5.6) による スラブの打破ぎ補強配筋等	14 1 エ 法 あと施工アンカーの引抜き試験: ・行う ・行わない 表面処理方法 種 別 施工箇所	20 1 74-7742707-	フリーアクセスフロア 塩ビ製 頻板製 木質製 ・ 横 法 ※ パネル構法 ・ 溝構法 寸 法 ※ 500 (mm)×500 (mm) ・ 仕上り高さ: (mm)		- 芝、始蔵 ※B種 ※20 - 植栽部分 ・適用する - 適用しない
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図5.7)による 段差のあるスラブの補強配筋	立 ・ A種 ・ D種 ・ D種 ・ 屋外階段各部 ・ 屋上都各手 ・ 電気亜鉛/yキ ・ D種 ・ E種 ・ F種	手指 	積載荷重: (t / ml) 適用地震時水平力 - 1.0G - 0.6G スローブ、6'-9'-、および3セントの取付対応 ※ 製造所の標準仕様 ・ 図示表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による		
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 様仕(各部配筋参考図5.8)による 片持スラブ形階段の基準配筋 ・別図による ・構造配筋標準図による ※ 様性(各部配筋参考図6.1)による	工 4. 轻量飲骨天井下地	2 可動間仕切 (バーティション)	構造形式 - スウッド式 - スウッドバネル式 - バネル式 - バネル部総厚さ: (mm) (20.2.3) 表面材種 ※ 鋼板(厚さ: ※ O . 6 - O . 8)	3. 芝	種類 (23.4.2) ※コウライシバ・ノシバ
	二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ・ 別図による ・ 構造配筋標準図による ※ 標仕 (各部配筋参考図6.2) による 梁實通孔の配筋	事 3 材料 種類: ※標準仕様書表14.4.1による・	ト 3 移 動 間 仕 切	仕上げ材 ※ メラミン樹脂を板またはアクリル樹脂焼き付け - 品質は、JIS A 6512によるものとする。 返畜性能 - 般タイプ (20.2.4)		芝張(りの工法 平地 ※自地張り ・ベル張り 法面 ・自地張り ※大作張り
	・別図による ・構造配筋標準図による ※ 標仕(各部配筋参考図7.1)による 梁貫通孔の補強形式	4 形状及び寸法 屋外の野縁受け、吊りボルイ・インサートの間隔: - ≒8900mm · 屋外の野縁の間隔 ※標準仕様書表14.4.2による・	及	- 遮着タイプ(JIS A 6512の遮音試験) 年拠し、遭過損失として36dB以上のもの) 表面 材 ※ 頻板 - 素面仕上げ: ・焼付塗装 - 壁紙張り エ 法 : 法 ※ 接着工法 - 埋込工法 (20.2.6)	4. 新植、移植樹木、 芝等の枯保証	(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7) 新植樹木 (芝蕉り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間
			7	外部材質 ステンレスSUS304製 幅 (mm) ・30 ※35 ・40 内部材質 ステンレス製(ビニルタイヤまたはゴム練込み) 幅 (mm) ・30 ※35 ・40	7.0	※引達人の日から1年 ・ 無し 移植樹木の枯積処置を行う期間 ※引達人の日から1年 ・ 無し
	90°未満の折曲げの内径直径 使用箇所 : あばら筋、帯筋、スパイラル筋		の 5 黒 板	形 状 両端フラットエンド ※ あり (※ ビニル製 ・ステンレス製) ・なし		
	り16以下 ※ 3d以上 ・ 119~25 ※ 4d以上 ・ 使用箇所 : 上記以外の数筋		他 6 ホワイトボード			
	D16以下 ※ 4d以上(SD390の場合は5d以上) - D19~25 ※ 6d以上 - D29~38 8d以上 -	15 1 モルタル塗り床目地 2 セルフレベリング 種 類・ せっこう系 ・セメント系 材 塗 り 能 工 箇 所	(水)/1/ . 8 衝突防止表示	種類 ※ スポンジンート(アルミ枠)・ 色 彩: ※ 図示による (市販品 ※ステンレス製 径 ※ 約30mm ・ mm/・ 両面 ・ 片面) (20.2.10) 形 式 ・ 面付型 ・ 持出型 ・ 点字型 (20.2.10)		
④ 鉄 筋 の 継 手	② 重ね継手 ・機械式継手 ・ 溶接継手 (5.3.4)	左 3 防水モルタル塗り 施 エ 箇 所 ・ 地下タンウ基礎	(表15.5.1) 10 ブラインド	材 質 ・ アクリル製 ・ ステンレス製 ・ アルミ製 (20.2.12)		
	- ガス圧接継手 SD345 (隆 19 mm 以上) D19~D25、SD390 D29~D32 主防及び耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ	種 類 呼 び名 仕上げの形状 薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	施工箇所・備考	形式 開閉方式 スラットの材質 スラットの成型幅 ※模型 ※ ギヤ式 ・コード式 ※ アルミ合金製 ※ 25 ・接棒核式 電動式 ・ ・	 解体工事に関する 特記事項 	1. 解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤面下も含め分別 体撤去すること。(地盤面下は捨てコンウリートを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。)
	 ・図示 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は50d) と標仕表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ・図示 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は50d) と標仕表5.3.4の重ね継手の長さのうち大きい値 	事 ・外装薄塗材E	11 ロールスクリーン	緩型 1 末操作コード 2 末操作コード アルミ クロス 80 100 昇降アープの材質: ※ ポリエステル機種 ※ 図示による (20.2.13)		廃材処分の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃3 物処理法に基づき契約を締結のこと。
	※ 超音波探傷試験による検査 ・ 引張試験による検査 (5.4.9)	・ 防水形外装薄塗材E ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	12 h - $\bar{\tau}$ ν	形 式 ・片引き ・引分け 引分け装置 ※ ひも引き ・電動 (20.2.14) ひだの種類 ・フランスひだ ・箱ひだ ・ つまひだ ・ ブレーンひだ ・ 片ひだ		 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。 また、ガラス破片を残さないよう、特に注意すること。 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさめ様配慮し、必要ある時は監督員と協計
6 主間コンクリート補強	※ 入れる ・ 入れない (各部配筋参考図5.7別図 5.11)	- 内装薄塗材 L - 内装薄塗材 S i	13 カーテンレール	きれ地の品質等 アルミ合金製 ・ ステンレス製 (20.2.14) 形 状 ・ シングル ・ ダブル (ただし、暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする。) 事		の上工事の一時中止の措置を行うこと。 4. 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人 の責任において現況に復旧すること。また、厳入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合も非
(1) コンクリートの強度	普通コンクリート (6.1.4)	・内装薄差材 E ・内装薄差材W ・原付け仕上塗材 ・外装厚差材 C	14 ブラインドボックス およびカーテンキ ックス			負人の責任において現状に復旧すること。 5. 工事中は適時放水を行い、粉造の飛散を極力防止すること。 6. 解体験を免の敷地は、特配な金融リ報切土にて敷きならしすること。
 	設計基準強度 F c (N / m ²) 構造体強度補正値 S 施 エ 箇 所 ③ 18 ※ 21 · 24 標性による 機械基礎 ** ・ 27 ### 性による 機械基礎	- 外装厚塗材 S i	15 くつふきマット	ゴム製ステンレス製		7. 解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスペスト含有の有無を確認し、含有する建材等が あった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。
コー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※ 18 標性による 土間コンクリート、均しコンクリート 調合管理強度=Fc+S	- 内装厚坐材 L - 内装厚坐材 G	16 消 火 器	受 枠 ・ ステンレス製 ・ 様質アルミ合金製 種 類 ※ 粉末ABC消火器(・4型 ・6型 ※ 10型 ・20型)・ なお、申請手続きも本工事にて行うこととする。		 アスペスト成形版については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分であること。 解体に先立ち、PCBを使用した照明器具の有無を調査し、結果を報告すること。
2	Fc 設計基準強度 S 構造体強度補正値 (表 6.4.1)	・ 内質便差材 S ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	17 造 り付 け 家 具 収納・収納家具	消火器ボックス ※ 設ける(※ 全埋込型 ・ 据置型)<文字表示入り> ・ 設けない		また、PCBを使用した器具については、監督員の指示に従い指定された場所に搬出し、諸法令に基づき 適正に保管処理をする事。 10. 地下埋設物(排水管、ガス管等)は、特記を除き監督員の指示によりプラブ止め等の処理を行い、原則
リの類別	※ 1類 ・ 1類 (6.1.5)	・ 複磨塗材 S i ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ ゆず肌状	18フェンス			してすべて撤去すること。 なお、給水管、汚水排水管、ガス管・高圧ガス等の切り離し撤去に伴う申請については、各関係機関と
3 気乾単位容積質量 4 荷卸し地点における スランプ	※標性による・・ (6.2.3)	- 複層塗材RE - 凸部処理 - 凹凸機様 ・ゆず肌状 - 複層塗材RS - 凸部処理 - 凹凸機様 ・ゆず肌状		: 四国化成 または、同等品とする。		協議の上、申請業務および必要な諸費用を含め本工事とする。
ト (5) セメントの種類 エ	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.2) - 早途ポルトランドセメント - (6.3.2)	- 防水料銀層塗材 C - 6曲処理 - 凹凸模板 ・かず肌状 - 防水料板層塗材 C - 6m処理 - 凹凸模板 ・かず肌状 - 防水料板層塗材 C - 6m処理 - 凹凸模板 ・かず肌状 - 6m火料板層塗材 C - 6m処理 - 凹凸模板 ・かず肌状		○ アルミ額線タイプ		
事 ⑥ 骨 材 7 混 和 材 8 社 ## ま 目 ##	アルカリシリカ反応性による区分 ※ A B (6.3.3) 混和剤の種類 ※ A E 利、A E 減水剤 X I 高性能 A E 減水剤 (6.3.5) おせる N T + 1 ※ 「準備の 2 (a) (1) に L X (6.3.5)	- 防水移植層塗材RE - 凸部処理 - 凹凸模様 - ゆず肌状 軽量骨材仕上塗材 - 吹付用軽量塗材 - 砂壁状				
	形状及び寸法 ※ 標仕9.6.3(a)(1)による ・ (6.6.3),(6.9.2) 位置・ピッチ 監督職員と協議のうえ、施工のこと。	・こて要用軽重要材 ・平たん状 - 平たん状 - マウール吹付 厚 さ(mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20	(15. 7. 3)			
<u> </u>		<u> </u>	令和5年 3月 日 滋賀県立大学財			エ ^{東名称} 滋賀県立大学A 3 ・ A 4 棟空調設備改修工事 A 0 2
			1/19/07 0/2 /公貝宗立入子別	127BA		^{IRMS 6} 建築工事特記仕様書(2) NOSCALE IRM 2023年3月

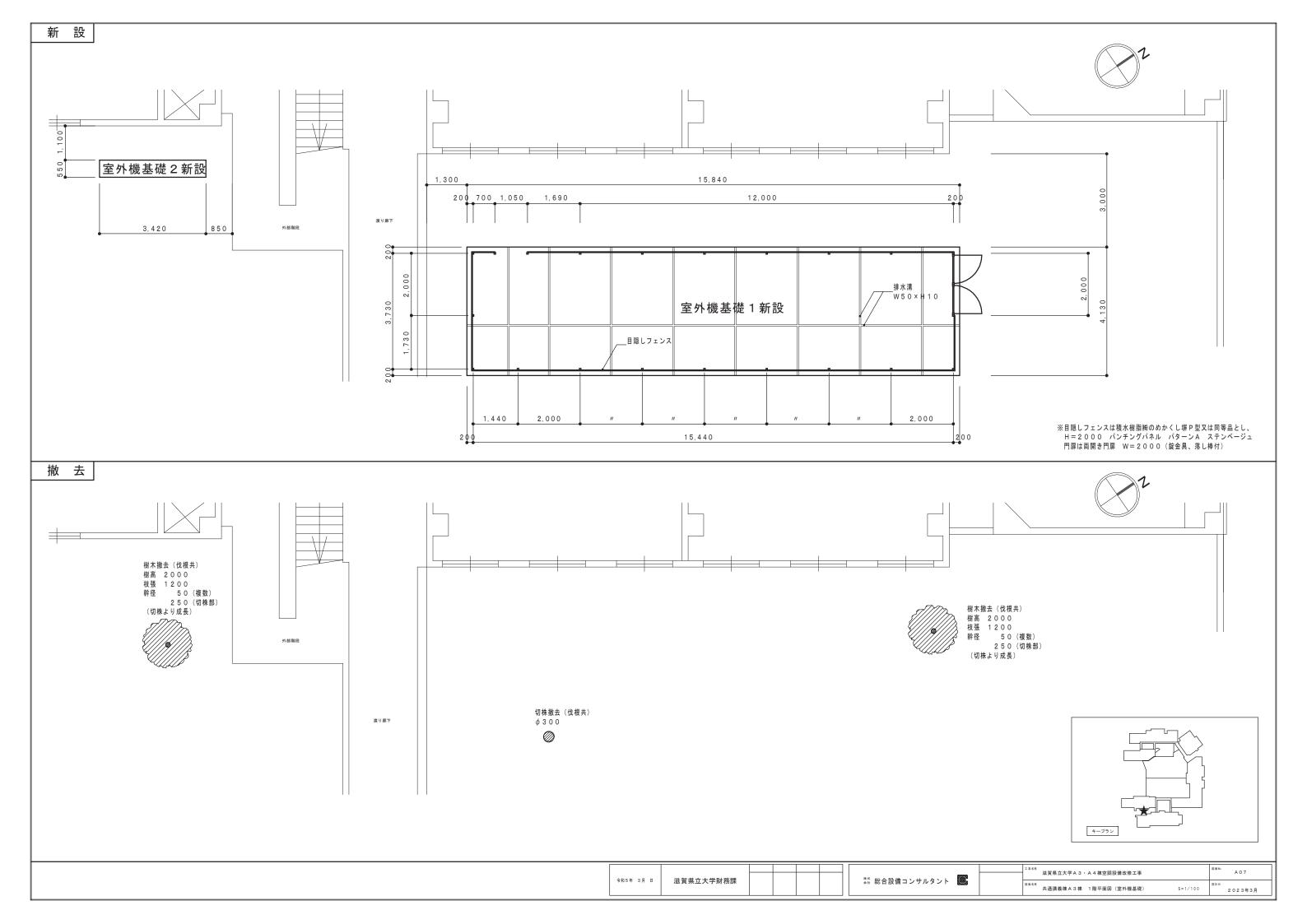


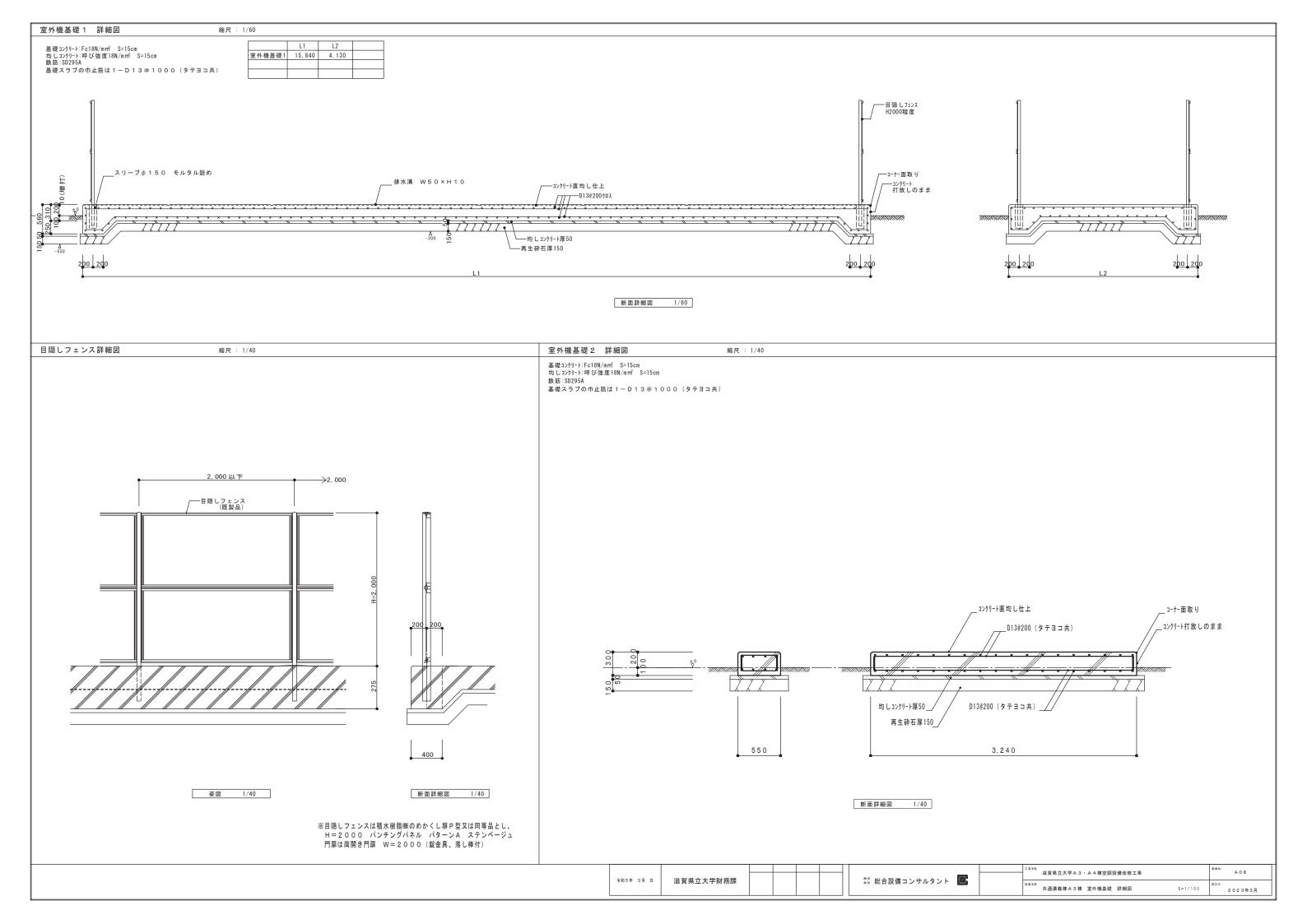


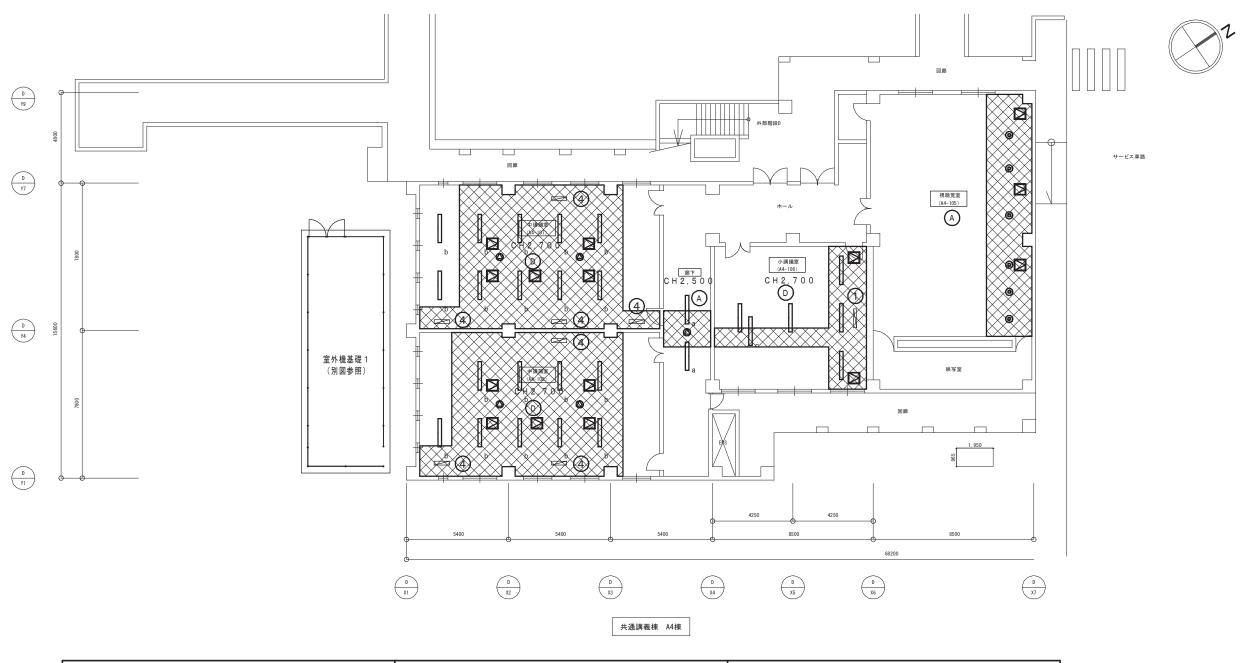


	令和5年 3月 日	滋賀県立大学財務課	滋賀県立大学財務理						エ 事 名 称	RENO.	5
				: 賀県立大学財務課 ### 総合設備コンサルタント	*** 総合設備コンサルタント		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1			
			な 長木 立 八 子 州 初 赤		2023	3年3月					

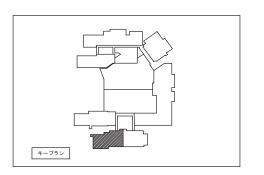








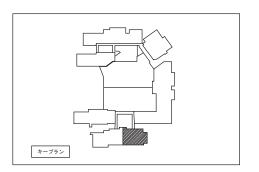
略号表示 (天井仕上)				開口補強(空調)リスト						
A	ロックウール吸音板 厚12(石膏ボード 厚9.5 捨貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す		番号	既存開口寸法	改修後開口寸法			
B	ロックウール吸音板 厚12(石膏ボード 厚12.5 捨貼)				1	1, 100 × 150	1, 100 × 150			
0	有孔シナベニヤ 厚5. 5CL塗(ロックウール25㎜充填)	室名	改修対象室を示す		2	1, 100 × 100	1, 100 × 100			
	仮撤去 → 仮撤去品復旧(木製廻縁は既存のまま)	\boxtimes	開口補強(空調)(開口寸法はリストによる)		3	2 5 0 φ	2 5 0 φ			
(a)	化粧石膏ボード 厚9.5		既存埋込照明(埋込穴寸法 220×1250)	5ヶ所	4	800 × 200	800 × 200			
E	ケイカル板 厚6 AEP塗	□ a	既存埋込照明(埋込穴寸法 130×1250)	2ヶ所						
天井	と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設	b	既存埋込照明(埋込穴寸法 150×2500)	19ヶ所						
L G	S下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。	С	既存埋込照明(埋込穴寸法 260×1270)	1ヶ所						
天井	撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする(開口補強新設)	0	既存埋込照明(開口寸法 150Φ)	6ヶ所						
照明	器具等設備器具の取外し、再取付は本工事(電気設備)とし、	۵	既存 スピーカー(開口寸法 150年)	5ヶ所						
開口	(補強共) は本工事とする	S	既存 煙感知器 (開口寸法 1200)	ヶ所						
標詳	細準図 3-01、11、12、21、41、42参照	D	点検口 アルミ製 600角	15ヶ所						



						工事名称	Rimino.		
令和5年 3月 日	A50 5 5 0 8 11	滋賀県立大学財務課	光加度工工产品交通	光加月十十岁叶 变钾			*** 40 A =0.## - > 11 # A > 1	滋賀県立大学A3・A4 棟空調設備改修工事	AUS
	市和5年 3月 日				*** 総合設備コンサルタント	^{展囲名称} 共通講義棟A4棟 1階平面図(西)(天井改修範囲図) S=1/200	2023年3月		
L									



略号表示(天井仕上)	凡 例			開口	補強(空調)リスト			
A ロックウール吸音板 厚12(石膏ボード 厚9.5拾貼)		天井 仕上材及LGS下地撤去及新設の範囲を示す	i	番号	既存開口寸法	改修後開口寸法		
B ロックウール吸音板 厚12 (石膏ボード 厚12.5拾貼)				1	1, 100 × 150	1, 100 × 150		
有孔シナベニヤ 厚5.5 C L 塗 (ロックウール 2 5 mm 充填)	室名	改修対象室を示す		2	1, 100 × 100	1, 100 × 100		
仮撤去 → 仮撤去品復旧(木製廻縁は既存のまま)	\boxtimes	開口補強(空調)(開口寸法はリストによる)		3	2 5 0 φ	2 5 0 φ		
(D) 化粧石膏ボード 厚9.5		既存埋込照明(埋込穴寸法 220×1250)	14ヶ所	4	800 × 200	800 × 200		
(E) ケイカル板 厚6 AEP塗	□□a	既存埋込照明(埋込穴寸法 130×1250)	7ヶ所					
天井と壁の取合いはアルミ製廻り縁新設	□ b	既存埋込照明(埋込穴寸法 150×2500)	ヶ所					
LGS下地撤去部の吊ボルトは再利用とする。		既存埋込照明(埋込穴寸法 260×1270)	ヶ所					
天井撤去及復旧部に掛かる点検口は取外し及再取付とする (開口補強新設)	0	既存埋込照明(開口寸法 150Φ)	1ヶ所					
照明器具等設備器具の取外し、再取付は本工事(電気設備)とし、	0	既存 スピーカー(開口寸法 1500)	1ヶ所					
開口(補強共)は本工事とする	\$	既存 煙感知器 (開口寸法 1200)	1ヶ所					
標詳細準図 3-01、11、12、21、41、42参照		点検口 アルミ製 600角	8ヶ所					



						工事名称	E E No.			
令和5年 3月	A815 / 0 0 0	滋賀県立大学財務課	滋賀県立大学財務課	光加度士士兴味变無			*** 40. A =11. /# _ > 11. // A > 1	滋賀県立大学A3・A4棟空調設備改修工事	1 410	
	7月7年 3月 日					*** 総合設備コンサルタント	図画名称 共通講義棟 A 4 棟 1 階平面図(東) (天井改修範囲図) S=1/200	設計目		
						大連時號採入子採 [PB干面图(來) (大月收除報题图) 5-1/200	2023年3月			

